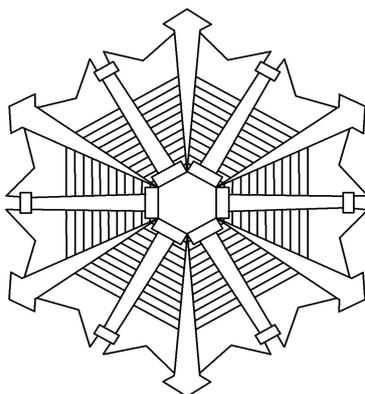


消 防 年 報

令和 2 年度版



久 万 高 原 町 消 防 本 部

令和 3 年刊行

はじめに

1 この年報は、久万高原町消防本部の消防行政の現状を一般に紹介するとともに、近年ますます多様化現象にある災害に対処するための資料として、令和2年中の消防現勢及び消防業務の内容・火災・救急統計等を収録編さんしたものであります。

2 この年報は、人事・予算・予防編は会計年度とし、警防・救急等は暦年として令和2年中の統計を収録しました。

※会計年度 令和2年4月1日～令和3年3月31日

※暦年 令和2年1月1日～令和2年12月31日

上記、ことわりのない限り同じ。

令和3年9月1日

久万高原町消防本部

目 次

久万高原町消防の現勢

久万高原町の概要	1
面積・人口・世帯数	2
消防・救急機関配置図	2
消防のあゆみ	3
消防本部・署所の所在地 及び庁舎等の現況	6
消防本部の組織	7
久万高原町長・副町長・議会議員等名簿	8
歴代組合長	8
歴代消防長	8
歴代消防署長	8
消防本部重点施策	9
消防力の現況	10
消防職員	11
消防予算	12

火災履歴の検証

火災の実態	13
-------	----

災害を未然に防止するために

火災予防	17
住宅防火対策	18
危険物	19

災害から住民を守るために

消防活動体制及び消防隊の活動状況	21
消防相互応援体制の状況	22
緊急消防援助隊	23
情報通信	24
無線局一覧表	25
消防水利	27
訓練	28
消防団	29
久万高原町消防警察捜索推進協議会	30
救急体制	31
救助体制	38

総務編

令和2年度おもな行事	41
職員の年齢別状況	43
消防吏員の採用および退職	44
消防職員研修状況	45
消防職員特殊技能有資格者状況	46
消防職員諸手当支給状況	47
消防費にかかる1世帯当たり 及び1人当たりの金額	47
令和2年度 会計決算額と 消防費決算額の割合	47
令和2年度 消防費基準財政 需要額と消防費関係状況	48
消防費決算内訳状況	48
ほう賞及び表彰受賞(章)状況	49

予防編

年間のおもな行事	51
危険物施設数	52
危険物関係事務の処理状況	52
危険物手数料の徴収状況	53
危険物施設に対する査察状況	53
防火対象物数・立入検査状況	54
消防用設備の設置状況	55
防火管理者の選任状況・消防計画 の届出状況	56
各種届出事務の処理状況	57

クラブ広報編

幼年消防クラブ	59
少年消防クラブ	61
女性防火クラブ	63
表彰及び助成事業状況	66
少年消防クラブ助成事業	67
少年消防クラブ コミュニティ助成事業	68

警防編

保有消防車両	71
消防機械器具の保有状況(抜粋)	72
化学消火薬剤保有状況	73
油処理剤保有状況	73
消防水利の状況	74
耐震性防火水槽設置状況	74
新設消防水利の状況	74
年間出動状況及び燃料消費量	75
月別出動状況	77
緊急通報受信状況	78
携帯119転送受信状況	78
覚知方法別受信状況	78
携帯電話別受信件数	78
久万高原町における気象記録	79
気象観測年報	80

火災統計編

火災発生状況	81
火災一覧表	82
地区別火災発生状況	83
月別・季節別火災発生状況	84
月別火災発生状況	85
時間帯別火災発生状況	86
地区別火災発生一覧表	87

救急編

年別救急活動状況	89
月別救急活動状況	90
署・地区別救急活動状況	91
覚知方法別状況	91
曜日別発生件数状況	92
時間帯別発生件数状況	92
居住区別搬送人員の対人口比	92
年齢別区分搬送人員状況	93
医療機関別収容人員の状況	94
収容機関別状況	95
事故種別・傷病程度	95
急病疾患別内訳	96
事故種別・理由別不搬送	96
緊急電話受信時における口頭指導内容	97
応急処置及び拡大処置件数	97

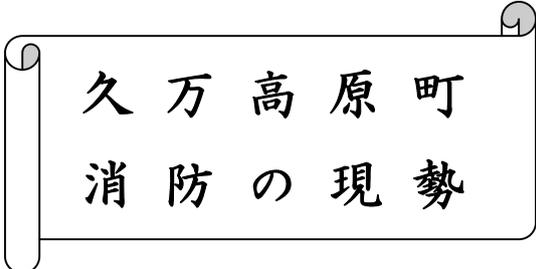
現場到着所要時間	98
収容所要時間状況	98
平均出場時間	98
ドクターヘリの運行・ドクターヘリ運航 ・ドクターカー運用状況	99

救助編

救助出動及び活動状況	101
年間の主な訓練と行事	101
救助関係資器材の保有状況	102
ヘリコプター新離着陸場一覧	103

消防団編

消防団の沿革	105
階級別消防団員数	109
消防団員の職業構成	109
年齢別消防団員数	110
在職年数別消防団員数	110
消防団員の退職・新任状況	110
消防団年俸調べ	110
消防団手当調べ	110
久万高原町消防団組織図	111
各方面隊別出動範囲	112
本部消防隊	113
久万方面隊	113
消防ポンプ自動車調査表	113
消防積載自動車調査表	113
小型(可搬)ポンプ配置調査表	113
面河方面隊	114
消防積載自動車調査表	114
小型(可搬)ポンプ配置調査表	114
美川方面隊	114
消防積載自動車調査表	114
小型(可搬)ポンプ配置調査表	115
柳谷方面隊	115
消防積載自動車調査表	115
小型(可搬)ポンプ配置調査表	115
方面隊別消防団保有資器材	116
消防団幹部調べ	117
久万高原町消防団長	117
愛媛県消防操法上浮穴地区大会成績表	118
久万高原町消防操法大会成績表	119
愛媛県消防操法大会成績表	120



久万高原町
消防の現勢

久万高原町の概要

〔位 置〕

四国山脈は石鎚山から西と南西に主脈を分けて走り、久万高原町はこの主脈に挟まれた標高 400～800mの山岳丘陵地域です。北に松山市、伊予郡、東温市、東に西条市、南に高知県、西に喜多郡、西予市と接し、県下でも数少ない海を持たない地域です。

〔気 候〕

夏は冷涼多雨、冬は寒気厳しく平均して 12 月下旬から 3 月初旬まで降雪があり、10 月下旬に初霜、5 月初旬に晩霜を見るという内陸高冷地型の気候です。そのため、夏には「四国の軽井沢」、冬は「四国の北海道」と呼ばれています。

〔産 業〕

基幹産業は農林業であり、厳しい自然条件が育てる杉・檜などの良質な木材や、夏季冷涼な気候を生かしたトマト・ピーマン・清流米などの高原野菜の生産が町の産業を支えています。

〔観 光〕

久万高原町は、平均標高 800mの冷涼な気候に恵まれ、面河溪、石鎚山、御三戸、四国カルスト、皿ヶ峰など従来より避暑地、行楽地として多く人が訪れます。また、四国霊場 88ヶ所の札所 44 番大宝寺、45 番岩屋寺があり、遍路姿の巡礼者も多く訪れています。

〔町村合併〕

平成 16 年 8 月 1 日、1 町 3 村(久万町、面河村、美川村、柳谷村)の合併により久万高原町が誕生しました。

〔消防業務〕

平成 16 年 12 月 31 日、町村合併に伴い昭和 48 年から 31 年続いた『上浮穴郡生活環境事務組合』の歴史に幕を閉じ、平成 17 年 1 月 1 日から久万高原町を管轄とする『久万高原町消防本部・署』として業務を継承しています。

また、平成 17 年 4 月 1 日から消防団事務も新たに加わりました。平成 28 年 6 月 23 日には、久万高原町下野尻に消防本部・署新庁舎が完成し、運用を開始しました。



面積・人口・世帯数

平成17年の国勢調査では、4町村の総人口は10,946人で、その後、人口の都市集中により、過疎化と高齢化の一途をたどり、令和3年3月31日現在、平成17年の71.5%にあたる7,828人(高齢化率48.7%)まで減少しています。

構成 地区別	区分	面積 km ²	人 口			世 帯 数		
			平成17年 国 調	令和2年 3月31日	令和3年 3月31日	平成17年 国 調	令和2年 3月31日	令和3年 3月31日
久 万 高 原 町	久 万	164.95	6,876	8,034	7,828	2,866	4,371	4,283
	面 河	157.81	779			413		
	美 川	134.38	2,164			1,030		
	柳 谷	126.55	1,127			582		
合 計		583.69	10,946	8,034	7,828	4,891	4,371	4,283

久万高原町消防機関配置図



凡 例

	本部・署
	支 署
	団本部
	無線基地局

消防のあゆみ

昭和53年	4月	1日	上浮穴郡生活環境事務組合消防本部・署設置及び管理条例制定 (職員定数28名)
	4.	1	消防本部・署, 美川・小田両分駐所業務を開始
平成16年	12.	31	町村合併により上浮穴郡生活環境事務組合を解散する
平成17年	1.	1	久万高原町消防本部・署として, 業務を継続する。 (本署1・美川支署1) 三部・二部制併用勤務
	3.	3	○心肺蘇生法人形(JAMY-ⅢRECO) 一式購入
	3.	5	○携帯用GPS(eTrex) 4基購入
	3.	8	○消防8号 査察広報指導車導入(日産 X-TRAIL UA-NT30) ○複合ガス測定器(GX-2003) 2台購入
	3.	10	○消防1号 消防指令車更新(トヨタ プラド CBA-TRJ120W) ○久万高原町消防本部服制整備事業 ○消防ホース(ライトダイヤ α) 50本購入
	3.	15	○エアーテント(SAT-453G) 購入
	3.	15	○三交替制回転式ロッカー 4台購入
			※ (○印は 平成16年度市町村合併推進体制整備費補助事業)
	8.	25	全国消防救助技術大会出場(埼玉県)ロープ登はん
	9.	26	◎ 消防署美川支署消防無線移設工事
	10.	1	美川支署が役場美川支所内に移転 本署・美川支署共に三部制勤務となる。
	10.	11	◎ 携帯119直接受信等電話設備整備事業
	10.	20	第17回全国女性消防操法大会(横浜:美川地区古味女性消防隊)
	10.	26	◎ 携帯型消防用無線電話装置整備事業 CP-5068T 10台購入
	11.	14	◎ 重油タンク据付・給油ボイラ取替工事
	12.	17	◎ 呼吸用保護具整備事業 バイオパック60 4基購入
	12.	22	◎ 画像伝送装置整備事業 PW-2100
平成18年	3.	2	◎ 林野火災対策用資機材整備事業 小型・高圧送水装置(WICK-250TM)
	3.	14	◎ 美川支署緊急出動表示盤設置工事 SSV442WV
	3.	17	◎ 消防本部庁舎空調設備工事
			※ (◎ 印は 平成17年度市町村合併推進体制整備費補助事業)
	7.	23	第1回 久万高原町消防操法大会 (小型ポンプ10チーム, ポンプ車1チーム)
	8.	30	消防11号 訓練指導車(マツダ タイタン)を宝くじ協会から寄贈
	9.	1	消防10号 資器材運搬車(スバル サンバー)を柳谷方面隊から移管
	9.	10	第24回愛媛県消防操法大会
	12.	7	自動体外式除細動器 10器購入
平成19年	1.	19	AEDトレーナー2 2台, CPR訓練人形 1体購入
	8.	21	全国優良消防職員表彰(東京都)
	8.	22	全国消防救助技術大会出場(東京都)ロープブリッジ渡過
平成20年	1.	21	救急2号,高規格救急車(トヨタハイエース) を全国共済農業共同組合連合会 愛媛県本部から寄贈
	6.	26	流水救助資機材購入
	6.	29	第2回 久万高原町消防操法大会 (小型ポンプ10チーム, ポンプ車1チーム)
	7.	27	第25回愛媛県消防操法大会
	8.	29	全国消防救助技術大会出場(福岡県)はしご登はん
平成21年	1.	22	簡易画像探索機購入
	3.	19	久万高原町職員定数条例の一部改正(消防職員定数45人)
	4.	1~3.31	住宅用火災警報器購入補助事業(地域活性化・生活対策臨時交付金)

平成21年	6月	30日	大型油圧救助器具一式を購入
	7.	31	簡易型携帯電話119番位置情報通知システム運用開始
	9.	20	自動体外式除細動器12台更新整備
	10.	7	衛星自動車電話2台更新整備
平成22年	10.	30	消防2号 査察指導車(トヨタ エスティマハイブリッド)を配備
	6.	18	消防5号 小型動力ポンプ付水槽車(日野 レンジャー)を配備
	6.	20	第3回 久万高原町消防操法大会 (小型ポンプ11チーム, ポンプ車1チーム)
	7.	25	第26回愛媛県消防操法大会
平成23年	12.	19	第1回 全町一斉自主防災訓練
	3.	14	東日本大震災の被災地へ緊急消防援助隊派遣(8名)
	4.	17	国拠点施設及び久万2-2車庫・詰所落成式
	9.	30	空気呼吸器(9リットルボンベ), 2基導入
平成24年	11.	9	総務大臣表彰(東日本大震災緊急消防援助隊派遣)
	3.	11	第2回 全町一斉自主防災訓練
	3.	12	救急3号, 高規格救急自動車(トヨタハイエース)を配備
	3.	17	高規格自動車専用三坂道路開通
平成25年	6.	24	第4回 久万高原町消防操法大会 (小型ポンプ11チーム, ポンプ車1チーム)
	7.	29	第27回愛媛県消防操法大会
	9.	1~11.30	臨時ヘリポート舗装整備 4箇所(父二峰・中津・川成・中久保)
	6.	29~10.31	臨時ヘリポート舗装整備 2箇所(日野浦・黒藤川)
平成26年	8.	22	全国消防救助技術大会(広島県)ほふく救助
	2.	14	自動体外式除細動器12台更新整備
	3.	4	衛星自動車電話2台更新整備
	3.	20	消防救急デジタル無線整備工事完成(緊急消防援助隊設備整備費補助) (基地局2, 多重局2, 卓上型2, 車載型12, 可搬型2, 携帯型29)
平成27年	6.	22	第5回 久万高原町消防操法大会 (小型ポンプ10チーム, ポンプ車1チーム)
	6.	26	新消防庁舎建設用地購入
	10.	31	ポータブルガス検知警報器1台導入
	12.	3	空気呼吸器2基導入
平成28年	1.	26	消防7号車, 資機材搬送車(スズキ エブリイワゴン)を配備
	2.	5	自動体外式除細動器6台更新整備
	2.	23	電動ハンマドリル1台導入
	3.	2	減圧式固定具一式導入
	3.	3	既存建物解体及び造成工事入札
	7.	27	消防庁舎新築工事入札
	7.	31	造成工事完了
	8.	21	消防庁舎安全祈願祭
	9.	8	緊急電話受付装置入札(消防庁舎整備事業)
	9.	8	気象観測装置入札(消防庁舎整備事業)
平成28年	12.	22	救助訓練用安全マット購入
	1.	28	新庁舎用家具一式入札
	1.	28	トレーニング器具入札
	3.	2	自動体外式除細動器1台更新整備
	3.	9	高規格救急自動車導入(緊急消防援助隊設備整備費補助事業) (日産 パラメディック)
	3.	9	エアウェイスコープ導入
6.	4~8.31	臨時ヘリポート舗装整備(相ノ峰地区)	

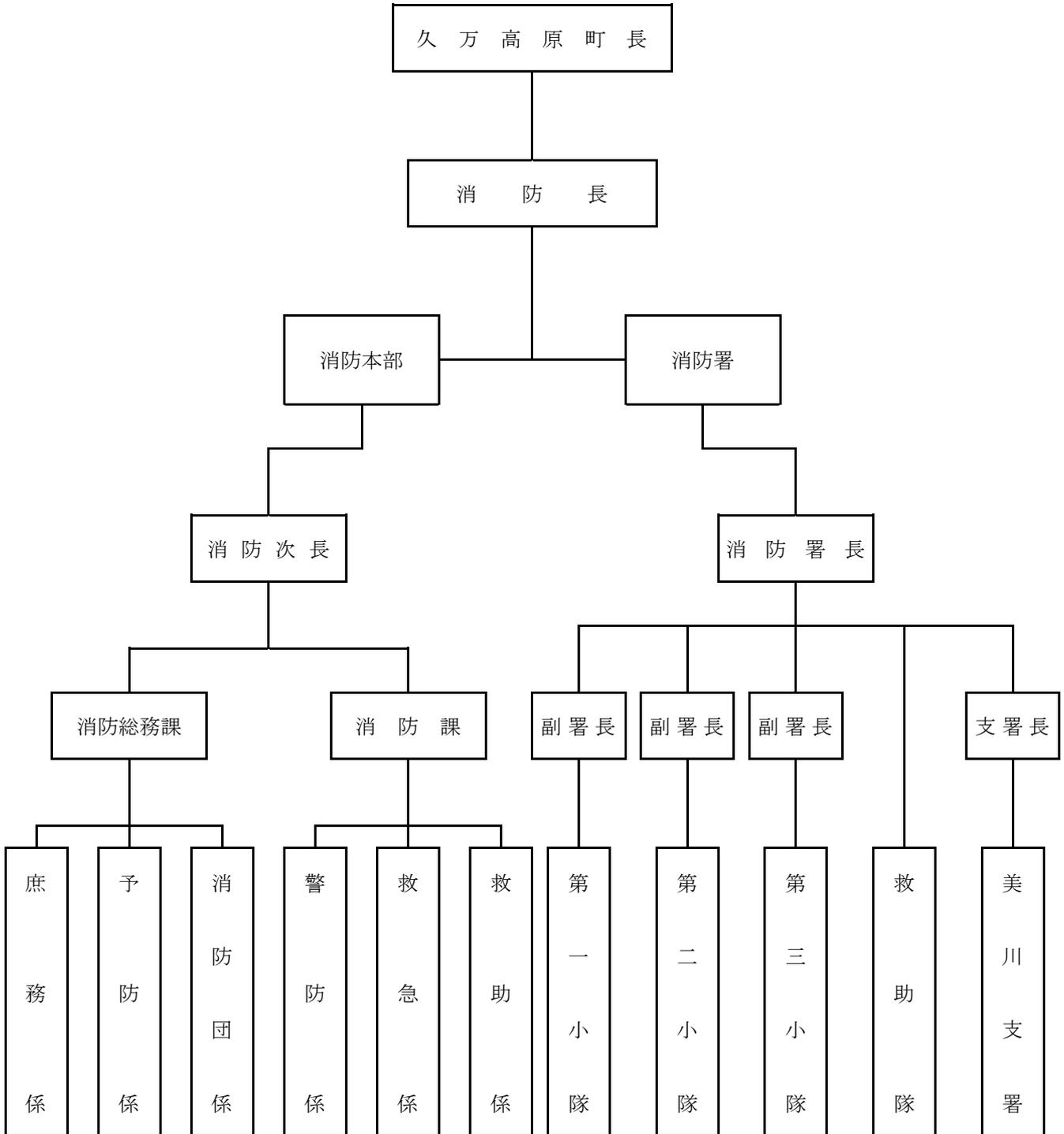
平成28年	6月	14日	消防新庁舎竣工
	6.	19	第6回久万高原町消防操法大会（小型ポンプ10チーム，ポンプ車1チーム）
	6.	23	消防新庁舎落成・開所式（運用開始）
	6.	28	笠取山山頂無線中継所廃止
平成29年	10.	21	パーティカルストレッチャー購入(1台)
	11.	25	(公)日本消防協会より防災活動車(ミツビシデリカ4WD)を寄贈
	12.	27	自動体外式除細動器2台更新(柳谷小学校，若山集会所)
	2.	1	ドクターヘリ運航開始（愛媛県）
平成31年 (令和元年)	3.	7	久万高原町消防団 日本消防協会特別表彰「まとい」を受章
	5.	27	「まとい」受賞記念祝賀会
	8.	28	久万高原町消防職員意見発表会(署内選考)
	3.	4	第23回防災まちづくり大賞 消防庁長官賞受賞(久万高原町幼少年女性防火委員会)
令和2年	9.	20	令和元年度防災功労者内閣総理大臣表彰(久万高原町幼少年女性防火委員会)
	11.	20	新型コロナウイルス感染症の影響により行事等は中止 消防3号車 水槽付き消防ポンプ自動車(日野 レンジャー)を配備

消防本部・署所の所在地および庁舎等の現況

名 称		所 在 地		
久 万 高 原 町 消 防 本 部 ・ 消 防 署	庁舎・車庫棟	上浮穴郡久万高原町下野尻甲33番地		
		建 築 構 造	延べ面積	
		鉄筋コンクリート・3階建	1,821.30㎡	
	訓練主塔	鉄筋コンクリート・3階建	122.50㎡	
	車庫棟	鉄骨造・1階建	148.14㎡	
	土嚢・砂置棟	鉄骨造・1階建	22.75㎡	
	特定屋内貯蔵所	鉄骨造・1階建	18.11㎡	
	自転車 プロパン置場	そ の 他	13.37㎡	
合計		敷地面積 9,839.42㎡ 建築面積 1,307.51㎡ 延床面積 2,146.17㎡		
消 防 署 美 川 支 署	上浮穴郡久万高原町上黒岩2923番地1			
	建 築 構 造	延べ面積		
	鉄筋コンクリート・4階建 (地下室・1階の一部)	2462.91㎡ (161.05㎡)		
消 防 署 無 線 中 継 所	上浮穴郡久万高原町日野浦4368番地 (大川嶺基地局) 上浮穴郡久万高原町柳井川3537番地 (柳谷基地局) 上浮穴郡久万高原町久万188番地 (久万中継局)			
	建 築 構 造	延べ面積		
	鉄筋コンクリート造 (大川嶺基地局)	30.25㎡		
	軽量鉄骨造 (柳谷基地局) 軽量鉄骨造 (久万中継局)	20.00㎡ 12.00㎡		
久 万 高 原 町 緊 急 援 護 物 資	「道の駅」 防災拠点施設	上浮穴郡久万高原町入野1850番地2		
		建 築 構 造	延べ面積	
		鉄筋コンクリート造・2階建	238.00㎡	
	美川支署内	上浮穴郡久万高原町上黒岩2923番地1		
		建 築 構 造	延べ面積	
	鉄筋コンクリート (地下駐車場内)	15.00㎡		

消防本部の組織

〔組織〕



久万高原町長・副町長

職 名	氏 名
久万高原町長	河野忠康
副町長	佐藤理昭

歴代組合長・町長

年 代	氏 名	在 任 期 間	在 任 年 数
初代	日野 泰	自昭和48年04月01日 至昭和50年04月29日	2年
2代	河野 修	自昭和50年05月16日 至平成11年04月29日	24年
3代	玉水 寿清	自平成11年06月01日 至平成20年09月11日	10年
4代	高野 宗城	自平成20年09月12日 至平成28年09月11日	9年
5代	河野 忠康	自平成28年09月12日 至現在に至る	

歴代消防長

年 代	氏 名	在 任 期 間	在 任 年 数
初代	山下 岩男	自昭和53年04月01日 至昭和58年03月31日	5年
2代	中嶋 徹	自昭和58年04月01日 至平成63年03月31日	5年
3代	平岡 新太郎	自昭和63年04月01日 至平成05年03月31日	5年
4代	城戸 武士	自平成05年04月01日 至平成17年03月31日	12年
5代	山本 進	自平成17年04月01日 至平成20年03月31日	3年
6代	小倉 一幸	自平成20年04月01日 至平成25年03月31日	5年
7代	織川 真二	自平成25年04月01日 至平成31年03月31日	6年
8代	高野 貢	自平成31年04月01日 至令和03年03月31日	2年
9代	大野 秋義	自令和03年04月01日 至現在に至る	

歴代消防署長

年 代	氏 名	在 任 期 間	在 任 年 数
初代	山下 岩男	自昭和53年04月01日 至昭和58年03月31日	5年
2代	中嶋 徹	自昭和58年04月01日 至平成63年03月31日	5年
3代	城戸 武士	自昭和63年04月01日 至平成15年03月31日	15年
4代	小倉 一幸	自平成15年04月01日 至平成20年03月31日	5年
5代	織川 真二	自平成20年04月01日 至平成24年03月31日	4年
6代	平岡 幸夫	自平成24年04月01日 至平成30年03月31日	6年
7代	高野 貢	自平成30年04月01日 至平成31年03月31日	1年
8代	大野 秋義	自平成31年04月01日 至令和02年03月31日	1年
9代	明賀 徹	自令和02年04月01日 至令和03年03月31日	1年
10代	岡本 剛	自令和03年04月01日 至現在に至る	

消防本部重点施策

近年、災害や事故に対する不断の備えの重要性はますます増大し、住民の消防に寄せる期待は極めて大きなものがあります。消防行政において第一時的な役割を担っている地方公共団体は安全で安心な地域社会づくりに向け、消防防災行政の推進及びその体制の充実強化を図っています。

また、久万高原町は高齢者が48.7%を占める超高齢化社会の進展した町であり、このことを踏まえ職員一人ひとりが社会と住民のニーズに応え得る消防行政に邁進し、毎日が安全であるという確かな手応えが得られるよう職務に精励しなければなりません。

これらの背景を踏まえ、令和2年度においては下記の事項を重点施策として掲げ、「安全で安心して暮らせる地域づくり」と「連携と実践による福祉消防」に努めました。

重点施策	主な推進策
1 消防防災体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災対策の充実強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災計画の整備 ● 消防体制の充実強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 警防計画の充実と整備 ・ 緊急消防援助隊合同訓練及び隣接消防との連携訓練 ・ 訓練及び災害活動における安全管理の徹底 ・ 防災・Drヘリコプターとの連携体制の確立 ● 救急業務の高度化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急救命士の養成及び職員教育研修 ・ 指導救命士による救急救命士の育成 ・ 病院実習体制の確立 ・ 車両・資器材の更新計画の整備
2 地域の防災対応能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の防災能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に対する安全対策の推進 ・ 防災ボランティアの育成と自主防災組織の育成強化 ・ 消防団を中核とした地域防災力の充実強化 ・ 地域単位の防災訓練の実施と検証 ・ 消防団の再編見直しと検討 ● 住民の防災意識と行動力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅防災対策の推進 ・ 災害時要援護者対策 ・ AED普及に伴う救命講習の推進 ・ 住警器の設置及び維持管理の徹底
3 将来に向けた組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 消防職員の資質の向上対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 創造性の醸成と日常業務の創意工夫の実践, 職責の完遂 ・ ICT等の情報化社会に対応できる資質の向上 ・ 法, 条例, 規則, 規定等の習熟と遵守 ・ 各種事務処理及び計画等の迅速処理と期日厳守 ● 消防の広域化等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防の広域化へ向けての調査研究 ・ 消防機関間の柔軟な連携・協力の推進 ・ 女性消防吏員の職域拡大に関する検討 ・ 庁舎施設を活用した各種訓練の励行

消防力の現況

区 分		基準数	現有数	充足率(%)
施設	消 防 署 所	2	2	100
消 防 車 等	指 揮 車	1	1	100
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	2	100
	救 急 自 動 車 (非 常 用 1 台 除 く)	3	3	100
	救 助 工 作 車	1	1	100
	そ の 他 特 殊 車 両	5	5	100
	合 計	12	12	100
人 員	指 揮 隊 員	10	2	20
	消 防 隊 員	27	15	56
	救 急 隊 員	20	18	90
	救 助 隊 員	17	2	12
	警 防 要 員 小 計	74	37	50
	予 防 要 員	5 (隔 勤 者 1 兼 務)	2(1)	20
	通 信 員	3	1	33
	庶 務 の 処 理 等 の 人 員	6	3	50
	小 計	14	8(1)	57
	合 計	88	45	51
水 利	消 防 水 利 数	1455	858	59

※基準数は令和元年度消防力の整備指針による。

消防職員

消防職員は、住民の期待に応えるべく、防災の担い手として、住民の命と暮らしを守り、安全な地域づくりに向けて、災害の予防、災害の防御、救急救助の消防業務に尽力していきます。

現在の職員には、災害の複雑多様化、高度情報化の進展をはじめとする時代の変化に対応し、また、住民に密着した防災行政を適切に遂行できる防災行政職員としての手腕が求められます。

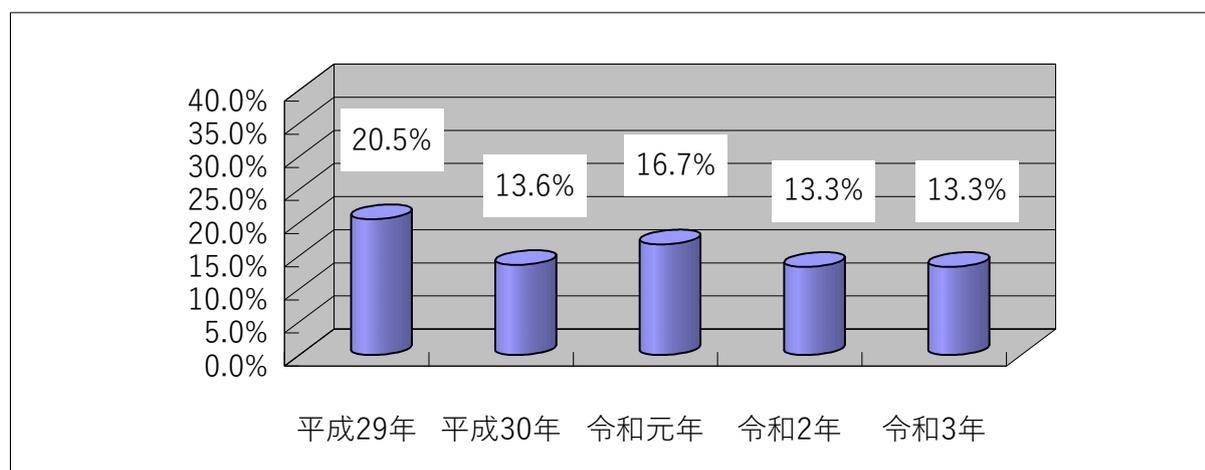
所属		階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
消防本部	消防長		1	—	—	—	—	—	—	1
	消防次長		—	1	—	—	—	—	—	1
	消防総務課		—	2(1)	—	—	—	—	—	2(1)
	消防課		—	(1)	—	—	—	—	—	(1)
	本部付		—	—	—	1	1	1	—	3
	団係		—	—	—	1	—	—	1	2
	役場出向		—	1	—	—	—	—	—	1
計			1	4(2)	0	2	1	1	1	10(2)
消防署	署長		—	1	—	—	—	—	—	1
	副署長・支署長		—	(3)	—	—	—	—	—	(3)
	第1小隊		—	1	2	3	1	2	—	9
	第2小隊		—	1	3	3	—	2	—	9
	第3小隊		—	(1)	3	1	1	2	—	7(1)
	美川支署		—	—	3	2	1	3	—	9
計			—	3(4)	11	9	3	9	—	35(4)

() 兼務

〔職員の年齢構成〕

令和3年4月1日現在の消防職員の平均年齢は36.6歳であり、50歳以上の職員構成は13.3%となっておりますが、その割合は減少傾向にあり世代交代が進んでます。このため、消防業務の特殊性を踏まえつつ、若い職員の育成や技術の継承を推進するとともに、事務事業の見直しや適正な人事配置を実施する必要があります。

〔50歳以上の職員構成〕



消防予算

令和3年度消防予算は、財源の効率的かつ重点的な配分と経費の節減に努め、これまでに進めてきた施策や事業の着実な実現を図るとともに、災害に強く住民が「安全で安心して暮らせる地域づくり」と「連携と実践による福祉消防」を推進することとしました。この基本姿勢のもとに編成当初予算521,334千円となっています。

〔一般会計予算に対する消防費の割合〕

区	分	令和3年度当初予算（千円）
一	般 会 計 予 算 額	9,438,346
	消 防 費（町全体）	521,334
	一 般 会 計 対 構 成 比	6%
消 防 費 内 訳	常 備 消 防 費	318,578
	非 常 備 消 防 費	57,224
	消 防 施 設 費	122,431
	災 害 対 策 費	23,101

〔令和2年度消防予算額〕

区 分	令和2年度当初予算額 （千円）	令和元年度当初予算額 （千円）	対前年度予算の増減 (▲は減)		
			比較(千円)	割合(%)	
消 防 費	1,083,748	788,501	295,247	37.4	
内 訳	人 件 費	301,304	298,254	3,050	1.0
	物 件 費	171,187	81,971	89,216	108.8
	維 持 補 修 費	582,540	381,100	201,440	52.9
	補 助 費	28,717	27,176	1,541	5.7
	普 通 建 設 事 業 費	0	0	—	—
	積 立 金	0	0	0	—

〔主な事業の概要〕

(1) 救急救命士養成研修所入校	1名
(2) 署活動系携帯型無線機整備	10台
(3) 水槽付き消防ポンプ自動車整備	更新
非常備分	
(1) 小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車整備	更新
(2) 消防団移動系無線基本設計・実施設計	更新
(3) 消防団救助能力向上資機材緊急整備事業	
携帯用デジタル簡易無線機購入	160台
消防施設	
(1) 耐震性貯水槽設置工事	2か所

火災履歴の
検 証

火災の実態

(1) 前年比 1 件減の 4 件発生

令和 2 年中の出火件数は 4 件となっています。出火率は 5.0 件/万人(人口 1 万人あたりの出火件数)で、全国平均の出火率 3.0 件/万人(令和 2 年版「消防白書」)を大きく上回っています。

<令和2年中>

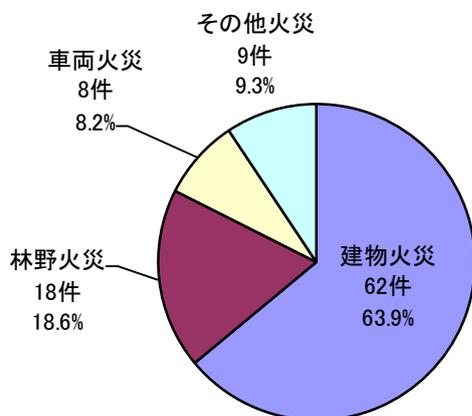
火災件数	4 件	損害額(全火災)	10,386 千円
建物火災件数	1 件	損害額(建物火災)	10,134 千円
建物以外の火災件数	3 件	り災世帯数	1 世帯
建物焼損床面積	432 m ²	り災人員	1 人
林野焼損面積	68 1a	死者	0 人
焼損棟数	5 棟	負傷者	1 人

久万高原町人口：8,032 人

(注) 人口は令和 2 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳から引用。

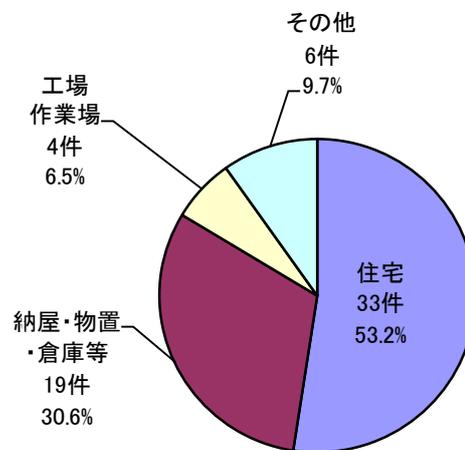
(2) 建物火災の占める割合は 63.9%(平成 17 年～令和 2 年の統計)

<火災種別出火件数の構成比率>



総出火件数 97 件

<建物火災における用途別構成比率>



建物火災総出火件数 62 件

(3) 負傷者 1 名発生

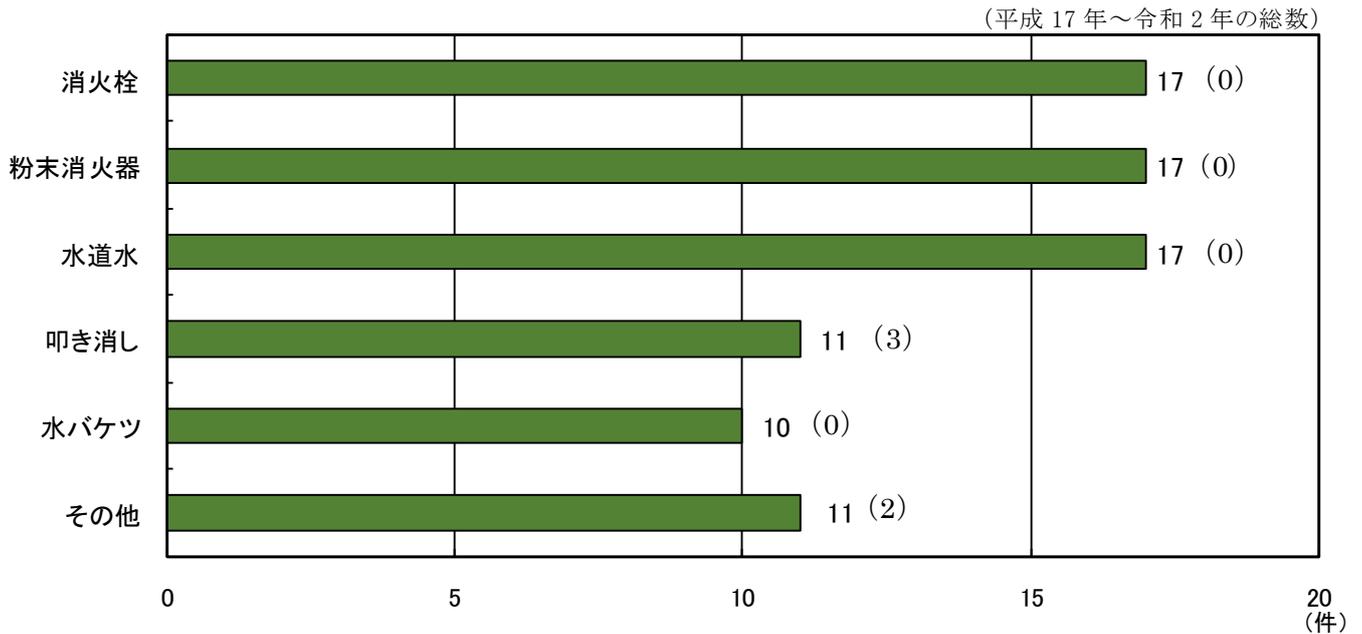
建物火災において初期消火を実施中に負傷者が発生しました。死者については平成 29 年 5 月から発生していません。

(4) 初期消火実施率 100%

令和 2 年中において、4 件中 4 件が初期消火を実施しましたが、消火には至りませんでした。初期消火の方法は、道具を用いた叩き消し及び刈払機による周囲の刈り取り、2L ペットボトル 2 本による消火でした。

久万高原町の過去 16 年間で初期消火の状況をみると、全火災 97 件中 68 件(70.1%)で実施されており、うち成功したものが 20 件(29.4%)となり、実施した場合の成功率が約 3 割を占めていることとなります。初期消火器具の内訳は、消火栓 17 件、粉末消火器 17 件、水道水 17 件、叩き消し 11 件、水バケツ 10 件、その他 11 件となっています。

〈初期消火器具使用状況〉



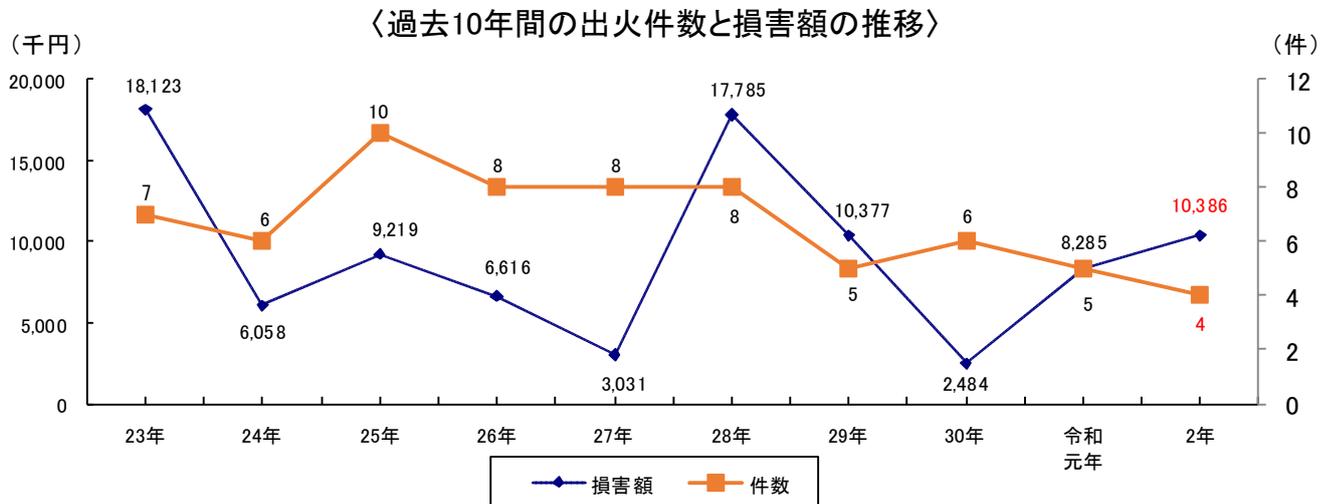
※()内は令和 2 年中の初期消火実施件数

※同一火災において、複数の消火器具を使用した事例があるため件数と使用器具数は異なります。

(5) 損害総額は増加

建物火災の発生件数(焼損棟数)に比例して、損害額が大きくなっている傾向があります。

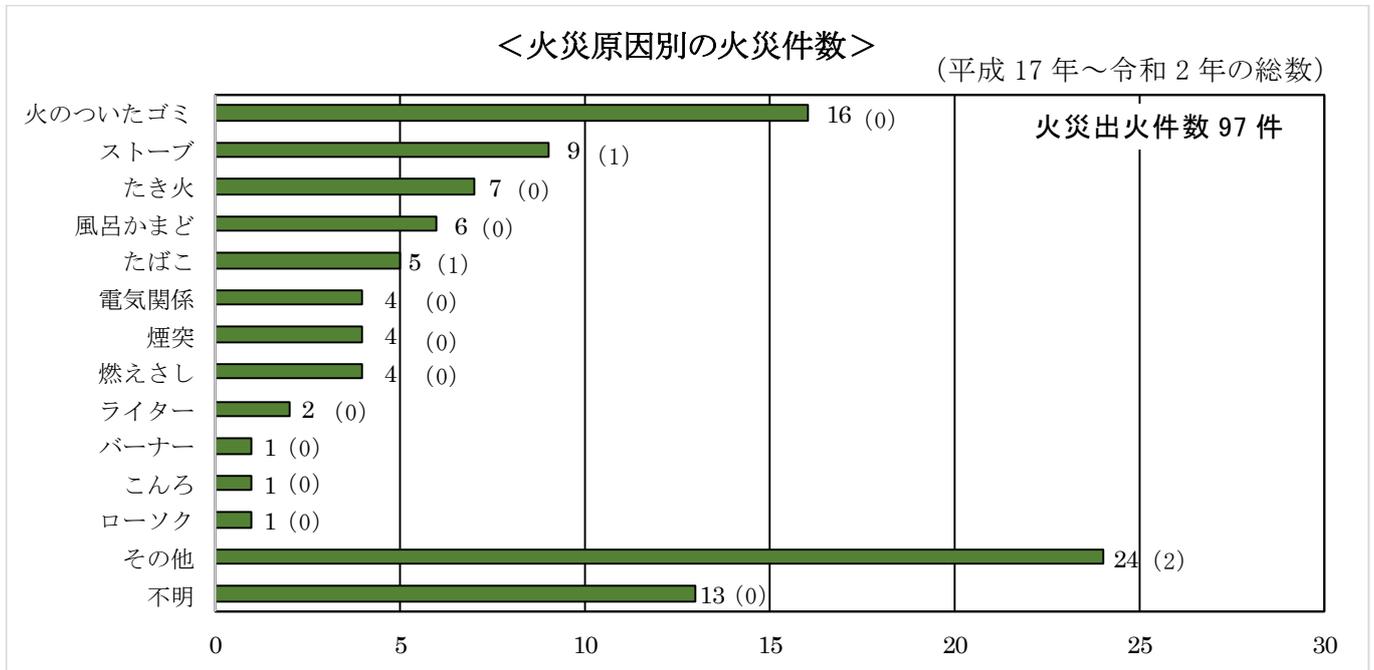
平成 17 年から平成 22 年までの間の出火件数は 22 件、損害額は 32,232 千円となっています。



(6) 大半は火気取扱いの不注意

令和2年中の出火原因をみると、ストーブ、たばこが各1件、その他が2件となっています。

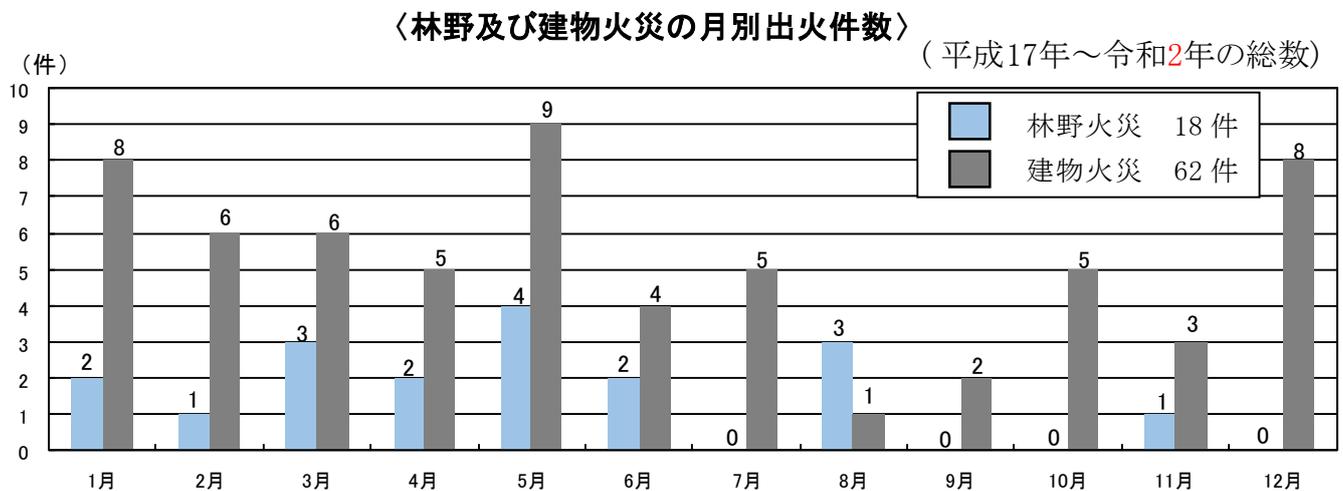
過去16年間の総出火件数97件を出火原因別に見てみると、火のついたゴミによる出火が16件(16.5%)と最も多く、次いでストーブ9件(9.3%)、たき火が7件(7.2%)となっています。

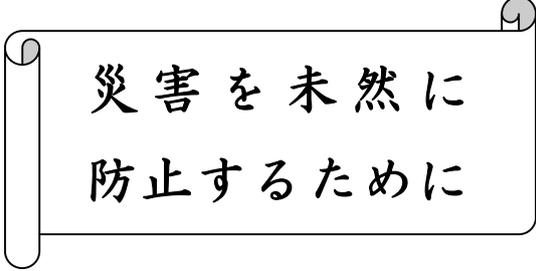


※()内は令和2年中の出火原因件数

(7) 建物火災, 林野火災共に1件発生

令和2年中は4月に建物火災, 8月に林野火災が発生しています。建物火災は冬季から春季にかけて, 林野火災は春季に発生する傾向があります。





災害を未然に
防止するために

火災予防

〔広報活動〕…住民とふれあうなかで期待に応える

火災を防止し、その被害を最小限にするためには、住民に火災の恐ろしさを十分認識していただき、火災予防対策を徹底するとともに、万一の火災に対して迅速に対処する方法を指導していくことが大切です。

そのために、広報誌・ホームページなどにおいて常に新しい幅広い情報を提供し、積極的に地域に出向き火災予防について住民の声を業務に反映させ、防火・防災について関心を高めるための予防広報活動に努めています。

〔幼・少年・女性防火委員会〕…地域に根ざした防災活動

私たちの暮らす山間地域は、高度経済成長期を境として過疎化・少子高齢化が著しく進展し、地域社会における防災体制の危機的な状況から、「安全で安心して暮らせる地域づくり」をめざし、クラブの結成と育成並びに地域に根ざした防火・防災活動を行うことを目的に幼・少年・女性防火委員会を設置しています。

<幼・少年・女性防火クラブ結成状況>

区 分		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
幼年消防クラブ	クラブ数	5	1	1	1	8クラブ
	クラブ員数	154	4	7	3	168人
少年消防クラブ	クラブ数	6	1	2	1	10クラブ
	クラブ員数	94	6	21	5	126人
女性防火クラブ	クラブ数	5	1	-	-	6クラブ
	クラブ員数	198	9	-	-	207人

〔防火・防災に関する知識・技術の住民普及〕…地域ぐるみの防災体制と共助の力を強化

災害時に被害の軽減を図るためには、普段から近隣や地域とのつながり結びつきを大切にし、住民一人ひとりの高い防火・防災意識に基づいた迅速、的確な通報・初期消火・避難はもちろんのこと、正しい知識と行動力を身につけた自主的な防災活動が不可欠です。

このようなことから、防火クラブ、自治会(自主防災組織)や事業所等への防火・防災知識の普及、防災訓練等を通じて地域ぐるみの防災体制の強化を図って共助の力を期待しています。

<防災・防火教室等実施状況>

区 分	学校関係	事業所	地域関係	防火クラブ等	総 計
実施回数	5	21	-	2	28回
参加者数	345	460	-	38	843人

住宅防火対策

〔住宅用火災警報器設置の推進〕…家族や財産を守るために

平成 21 年以降、火災による死傷者は、おおむね減少傾向となっていますが、犠牲者の7割以上が 65 歳以上の高齢者となっています。また、81 歳以上の高齢者では、全年齢階層における平均の 3.7 倍と著しく増加していることから、高齢者宅の火災危険箇所の点検や、高齢者の防火・防災意識の向上を図ることを目的とした防災診断を実施しています。

また、死亡に至った主な要因として、逃げ遅れによるものが約半数を占めていることから、住宅火災の逃げ遅れによる犠牲者を減らすことを目的とし、住宅用火災警報器設置の設置が義務づけられています。

住宅用火災警報器の普及は、住宅防火対策の「切り札」と言え、地域の安心・安全を確保する上で極めて重要な課題です。また、設置義務化から 10 年を経過しており、設置普及と共に、適正な維持管理の方法についても強化を図っていく必要があります。

<防災診断実施状況>

区 分		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
一人暮らし のお年寄り 防災診断	訪問対象戸数	513	74	204	98	889 戸
	在 宅 数	192	29	99	35	355 戸
	在 宅 率	37.4	39.2	48.5	35.7	39.9 %
	不在者宅数	278	37	81	57	453 戸
後期高齢者 夫婦世帯等 防災診断	訪問対象戸数	新型コロナウイルス感染拡大により中止				
	在 宅 数					
	在 宅 率					
	不在者宅数					

※ 対象外等により、訪問対象戸数と在宅数、不在者宅数の合計は一致しない。

<住宅用火災警報器の都道府県別設置率及び条例適合率> (令和 2 年 7 月 1 日現在)

都道府県(順位)	設置率	都道府県(順位)	条例適合率
福井県 (1)	94.8%	福井県 (1)	87.0%
愛媛県 (34)	78.8%	愛媛県 (15)	68.5%
全 国	82.6%	全 国	68.3%
久万高原町	89.0%	久万高原町	86.0%

※ 標本調査のため、各数値は一定の誤差を含む。

※ 設置率とは、市町村の火災予防条例において設置が義務付けられている住宅の部分のうち、一箇所以上設置されている世帯(条例適合世帯を含む)の全世帯に占める割合。

※ 条例適合率とは、市町村の火災予防条例において設置が義務付けられている住宅の部分すべてに設置されている世帯(条例適合世帯という。)の全世帯に占める割合。

危険物

〔危険物保安の広報と指導〕

危険物施設の事故原因を分析すると、管理や確認が不十分であるなど人的要因によるものが多いことから、危険物施設の立入検査を実施し、事業所における自主保安体制の確立を推進するとともに、広く国民の危険物に対する意識の高揚及び啓発を図るため、毎年6月の第2週を「危険物安全週間」と定め、全国的に啓発運動を実施しています。

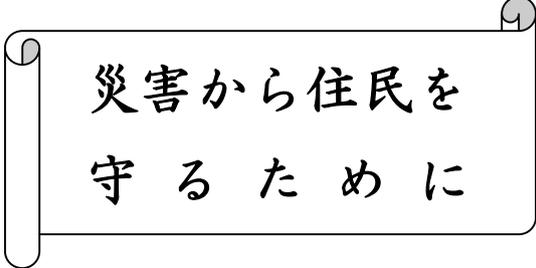
<危険物事業所数>

地 域	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
事業所数	27	1	6	2	36

<危険物施設の状況>

区 分	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
屋内貯蔵所	3	-	1	-	4
屋外タンク貯蔵所	3	-	1	-	4
屋内タンク貯蔵所	1	-	-	-	1
地下タンク貯蔵所	7	-	-	1	8
簡易タンク貯蔵所	2	-	-	-	2
移動タンク貯蔵所	7	-	2	-	9
屋外貯蔵所	-	-	-	-	-
給油取扱所	11 (3)	1 (1)	5 (1)	1 (0)	18 (5)
一般取扱所	3	-	1	-	4
合 計	37	1	10	2	50

注()は自家用給油取扱所再掲



災害から住民を
守るために

消防活動体制及び消防隊の活動状況

高齢化率 48.8%と過疎・高齢化が進む久万高原町では、災害弱者の安全対策に努めていますが、過去には、台風・豪雨・豪雪等により孤立した地域が発生したことから、高齢者等の「安全と安心」の確保に対する住民の期待は、ますます高まっています。

当消防本部では、こうした住民の期待に応えるため、火災を想定した消防団との消防ポンプ運用訓練はもとより、自然災害における救急救助活動の指導などを通じて連携強化を図り、より効果的な消防活動体制の確立に務めています。

令和2年度中における消防隊の活動状況は、火災出動件数が4件、出動隊数は26隊となっています。

<消防隊の火災出動状況>

区 分	合 計	準市街地 建物火災	その他地域 建物火災	車両火災	林野火災	その他火災
火災出動件数	4	—	1	—	1	2
出 動 隊 数	26	—	7	—	9	10

注) 救急車の出動は除く

<消防隊の活動状況>

区 分	出 動 件 数	出 動 隊 数	放 水 隊 数	放 水 量 (m ³)	ホ ー ス (本)	活 動 内 容				
						救 助 隊 活 動 数	指 揮 隊 活 動 数	消 火 隊 活 動 数	活 動 隊 支 援 数	
建 物 火 災	1 次出動	1	6	4	90	40	1	—	4	1
	2 次出動	—	2	—	—	—	—	—	—	2
	3 次出動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小 計	1	8	4	90	40	1	—	4	3
建 物 以 外	1 次出動	3	17	2	64	49	—	1	11	5
	2 次出動	—	2	—	—	—	—	—	—	2
	3 次出動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小 計	3	19	2	64	49	—	1	11	7
合 計	4	27	6	154	89	1	1	15	10	

消防相互応援体制の状況

〔消防相互応援協定〕

- 伊予・大洲・久万高原広域消防相互応援協定(平成 17 年 11 月 1 日)
伊予消防等事務組合・大洲地区広域消防事務組合・大洲市・伊予市・砥部町・内子町・久万高原町
- 中予地区広域消防相互応援協定(平成 31 年 3 月 29 日)
松山市・伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町・伊予消防等事務組合
- 西部四国山地消防相互応援協定(昭和 45 年 9 月 1 日)
西予市・鬼北町・久万高原町・津野町・四万十町・梶原町・中土佐町・仁淀川町・高幡消防組合
高吾北広域町村事務組合 10 団体
- 真弓トンネル内における消防活動に関する覚書(平成 17 年 11 月 1 日)
内子町、久万高原町、久万高原町消防本部、大洲地区広域消防事務組合消防本部
- 愛媛県消防広域相互応援協定(平成 18 年 4 月 1 日)
愛媛県下の市町及び消防一部事務組合
- 広域消防相互応援協定(平成 18 年 4 月 1 日)
仁淀消防組合・いの町・久万高原町・久万高原町消防本部
- 高幡消防組合と久万高原町相互応援協定(平成 21 年 6 月 1 日)
須崎市・四万十町・中土佐町・梶原町・津野町・久万高原町
- 高幡消防組合と久万高原町相互応援協定実施に関する覚書(平成 21 年 6 月 1 日)
高幡消防組合・久万高原消防本部
- 三坂道路に係る消防相互応援に関する覚書(平成 24 年 3 月 1 日) ※令和 3 年 4 月 1 日一部改正
松山市消防局・久万高原町消防本部・伊予消防等事務組合消防本部
- 橘中津トンネルに係る消防相互応援に関する覚書(令和 2 年 1 月 10 日)
高吾北広域町村事務組合消防本部・久万高原町消防本部

〔その他の応援協定〕

- 救急搬送協定(昭和 54 年 2 月 13 日)
高吾北広域町村事務組合消防本部
- 救急業務応援協定(昭和 54 年 6 月 29 日)
西条市
- 救急救命処置に関する覚書(平成 7 年 12 月 22 日)
国民健康保険久万町立病院・医療法人社団マリナ会西本医院
- 愛媛県消防防災ヘリコプター応援協定(平成 8 年 10 月 1 日)
愛媛県下の市町及び消防一部事務組合
- 携帯電話からの 119 番通報、転送等に関する協定書(平成 17 年 10 月 各消防本部直接受信)
松山市消防局 10/4 伊予消防等事務組合消防本部 10/11
西予市消防本部 10/20 西条市・東温市消防本部 10/24
大洲地区広域消防事務組合消防本部 10/27
- 愛媛県消防防災ヘリコプターの支援に関する協定(平成 18 年 4 月 1 日)
愛媛県下の市町及び消防一部事務組合
- 愛媛県立中央病院ドクターカーに関わる相互応援協定(平成 22 年 3 月 8 日)
愛媛県公営企業管理者・久万高原町長

緊急消防援助隊

〔装備資器材の充実と隊の増強〕

平成 7 年 1 月 17 日に発生した阪神淡路大震災のように、被災地の消防機関のみでは対応困難な大規模災害発生時において、全国の消防機関から必要な消防隊員、消防車両及び資器材等を被災地に派遣する災害応援活動の目的として、平成 7 年 6 月に緊急消防援助隊は発足され、その後法改正を経て今日に至っています。

特に近年、各地で発生する大規模な自然災害への対応や、近い将来南海トラフ巨大地震の発生が予想されており、緊急消防援助隊は全国的にますます重要性が増してきています。

1. 国庫負担制度

消防組織法第 44 条第 5 項に基づく指示を受けて出動した緊急消防援助隊の活動により、必要となる費用やその他政令で定める経費等は、国庫負担制度によって国が負担します。さらに、活動中に必要であれば消防組織法第 49 条の規定に基づき、消防用の国有財産・物品を無償で使用することが可能となっています。

2. 財政措置

緊急消防援助隊基本計画に基づき施設整備等については、義務的補助金制度により施設の種類・規格ごとに基準額の 1/2 の財政措置を受けることができます。

3. 緊急消防援助隊登録状況

緊急消防援助隊の登録隊数は令和 3 年 4 月現在、全国で 721 消防本部 6,546 隊が登録され、昨年 4 月 1 日の登録数 (6,441 隊) より 105 隊増加しております。久万高原町消防本部・署は消火小隊、救急小隊の各 1 隊を登録しています。

また、消火小隊の登録車両 (災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車) を、国庫補助金制度である緊急消防援助隊設備整備費補助金事業を活用し、令和 2 年 11 月に更新しています。

(消火小隊:平成 7 年 9 月 5 日, 救急小隊:平成 13 年 1 月 23 日登録)

情報通信

〔緊急通報〕

災害情報は緊急性と正確性を要するため、収集した情報は直ちに分析し、正確な情報を活動現場、活動部隊、及び防災関係機関等に伝達、共有することが極めて重要です。

平成 28 年 6 月から 119 番通報受信装置の更新に伴い、統合型位置情報通知装置を導入し、119 番通報において災害発生場所の特定が迅速かつ容易になっています。また、携帯電話による 119 番通報においても通報場所の位置が特定できますが、携帯電話の機能及び設定、電波状況等により誤差が大きくなり、正確な位置の特定が困難な場合もあります。

令和 2 年における通報件数は 706 件となっており、うち 119 番通報件数が 442 件、一般加入電話通報件数が 230 件、その他通報件数が 34 件となっています。通報件数は過去 10 年間のピーク時と比較し、約 31%減少しています。

<通報件数(過去 10 年間)>

	過去10年間(平成23年1月1日～令和2年12月31日)									
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
119番	585	692	718	724	602	513	526	525	476	442
(内携帯電話)	(132)	(175)	(166)	(240)	(174)	(154)	(176)	(199)	(188)	(190)
一般加入	254	246	265	267	204	236	233	189	243	230
その他	13	61	42	36	19	20	26	45	29	34
合計	852	999	1025	1027	825	769	785	759	748	706

〔消防無線〕

消防無線は、平成 26 年 3 月から 260MHz 帯の周波数を使用したデジタル方式による無線方式に移行しています。管内面積が広大(583.69km²)であることから、町内に基地局 2 箇所、中継局 1 箇所を整備し、無線不感地帯の解消、携帯電話・衛星電話を配備し通信網の多ルート化を図っています。災害時には、現地災害対策本部に可搬型無線機を設置するなど、消防・防災活動の要とも言える情報通信網の確保を図っています。また、消防団との連携を密にするため、消防団指令車・ポンプ車等に 260MHz 帯デジタル方式の消防無線(10W)を装備及び町防災行政無線の移動系端末を通信指令室に配置し、二系統の連絡を細やかにするとともに、広域応援等が行われた場合の通信確保のため、主運用波・統制波を実装し応援側と受援側の連絡を適切に行うようにしています。

また、全国各地で頻発している台風・豪雨災害や、近年発生が予測されている南海トラフ巨大地震等では、消防無線網が輻輳状態となることが懸念されます。このことから災害の多発や緊急消防援助隊での活動時等に、自隊間の連絡統制の確立を目的として、令和 2 年 10 月 1 日から 466MHz 帯の周波数を使用したアナログ方式の署活動系無線の運用を開始しています。

無線局一覽表

〔基地局〕 免許有効期間： 基地局： R5. 5.31

呼出名称	設置場所	チャンネル型式	空中線電力	通信方式	型式名	免許年月日
くましようほんぶ	大川嶺基地局 (久万高原町日野浦4368) 北緯 33° 34' 05" 東経 132° 56' 28"	活動波 1	10 W	複信	CF-2514F	H30.5.14
		活動波 2	10 W	複信	CF-2514F	H30.5.14
		愛媛県波	10 W	複信	CF-2514F	H30.5.14
		統制波 1	10 W	複信	CF-2514F	H30.5.14
		統制波 2	10 W	複信	CF-2514F	H30.5.14
くましようやなだに	柳谷基地局 (久万高原町柳井川3537) 北緯 33° 32' 15" 東経 133° 00' 06"	活動波 1	5 W	複信	CF-2416F	H30.5.14
		活動波 2	5 W	複信	CF-2416F	H30.5.14

〔多重局〕 免許有効期間： 多重局： R4.11.30

呼出名称	設置場所	空中線電力	通信方式	型式名	免許年月日
しょうぼうおおがわみね ちゅうけいきよく	大川嶺基地局(久万高原町日野浦) 北緯 33° 34' 05" 東経 132° 56' 28"	79mW	単信	JA85874	H29.12.1
しょうぼうくま ちゅうけいきよく	久万中継局(久万高原町久万) 北緯 33° 39' 17" 東経 132° 54' 10"	79mW	単信	JA85873	H29.12.1

〔移動局〕 免許有効期間： 移動局： R5. 5.31

呼出名称	設置車両	チャンネル型式	空中線電力	通信方式	型式名	免許年月日
くましよう 100	本署 卓上固定型	活動波 1・2 愛媛県波 共通6ch 全国3ch	10 W	複信	CM-2510DF	H30.5.14
くましよう 200	美川 卓上固定型		10 W	複信	CM-2510DF	H30.5.14
くましよう 101	本署 指令車		10 W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう 102	本署 査察指導車		10 W	複信	CM-2010D3	H30.5.14
くましよう 103	本署 タンク車		10 W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう 104	本署 積載工作車		10 W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう 105	本署 水槽車		10 W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう 106	美川 タンク車		10 W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう 107	本署 査察広報車		10 W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう 108	本署 公共応急作業車		10 W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう 109	本署 資器材搬送車		10 W	複信	CM-2010D3	H30.5.14
くましよう 301	本署 高規格救急車		10 W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう 302	本署 高規格救急車		10 W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう 303	美川 高規格救急車		10 W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう 305	本署 高規格救急車		10 W	複信	CM-2010D2	H30.5.14
くましよう 201	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 202	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 203	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 204	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 205	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 206	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 207	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 208	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 209	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 210	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 211	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 212	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 213	消防団 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 214	美川 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 215	美川 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 216	美川 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 217	消防団 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 218	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 219	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 220	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 221	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 222	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 223	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 224	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 225	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 226	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 227	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14
くましよう 228	本署 携帯	5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14	
くましよう 229	本署 携帯	5 W	単信	CP-5068T	H30.5.14	
くましよう 230	本署 可搬型	5 W	単信	CM-2010SM	H30.5.14	
くましよう 231	危機管理室 可搬型	5 W	単信	CM-2010SM	H30.5.14	
くましよう 110	久万方面隊 指令車	10 W	複信	CM-2010D2	H30.5.14	
くましよう 413	久万方面隊 ポンプ車	10 W	複信	CM-2010D2	H30.5.14	
くましよう 421	久万方面隊 ポンプ車	10 W	複信	CM-2010D2	H30.5.14	

〔署活動系〕		免許有効期間：		署活動系：		R7.5.31
呼出名称	チャンネル型式	空中線電力	通信方式	型式名	免許年月日	
くましよう1	久万高原町全域 9・16ch 全国・緊急消防援助隊活動時のみ 1～18ch(9・16ch除く)	1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2	
くましよう2		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2	
くましよう3		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2	
くましよう4		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2	
くましよう5		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2	
くましよう6		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2	
くましよう7		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2	
くましよう8		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2	
くましよう9		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2	
くましよう10		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2	

〔山間部における LPWA 通信網を活用した林業従事者の安全性確保〕

森林が約 90%を占める久万高原町は、基幹産業である林業において、例年、山林内での事故が発生しています。事故現場である山林の多くが携帯電話の不感地帯であるため、サービスエリア内まで移動してからの通報や現場の状況把握等に時間を要していることから、“様々な遅れ”が生じ、その後の災害活動や傷病者の予後に影響し大きな課題として懸念されていました。このことから、総務省が普及を進める「地域 IoT 実装推進事業」にて、全国初となる町内全域を網羅する自営の LPWA 通信網を構築し、携帯電話の通じない場所で林業事故が発生した場合、位置情報通知による災害発生場所の特定やチャットによる情報収集が可能となり、早期の迅速な災害活動につながります。令和 2 年 10 月 14 日には、役場・愛媛県・消防の 3 機関で合同訓練を実施しており、令和 3 年 4 月 1 日から正式運用を開始しました。

久万高原町のLPWA通信網 ～中継網により親機へ、親機からはインターネット通信網へ～



消防水利

消防水利には、消火栓・防火水槽・プール等の人工水利と、河川・池・湖・沼等の自然水利があります。

人工水利のうち、消火栓は上水道の配水管に付置されており、連続的に給水され、且つ簡易に使用できる反面、配管口径による給水量の制約、断減水時の取水不能、さらに地震時には配管の破損が懸念されるなどの弱点も併せ持っています。こうした消火栓の持つ弱点をカバーするため、耐震防火水槽を地域の実情に応じて計画的に整備しています。

自然水利は、人工水利と並んで消防水利としての重要な役割を果たしていますが、季節によっては使用不能となったり、取水場所が制限されたりすることもあります。消防署では常に管内の水利状況を把握しておく必要があり、定期的な調査を実施しています。

<人工水利と自然水利の現況>

合 計	人 工 水 利				自 然 水 利		
	小 計	防火水槽	消 火 栓	プール	小 計	河 川	池・沼
858	756	131	609	16	102	90	12

<火災における水利使用状況>

火災合計	水 利 別 延 べ 使 用 数						水 利 を 利用した 火災件数	水 利 を 利用した 消防隊数	使用量 (m ³)
	防火水槽	消火栓	プール	河川池沼	積載水	他			
4	1	-	-	-	2	-	1	3	90

[消防水利の機能保全]・・・消防水利から5m以内は、駐車が禁止されています。

消防水利は消防活動に必要不可欠なものであり、災害時にその機能が十分発揮されなければなりません。そのため常時使用可能な状態に保つため、異常の有無・付近の障害物等について定期的に調査し、機能の保全に努めています。

消防水利の位置を明確に表示し、違法駐車などによる使用障害を防止するため消火栓・防火水槽などには塗色を実施するとともに水利標識の設置を促進しています。また、冬季には降雪のため地下式消火栓、防火水槽周囲の除雪を実施しています。

<消火栓、防火水槽の除雪状況>

降雪日数	最大積雪量	除雪回数	除雪延人員	除雪延出動車両
3日	12.2cm	—	—	—

訓練

火災等困難で危険を伴う災害現場に臨む消防隊，高齢化社会の進展，疾病構造の変化に対応し，救命率の向上を図る救急隊，火災を始め，交通事故，水難事故等の災害から，人命救助を行う救助隊は厳正な規律と旺盛な士気はもとより，各種災害に精通し，専門的な能力を保持した精強な部隊でなくてはなりません。

隊長には，災害状況等の変化を把握し，効率的に現場活動し得る能力が必要とされ，また，隊員は資器材に精通し，さらに困難な現場活動を遂行できる能力が必要とされます。これが相まって初めて組織的かつ効率的な現場活動が可能となり，被害を最小限に抑えることができます。

消防署では，災害現場において各隊がより効率的に現場活動を展開するために，日々，訓練及び学習を行い，消防・救急・救助技術の向上を図っています。さらに実災害での活動ごとに指揮及び各隊の活動内容を検討し活動技術の蓄積と反省を踏まえた上で，今後の現場活動に反映させるよう努めています。

<小隊別訓練状況>

		消防			救急		救助		小隊別 合計
		学習	訓練	警防調査	学習	訓練	学習	訓練	
1 小隊	回数	19	30	7	38	20	2	20	136
	時間	23:08	43:32	5:05	65:25	28:07	3:17	18:05	186:42
2 小隊	回数	15	33	2	18	14	6	13	101
	時間	20:02	39:47	2:22	25:10	23:32	4:10	10:38	125:43
3 小隊	回数	16	35	2	27	16	6	16	118
	時間	18:47	51:50	3:05	31:30	24:40	11:50	17:35	159:17

消 防 団

消防団は「自分たちの郷土は自分たちで守ろう」という郷土愛の精神を基に地域社会の災害防止や、災害発生時の活動などを目的として組織された地域に密着した防災活動機関です。

久万高原町においては、旧町村単位で4方面隊12分団が設置されています。団員は条例定数717名、実員605名（令和3年4月1日現在）の編成となっており、水・火災等の災害時における防災活動にあたるとともに、久万高原町総合防災訓練では、自主防災組織と連携した訓練を実施し、住民の方々の「安全と安心なくらしづくり」に重要な役割を果たしています。

また、総務省消防庁及び日本消防協会では、男女共同参画及び女性の持つきめ細やかなソフトな面を活かした予防・防災活動を推進するため、女性消防団員10万人確保事業を実施し、女性の加入促進に努めています。

近年、高齢化・過疎化による災害弱者の急増と消防団員のサラリーマン化により、昼間における消防力の低下、災害時における犠牲者の増加が問題となっています。このことから火災予防の指導や広報など、災害発生前の活動を積極的に推進するため、令和3年4月1日現在、久万高原町では24名の女性消防団員を任用し、女性の特性を活かした啓蒙活動を実施しています。

その他にも新任消防団員の資質の向上、幹部団員の防災指導力の強化等、各職責に応じた講習会等を実施し、消防団全体の総合力向上に努めています。

<消防団員の状況>

消防団数	条例定数	現 在 員 数							
		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
1	717	1	4	12	12	36	93	447	605

（うち女性24名）

<令和2年中の活動状況>

区 分	火 災	風 水 害	遭難・搜索	警戒・警備	演習訓練
出動回数	4件	1件	2件	4件	4件
出動延人数	525名	2名	53名	1,112名	1,522名

久万高原町消防警察捜索推進協議会

平成7年11月28日発足

〔結成の趣旨〕・・・円滑な業務のために

近年、久万高原町内の高齢化は著しく、これに伴い高齢者の行方不明事案が多く見られるほか、観光等の来訪者による遭難事案が相次いで発生しています。

これら行方不明者の生命を救助するため、消防、警察、行政の三者が互いに連携し、迅速かつ円滑な業務の遂行を図ることで、住民の付託に応えようと結成されたものです。

＜構成団体等＞

- 久万高原町(町長)
- 久万高原町消防本部(消防長)
- 久万高原町消防団(団長)
- 久万高原警察署(署長)

＜出動対象事項＞

- (1) 久万高原町内において発生した
 - ・住民及び滞在者の行方不明事故
 - ・住民及び滞在者の遭難事故とし、住民及び滞在者から救助要請のあった場合とする。
- (2) 犯罪関係者の捜索については、その都度関係機関で協議する。

＜支援依頼要請＞

- (1) 住民および滞在者から、第一次的に救助要請を受理した機関の長が、他の機関の支援を必要と判断した時点で出動要請を行うものとする。
- (2) 支援依頼要領は、運営要領による。

＜出動日数＞

出動日数は、基本的には捜索を開始した時点より3日間とするが、事案に応じた機関の長が協議して決定する。

＜出動費用＞

出動に要した費用については、各機関によるものとし、基本的には住民及び滞在者に請求しないものとする。

救急体制

高齢化社会の進展や生活習慣の多様化などの要因による疾病構造等の変化から、国民の救急業務に対する期待や需要は増大しています。これらの要望に応えるため、救急隊員のレベルアップ及び救急活動の質の向上を目的にメディカルコントロール体制(医師による医療行為の保障)が整備され、自動体外式除細動器(AED)による除細動の実施や、救急救命士による気管挿管・救急薬剤(アドレナリン)投与、更に処置拡大に伴い、新たに、血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与・心肺機能停止前の静脈路確保と輸液など、救命処置の高度化が図られています。

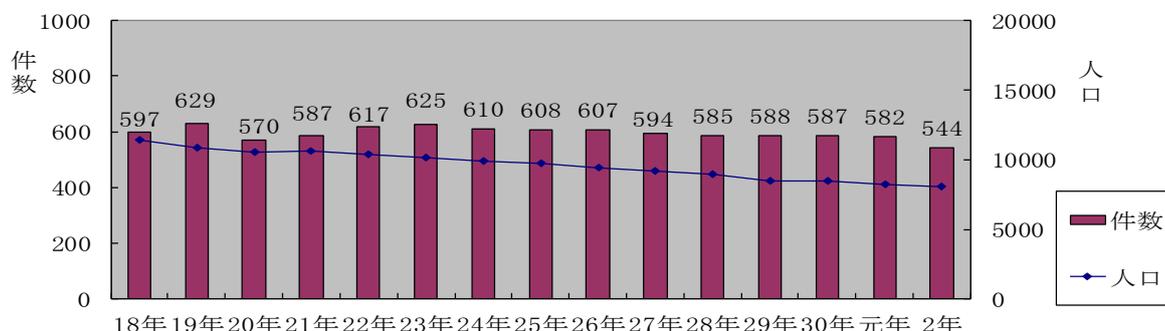
こうした状況に対応するため、当消防本部では、救急救命士及び救急隊員の養成、救急救命士の認定教育(気管挿管・薬剤投与などの追加講習への派遣)や救急救命士再教育など、救急隊員の育成と救急体制の強化、町民に対する応急手当の普及啓発、緊急電話受信時に行う応急手当の口頭指導、多数の人が集まる施設へのAEDの設置、消防防災ヘリコプター、ドクターヘリ及びドクターカーを活用した救急搬送など、プレホスピタル・ケア(救急現場及び医療機関への搬送途上における応急処置をいう)の向上に努めています。

〔救急出場状況〕・・・544件(1日あたり1.49件の出場)

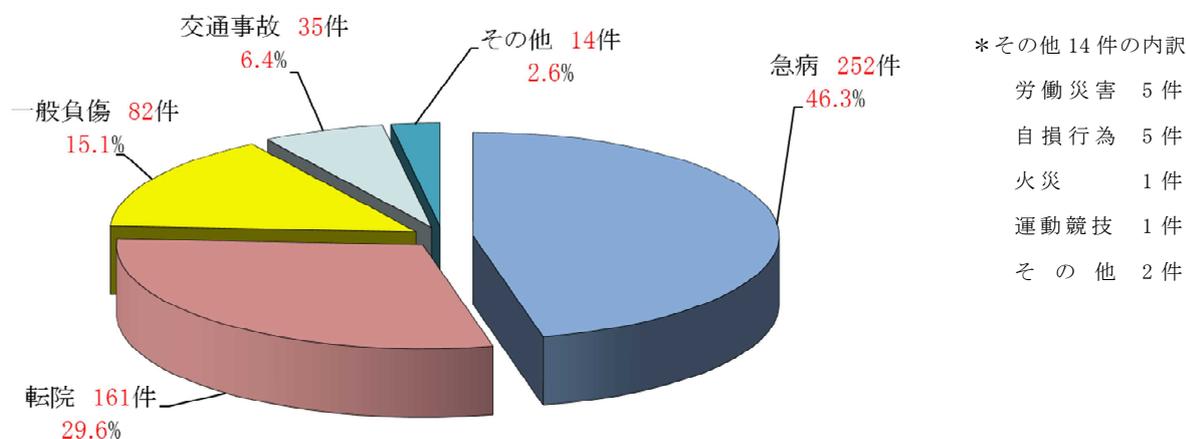
令和2年中の救急出場状況は、令和元年と比較し出場件数は38件(6.5%)の減少、搬送人員は32人(5.8%)の減少となりました。(救急編 年別救急活動状況 P87 参照)

また、救急出場を事故種別ごとにみると、1位は急病 252件(46.3%)、2位転院搬送 161件(29.6%)、3位一般負傷 82件(15.1%)、4位交通事故 35件(6.4%)、その他 14件となりました。

<過去15年間の人口と救急出場件数>



<令和2年中の事故種別救急出場件数>

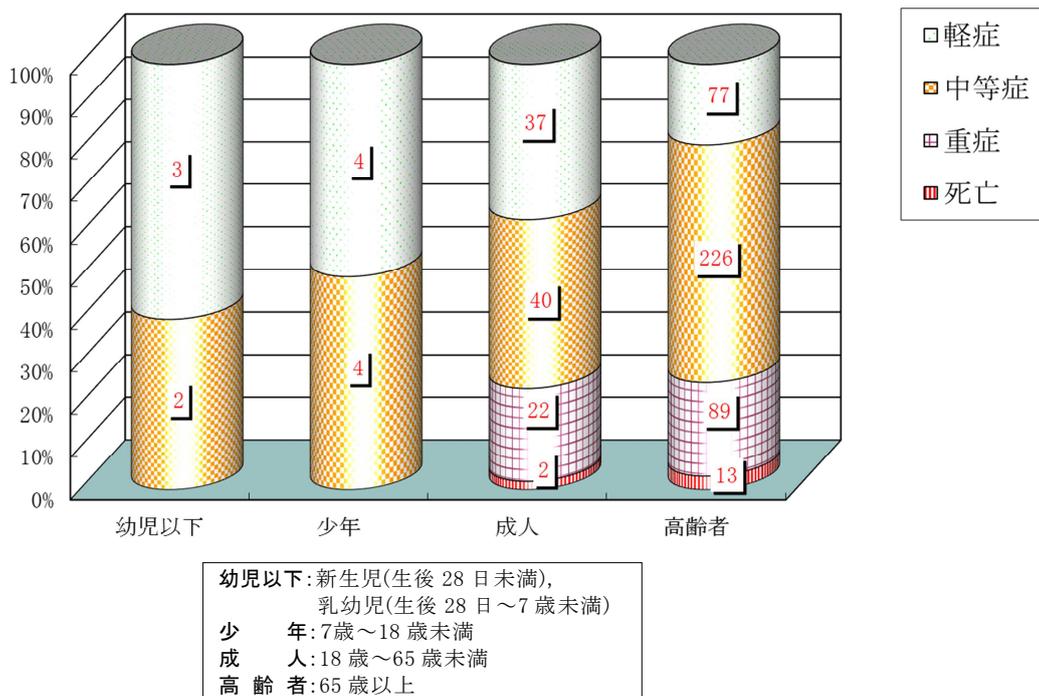


〔救急隊の活動状況〕・・・高齢者、重症傷病者への処置・搬送割合が高い

- ① 令和2年中の救急隊の活動状況(転院搬送除く)は、救急出場1件あたりの出場から救急事故現場までの平均所要時間が13.7分(全国平均8.7分)、覚知から医療機関等に収容するまでの平均所要時間が54.6分(全国平均39.5分)となっており長時間を要しています。(救急編 現場到着所要時間及び医療機関収容所要時間状況 P96 参照)
- ② 救急隊が行った応急処置の状況を見ると、酸素吸入(135件)が最も多く、以下、保温(60件)、固定処置(42件)、被覆処置(30件)、気道確保(17件)、心肺蘇生(15件)の順となっています。さらに、観察の内訳を見ると、血中酸素飽和度測定(495件)、血圧測定(493件)、心電図測定(230件)、心音呼吸音の聴取(58件)などとなっています。(救急編 応急処置及び拡大処置件数 P95 参照)
- ③ 年齢区分別の傷病程度を見ると、年齢が高くなるに従って重症・中等症の割合が高くなり、高齢者(65歳以上)の重症・中等症は60.7%を占めています。

また、高齢者の搬送は、搬送者全体の約8割を占めており、町内の人口構成から見ても、なお一層の超高齢者社会に進展することから、高齢者を対象とした救急需要の増加に対応し、町保健福祉課及び高齢者福祉施設と連携して、事故や疾病を防止する予防救急啓発活動を講じる必要があります。

＜年齢区分別傷病程度の状況＞



〔応急手当の普及〕・・・AED設置 63施設

当消防本部では管内の地理的条件等により、119番通報から救急隊が現場到着するまでに13.7分(転院搬送を除く)を要しており、呼吸停止・脈拍停止・大出血等といった生命に重大な危機が訪れた場合一刻も早い救命処置の開始が傷病者の予後を左右することとなり、現場に居合わせた住民による適切な救命処置が救命率向上のため最も重要であると言えます。また、平成16年7月1日から、非医療従事者によるAED(自動体外式除細動器)の使用が可能となったことから、普通救命講習Ⅰを開始し、令和2年12月31日までに6,831名が受講・修了しています。今後とも、職場単位や自治会(自主防災組織)単位での講習を実施し、応急手当の普及活動に努めていきたいと考えています。また、AEDは薬機法に規定する高度管理医療機器及び特定保守管理医療機器に指定されており、適切な管理が行われなければ、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある医療機器です。これらのことを踏まえ、AEDが使用される際にその性能を十分に発揮出来るように、

これまで以上にAEDの適切な維持管理が必要であり、設置施設等に対し協力を求めていく必要があります。

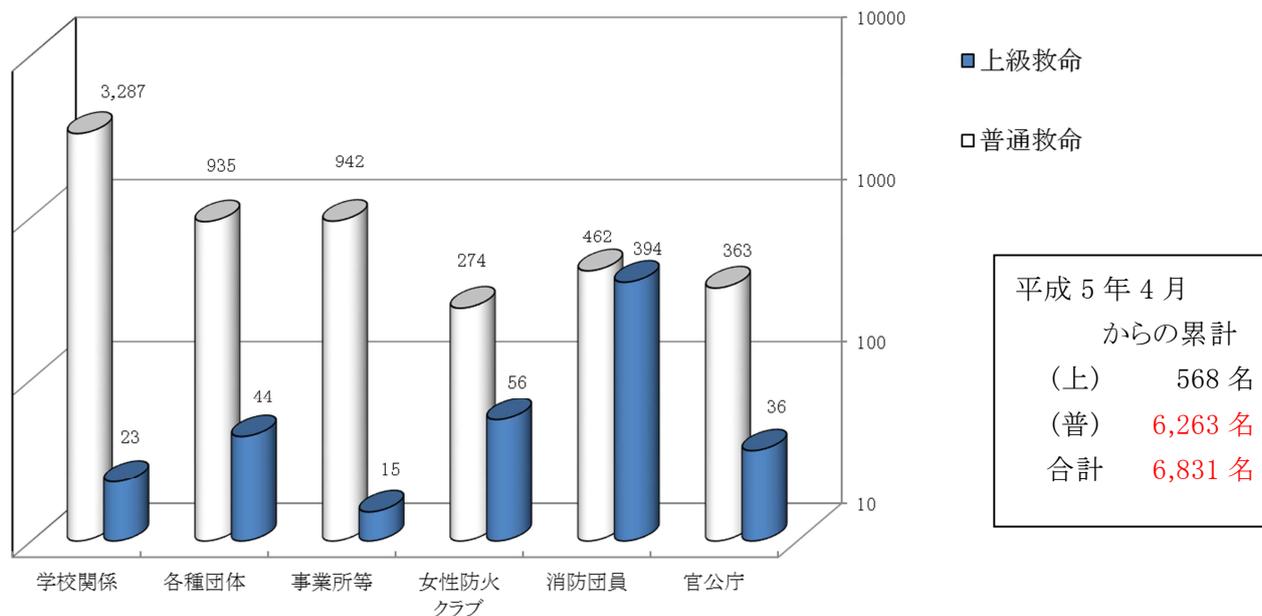
普通救命講習の主な受講者は、学生、女性防火クラブ員・地域住民・各種団体関係者となっており、特に中学生の受講率が高く毎年新入生の受講と合わせて、すでに受講済みの生徒に対して再講習等が実施され、知識・技術の維持に重要とされる反復訓練が行える体制が確立されています。これにより、小学生から実施している入門コースとあわせて生涯教育の一環として位置付け、命の尊さを理解するとともに救命技能の向上が期待できるものと考えています。

これらのことから、久万高原町内で開催される各種イベント等において使用できるよう貸出可能なAEDを整備し、貸出事業を行い救命率の向上を図っています。

<AED(自動体外式除細動器)の設置状況> 63施設

地区	施設名	地区	施設名	地区	施設名	地区	施設名
久万	役場「本庁」	久万	久万高原ふるさと旅行村	久万	大宝寺	美川	役場「美川支所」
久万	久万 B&G 海洋センター	久万	畑野川歯科	久万	久保建設	美川	美川小学校
久万	養護老人ホーム「ささゆり荘」	久万	久万高原警察署	久万	石丸建設	美川	仕七川小学校
久万	老人保健施設「あけぼの」	久万	四国電力久万営業所	久万	くま安心館	美川	美川中学校
久万	久万高原町産業文化会館	久万	久万こども園	久万	グループホーム「サマリア」	美川	岩屋寺
久万	久万高原町教育委員会	久万	伊予銀行久万支店	久万	グループホーム「メサイア」	美川	仕七川駐在所
久万	久万小学校	久万	松山市農協久万支所	久万	久万ボクシングジム	美川	小椋商店
久万	直瀬小学校	久万	うつのみや内科	久万	まちなか交流館	美川	美川中学校「若竹寮」
久万	明神小学校	久万	高橋歯科医院			美川	みかわクリニック
久万	父二峰小学校	久万	わたなべ歯科医院	面河	面河体育館		
久万	畑野川小学校	久万	IC ランド土居	面河	面河診療所	柳谷	役場「柳谷支所」
久万	久万中学校	久万	道の駅天空の郷さんさん	面河	おもご高齢者生活支援ハウス	柳谷	柳谷小学校
久万	上浮穴高等学校	久万	道の駅防災センター	面河	若山集会所	柳谷	四国電力面河発電所
久万	久万高原町立病院	久万	久万カントリークラブ	面河	相ノ峰公民館	柳谷	消防団多機能車両
久万	父二峰診療所	久万	高原ゴルフ倶楽部	面河	消防団多機能車両	柳谷	中津公民館
久万	国民宿舎「古岩屋荘」	久万	入野福祉館			柳谷	古味集会所
久万	久万スキーランド	久万	農業公園アグリピア				

<上級・普通救命講習受講人数>



<普通・上級救命講習実施状況> ※新型コロナウイルスのため講習限定開催

区分		学校	女性防火クラブ	官公庁	消防団	会社事業所	地域自主防	各種団体	合計
普通	回数	-	-	-	-	-	-	3	3回
	人員	-	-	-	-	-	-	20	20人
上級	回数	-	-	-	-	-	-	-	-回
	人員	-	-	-	-	-	-	-	-人

[救命率の向上]・・・救急救命士・高規格救急自動車の運用から 24 年

当消防本部(旧上浮穴消防本部)においては、平成 8 年 1 月から救急救命士 1 名により救命処置の行える高規格救急自動車 1 台の運用を開始し、令和 3 年 3 月 31 日現在、高規格救急自動車 4 台と救急救命士 13 名、救急科修了者 20 名で救急隊の運用を行っています。

<救急隊員の資格状況>

項目・名称	救急救命士	救急科	救急Ⅱ課程	合計
資格者数	16	22	3	41名
運用者数	13	20	0	33名

〔救急救命士の状況〕・・・13名の救急救命士が活動中(救急救命士有資格者は16名)

救急隊員が救急救命士の資格を取得するためには、救急科(救急Ⅰ課程+救急Ⅱ課程)の教育訓練を受けたものが、救急救命士養成課程(5年以上又は2,000時間以上の実務経験を有する救急隊員に対する835時間以上の教育訓練)を修了した後、国家試験に合格し厚生労働大臣の免許を受けることが必要です。

このようにして、資格を取得した救急救命士の行う救急救命処置の範囲が、平成4年3月に厚生省より示されました。その後、救急救命士の業務のあり方に関する検討がなされ、平成15年3月及び平成26年1月に救急救命処置の範囲の改正が行われ、救急救命士の行う救急救命処置として、医師の包括的指示を受けて行う行為と具体的指示を受けて行う5項目が定められています。

1. 医師の包括的指示に基づくもの(抜粋)

- ① AED(自動体外式除細動器)による除細動
- ② 血糖値測定

2. 医師の具体的指示に基づくもの

- ① 乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液
- ② 食道閉鎖式エアウェイ、ラリングアルマスク又は気管内チューブによる気道確保
- ③ 救急薬剤(アドレナリン1剤)の投与
- ④ 心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液
- ⑤ 低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与

〔救急業務高度化教育〕・・・救急隊員・救急救命士の教育

当消防本部では町民の負託にこたえるため、救急業務高度化計画に基づき、計画的に(一財)救急振興財団救急救命研修所や消防学校救急科、消防大学校救急科、救急救命士養成教育・薬剤投与追加講習・救急隊員養成教育等に派遣しています。

また、メディカルコントロール体制のもと、救急救命士就業前研修や救急救命士再教育、さらには救急救命士気管挿管実習として、指定医療機関等に派遣し救急隊員の資質の向上に努めています。

＜令和2年中の主な救急隊員外部研修＞

研修内容	研修場所・実施機関	人員	派遣期間等
救急救命士新規養成研修	北九州市・救急振興財団	1	9月4日～3月16日

〔メディカルコントロール〕・・・医学的観点から応急処置等の質を保障

救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置などの質を向上させ、救急業務の更なる高度化を推進するため、県に「愛媛県メディカルコントロール協議会」、東・中・南予に「地域メディカルコントロール協議会」を設置しメディカルコントロール体制の充実が図られています。

1. メディカルコントロール体制とは、消防機関と医療機関との連携による以下の体制を言います。

- ① 救急隊が現場からいつでも迅速に医師に指示・指導・助言が要請できる。
- ② 救急活動時の医学的判断・処置について医師が事後検証を行い、その結果を再教育に活用する。
- ③ 救急救命士の再教育として医療機関において定期的に病院実習を行う。

2. これらメディカルコントロール体制の整備に伴い、救急救命士の救命処置拡大も推進されました。

- ① 気管挿管は、平成 16 年 7 月から講習及び病院実習を修了した救急救命士により実施が可能となり、平成 16 年度から消防学校並びに実習病院に派遣し養成を行い、令和 3 年 3 月 31 日現在 11 名の認定救急救命士が活動しています。
- ② 薬剤投与は、平成 18 年 4 月から救急救命士による救急薬剤(アドレナリン)の使用が可能となりました。しかし、薬剤の使用には高度な専門性を有する講習を修了する必要があるため、平成 18 年度から、救急振興財団救急救命九州研修所及び広島市消防局に派遣、教育と病院実習を修了し、令和 3 年 3 月 31 日現在 13 名の認定救急救命士が活動しています。
- ③ AED(自動体外式除細動器)による除細動は、平成 16 年 7 月に示された厚生労働省告示により、非医療従事者も可能になったことを受け、救急救命士を除く消防職員に研修を行い救急現場での実施が可能となりました。

これらに併せて、当消防本部では管内の救急告示医療機関との連携をますます強化し、メディカルコントロール体制の整備に合わせた資器材の導入やシステムなどの構築を推進するとともに、救急救命士を含む救急隊員のレベルアップや資質の向上に努めています。

- ④ 心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与は、平成 26 年 1 月 31 日から必要とされるカリキュラムを修了した救急救命士により実施が可能となり、令和 3 年 3 月 31 日現在 13 名の認定救急救命士が活動しています。

〔ヘリ救急への取り組み〕・・・ヘリ救急(医師同乗含む)と愛媛県ドクターヘリ運航

久万高原町は石鎚山系を含む山間地域で広大な面積を有することから、救急現場から医療機関への傷病者搬送に長時間を要するケースが多く、緊急性や重症度の高い傷病者の搬送に搬送時間の短縮や高次医療機関への早期搬送に威力を発揮するヘリコプターの活用を図ることは重要です。さらに、この消防防災ヘリコプターに医師が同乗することにより、傷病者を早期に医師の管理下に置き医療が開始されることから、傷病者の救命や予後の向上に有用であることは疑うべくもありません。

このことから、平成 15 年 1 月に、管内の地理的条件や傷病者の傷病状態を考慮した「消防防災ヘリコプター救急運用マニュアル」を作成し、愛媛県防災航空事務所をはじめ、愛媛県立中央病院・愛媛大学医学部附属病院救急部を含む関係機関の協力のもと、消防防災ヘリコプターでの救急搬送(医師同乗含む)の運用を実施しています。

また、愛媛県においても平成 21 年 8 月 20 日より愛媛県消防防災ヘリコプターのドクターヘリの運航が開始、平成 29 年 2 月 1 日からは、愛媛県ドクターヘリの運航が開始され、早期に医師による治療を開始し医療機関に搬送を行い救命率の向上及び後遺障害の軽減を図り、傷病者の利益を第一とすることを目的として運航されています。

〔ドクターカーとの連携〕・・・愛媛県立中央病院のドクターカー運行

平成 22 年 3 月より、愛媛県立中央病院が「ドクターカー」の運行を開始しました。当消防本部においても、ドクターヘリ(的)運航ができない場合や、転院搬送時における傷病者の急変などを視野に入れ、ドクターヘリ(的)運航と同様に有効活用を図っています。(救急編 ドクターヘリ及びドクターカーとの連携活動状況 P97 参照)

〔救急需要への対応〕

全国的に救急出動件数は増加傾向が続いています。高齢化の進展等により救急需要は今後も増大する可能性が高いことが示されており、救急活動の延伸を防ぐとともに、これに伴う救命率の低下を防ぐための対策として、①軽症利用者等への代替措置の提供(民間の患者搬送事業者などの活用)、②転院搬送業務への病院救急自動車の活用、③119 番受信時及び救急現場における緊急度・重症度の選別(トリアージ)、④電話相談「救急安心センター事業(#7119)」, ⑤住民による緊急度判定を支援する全国版救急受診アプリ「Q助(きゅーすけ)」などが推進されています。

久万高原町の救急件数は、過疎化や少子・高齢化が進展しているものの横ばい状態にあり、人口減少は続いているが高齢化や独居化及び住民意識の変化に伴い、今後しばらくは横ばい状態を示すものと考察されます。このような状況の中、当消防本部においては、救急搬送全体に占める転院搬送の割合(30.0%)が大きいことから、2 台以上の救急車が町外へ転院搬送に出場した場合、町内の救急対応に苦慮することが考えられます。

このことから、医療機関の理解を得ながら、町内の救急対応に不備が生じないよう手段を講じるとともに、民間患者搬送事業者等の活用も考慮するなど、真に緊急を要する傷病者への対応の遅れや救命率に影響が出ないよう努めることが求められています。

救助体制

災害の態様が複雑多様化していることに加え、東日本大震災や熊本地震を始めとした地震災害、御嶽山の噴火、台風や豪雨により発生する風水害・土砂災害など、大規模な自然災害が全国各地で多発しています。このような状況のなか、西日本を中心に甚大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨」では、県内においても河川の氾濫・浸水害、土砂災害が多発し、多くの尊い命が奪われました。

近年の救助業務においては、これらの災害に対応するため、救助隊員の新たな知識・技術の習得及び救助資器材の充実強化が求められています。また、消防力を結集し被害軽減を図る広域消防連携活動の体制強化が重要視されています。このような状況を踏まえ、当消防本部においても他消防本部(局)との合同訓練に参加し、より効果的な現場活動が行えるよう連携強化を図っています。

〔救助出動の状況〕・・・主な出動として、搬送応援、ヘリ支援が挙げられる

令和2年中の救助活動状況は、救助出動件数39件、救助活動件数32件で救助人員は31人となっています。特に搬送応援及びヘリ支援が多くなっており、これらの活動は広大な面積を管轄する久万高原町における救急活動の搬送時間短縮に繋がっています。

＜事故種別の救助活動状況＞（「救助編・救助出動及び活動状況」P99参照）

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他					合計	
									高所転落	搬送応援	ヘリ支援	搜索活動	山岳事故		その他
出動件数	1	7	-	-	-	-	-	-	-	11	10	6	3	1	39
活動件数	1	3	-	-	-	-	-	-	-	10	10	6	2	-	32
救助人員	-	3	-	-	-	-	-	-	-	10	9	7	2	-	31

〔救助隊員の育成〕・・・専門的知識と技術の習得

救助隊員には、如何なる災害にも対応できる体力・精神力及び専門的知識・技術を身に付けることが不可欠です。当消防本部では、日々訓練に励み救助隊としてのチームワークと個々の能力向上を図っています。

また、消防大学校救助科及び愛媛県消防学校救助科へ職員を入校させ、指導者を育成し、救助隊として統制のとれた教育を実施しています。

〔消防防災ヘリコプターの活用方策〕・・・効果的な連携活動の重要性

令和2年中の防災ヘリ出動要請件数は山岳事故で2件となっています。また、8月に発生した林野火災においては、当消防本部では初となる複数機による空中消火活動を実施し、空中からの災害情報の偵察や人員及び物資の現場投入など、極めて有効な活動が展開されました。

あらゆる災害現場において防災ヘリを有効的に活用するため、定期的な合同訓練に加え防災ヘリの特性をよく理解し、地上隊として連携のとれた活動が展開できるよう救助技術のレベルアップに努めています。

また、管内各地域にヘリポートを整備し、より効果的な防災ヘリ運用ができる体制作りを目指しています。

（「救助編・ヘリコプター離着陸場一覧」P101参照）

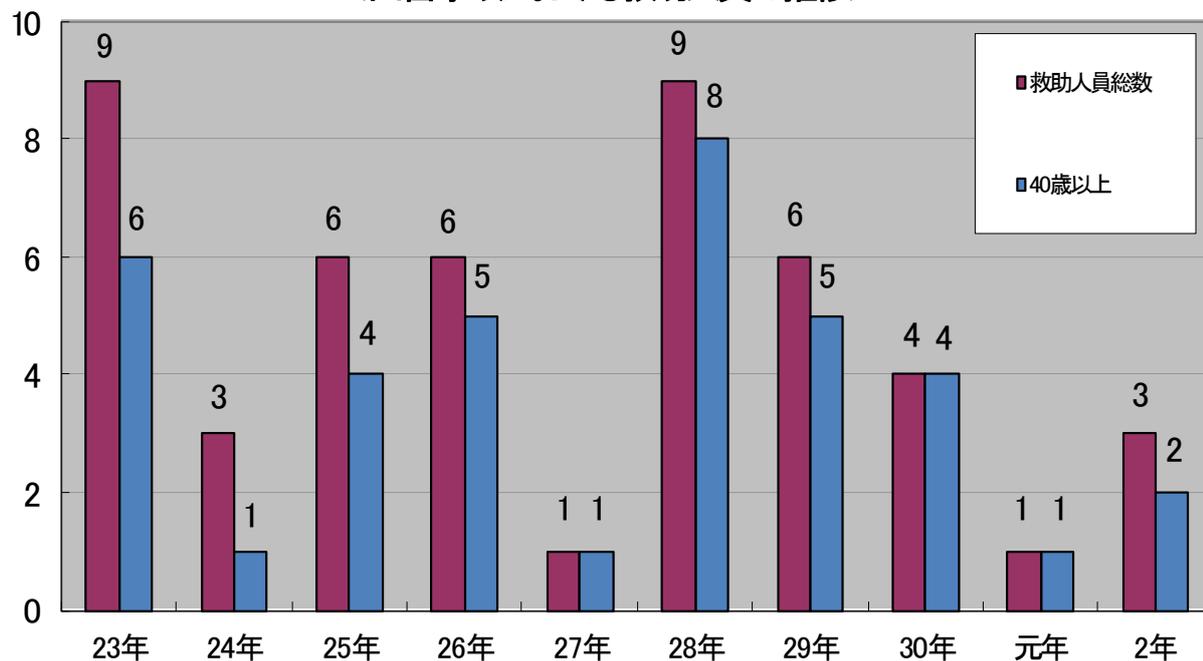
〔山岳救助〕・・・中高年者の事故が多い傾向

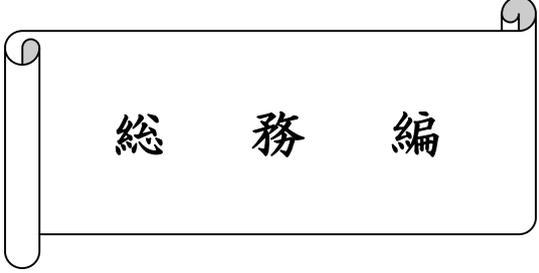
西日本最高峰の石鎚山を抱え、山岳事故が四季を問わず発生しています。過去10年間の山岳事故に関する救助人員は48人で、そのうち40歳以上の中高年者が37人となっています。

毎年「石鎚山お山開き大祭」に備え、警察・消防団・日赤・神社等の各関係機関において、7月1日～10日の大祭期間中に協力・連携して警備にあたっています。しかし、令和2年については新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、警備活動は実施していません。なお、大祭期間中に石鎚山での救助事案は発生していません。

人数

＜山岳事故における救助人員の推移＞





総務編

令和2年度おもな行事

4月	1日	辞令交付・職員会
	1	新規採用職員辞令交付式
	2～9/25	愛媛県消防学校初任教育入校式(4名)
	7	新規採用職員研修(1名)
5月	17	愛媛県消防協会中予支部総会(松山市)【書面会議】
	30	愛媛県消防協会理事会(愛媛県消防協会)【書面会議】
5月	25	久万小学校避難訓練・少年消防クラブ結団式【学校だけで実施】
6月	1～30	土砂災害防止月間
	1～7	崖崩れ防災週間
	1	令和2年後期研修生候補者入学前学力テスト(愛媛県消防学校)
	7～13	危険物安全週間
	12	愛媛県消防協会評議員会(ウェルピア伊予)
7月	18	第9回通信消防指令の共同運用に関する基礎調査の担当者協議(松山市合同庁舎)
	10	愛媛県消防長会火災調査担当者研修会(松山市消防局西消防署)【書面会議】
	18	愛媛県MC症例検討会・南予地域MC症例検討会【不参加】
	21	愛媛県消防学校初任教育技術支援
	21	危険物保安監督者技術講習会(男女共同参画センター)
	29	第10回通信消防指令の共同運用に関する基礎調査の担当者協議(松山市合同庁舎)
	31	第2回女性活性化推進ワーキンググループ会議【書面会議】
	31	愛媛県消防長会違反是正推進連絡会及び住宅用火災警報器設置対策連絡会(松山市合同庁舎)
8月	4	甲種防火管理再講習講師派遣(松山市消防局西消防署)
	6	愛媛県消防協会執行役員会・理事会(愛媛県消防協会)【不参加】
	8	防災士養成講座(久万高原町消防本部大会議室)
	11～14	愛媛県消防学校初任教育実務研修
	25	愛媛県消防長会違反是正研修会(中予地区)(東温市消防本部)
	28	全国消防長会四国支部予防事務担当者会議(徳島市)【書面会議】
9月	29	愛媛県総合防災訓練(伊予市双海町)
	29	中予地区消防団合同訓練(伊予市双海町)
	1	防災行政無線放送者研修(久万高原町役場大会議室)
	3～3/15	救急救命士研修課程(救急救命九州研修所)
	4	四国支部消防長会総務事務担当者会議【書面会議】
	6～12	救急医療週間
	9	救急の日
	12	愛媛県消防学校初任教育訓練発表会(愛媛県消防学校)
	17	第11回消防指令の共同運用に関する基礎調査の担当者協議(松山市合同庁舎)
	24	久万高原町消防職員意見発表会
10月	25	愛媛県消防学校初任教育卒業式(愛媛県消防学校)
	29	ドローン講習会
	1	辞令交付
	5	水槽付消防ポンプ自動車中間検査(兵庫県三田市)
	6	女性の活躍推進に関するワーキンググループ会議(松山市)
	9	西部四国山地消防相互応援協定市長等連絡協議会【書面会議】
	12～23	愛媛県消防学校幹部教育初級幹部科入校(1名)
	14	愛媛県防災航空隊合同訓練(笛ヶ滝ラグビー場)
	22	第12回消防指令の共同運用に関する基礎調査の担当者協議(松山市合同庁舎)
	22	愛媛県消防長会通信事務担当者研修会(松山市合同庁舎)
23	日本救急医学会中四国地方会(島根県出雲市)【誌上開催】	
24	消防団員指導員研修会(愛媛県消防学校)	

10月	27日	防火管理再講習講師派遣(松山市消防局西消防署)
	28	消防学校教育担当者会議(愛媛県消防学校)
	30	消防団長・消防長等研修会(リジェール松山)
11月	5～6	ハラスメント防止に向けた職員研修(久万高原町消防本部大会議室)
	5	中予地区消防長会119番口頭指導技術発表会(松山市合同庁舎) 【不参加】
	6	愛媛県消防長会消防法令違反是正事例研究会(松山市消防局西消防署)
	6	原子力災害対策要員研修(八幡浜市文化会館)
	9～15	秋季全国火災予防運動
	9	背負い式消火水囊受納式
	13	愛媛県消防長会秋季総会・意見発表会(西条市)
	15	消防吏員採用一次試験
	17	危険物移動タンク貯蔵所合同査察
	20	水槽付消防ポンプ自動車納車
	29	久万高原町総合防災訓練
12月	1	ハロン消火薬剤と予防行政に関する研修会 【オンライン研修】
	3	久万高原町職員安全衛生委員会
	6	消防吏員採用二次試験
	6	消防団員救助用資器材講習(愛媛県消防学校)
	7～18	愛媛県消防学校専科教育火災調査科入校(1名)
	15	第13回消防指令の共同運用に関する基礎調査の担当者協議(松山市合同庁舎)
	15	令和3年度研修候補者学力テスト(愛媛県消防学校)
	20～1/10	年末年始特別火災予防運動
	23	通信指令員業務研修(愛媛県医師会館)
	25～1/3	年末年始特別警戒
	27	消防団年末特別警戒
	28	消防団年末特別警戒本部巡視
1月	4	久万高原町長年頭挨拶・仕事始め式
	5～8	愛媛県消防学校実火災体験型訓練施設研修(1名)
	7	令和3年前期入所生入学前学力テスト(愛媛県消防学校)
	13	防災ヘリ運航調整会議(松山市合同庁舎) 【書面会議】
	16	全国消防長会四国支部警防事務担当者会議(高知県) 【書面会議】
	20～3/12	愛媛県消防学校専科教育救急科入校(3名)
	26	第63回文化財防火デー
	26	第14回消防指令の共同運用担当者協議(松山市合同庁舎)
	28～29	第29回全国救急隊員シンポジウム(堺市) 【WEB開催】
2月	3	LPWA本格運用推進検討会(久万高原町消防本部)
	5	愛媛県消防協会中予支部役員会 【書面会議】
	5	第43回防火ポスター・防火習字・硬筆コンクール審査会(久万高原町消防本部)
	9	第15回消防指令の共同運用担当者協議(松山市合同庁舎)
	12	職員全員が成長できる職場づくり研修(松山市消防局西消防署) 【LIVE配信】
	15～16	令和2年度危機管理(地震災害対策)講座(愛媛県研修所)
	18	愛媛県消防協会理事会(愛媛県武道館) 【WEB開催】
	18	令和2年度中予地方局防災・減災対策連絡会(中予地方局)
	25	松山圏域災害医療対策会議(中予地方局) 【WEB会議】
3月	1～7	春季全国火災予防運動
	1～5	愛媛県消防学校専科教育救急科同乗研修
	5	LPWA林業災害救助訓練
	14	第44回救急救命士国家試験
	14	女性消防団員研修会 【WEB会議】
	31	退職職員辞令交付式

職員の年齢別状況

階級 年齢	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士	その他	計	1	2	3	4	5	6
18	-	-	-	-	-	1	-	1	■					
19	-	-	-	-	-	2	-	2	■	■				
20	-	-	-	-	-	1	-	1	■					
21	-	-	-	-	-	-	-	-						
22	-	-	-	-	-	-	-	-						
23	-	-	-	-	-	2	-	2	■	■				
24	-	-	-	-	-	3	-	3	■	■	■			
25	-	-	-	-	-	1	-	1	■					
26	-	-	-	-	-	-	-	-						
27	-	-	-	-	1	-	-	1	■					
28	-	-	-	-	1	-	-	1	■					
29	-	-	-	-	-	-	-	-						
30	-	-	-	-	1	-	-	1	■					
31	-	-	-	3	1	-	-	4	■	■	■	■		
32	-	-	-	3	-	-	-	3	■	■	■			
33	-	-	-	-	-	-	-	-						
34	-	-	-	4	-	-	-	4	■	■	■	■		
35	-	-	-	-	-	-	-	-						
36	-	-	-	-	-	-	-	-						
37	-	-	-	1	-	-	-	1	■					
38	-	-	-	-	-	-	-	-						
39	-	-	1	-	-	-	-	1	■					
40	-	-	1	-	-	-	-	1	■					
41	-	-	-	-	-	-	-	-						
42	-	-	2	-	-	-	-	2	■	■				
43	-	-	1	-	-	-	1	2	■	■				
44	-	-	2	-	-	-	-	2	■	■				
45	-	-	-	-	-	-	-	-						
46	-	-	1	-	-	-	-	1	■					
47	-	-	1	-	-	-	-	1	■					
48	-	2	-	-	-	-	-	2	■	■				
49	-	1	1	-	-	-	-	2	■	■				
50	-	1	-	-	-	-	-	1	■					
51	-	-	-	-	-	-	-	-						
52	-	1	1	-	-	-	-	2	■	■				
53	-	-	-	-	-	-	-	-						
54	-	-	-	-	-	-	-	-						
55	-	-	-	-	-	-	-	-						
56	-	-	-	-	-	-	-	-						
57	-	1	-	-	-	-	-	1	■					
58	1	1	-	-	-	-	-	2	■	■				
59	-	-	-	-	-	-	-	-						
人員数	1	7	11	11	4	10	1	45						
平均年齢	58	52	44	33	29	22	43	36.6						

消防吏員の採用及び退職

年 度	採用・退職別	合 計	階 級 別							採 用 ・ 退 職 区 分								
			消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他	新 規 採 用	村 組 合 内 (町 異 動)	役 場 転 職	公 務 死 亡	死 亡 退 職	分 限 免 職	懲 戒 免 職	依 願 退 職	定 年 退 職
昭和53年度	採用	28	1	-	1	-	-	26	-	27	1	-	-	-	-	-	-	-
昭和54年度	採用	13	2	-	-	-	1	10	-	9	4	-	-	-	-	-	-	-
昭和63年度	退職	11	2	-	1	4	-	4	-	-	1	2	-	1	-	-	5	2
平成元年度	採用	6	-	-	-	-	-	6	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
平成5年度	退職	5	1	-	1	1	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	3	1
平成6年度	採用	10	-	-	-	-	-	10	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
平成10年度	退職	3	-	-	2	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-
平成11年度	採用	4	-	-	-	-	-	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
平成15年度	退職	4	-	-	1	-	1	2	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-
平成16年度	採用	16	1	-	-	1	1	10	3	10	-	6	-	-	-	-	-	-
平成20年度	退職	14	2	-	3	4	2	1	2	-	6	1	-	-	-	-	2	5
平成21年度	採用	13	-	-	-	-	-	10	3	10	-	3	-	-	-	-	-	-
平成25年度	退職	9	1	2	-	-	-	3	3	-	-	3	-	1	1	-	3	1
平成26年度	採用	8	-	-	-	-	-	7	2	6	-	2	-	-	-	-	-	-
平成30年度	退職	12	1	5	-	1	1	1	3	-	-	3	-	-	-	-	3	6
令和元年度	採用	6	-	-	-	-	-	5	1	5	-	1	-	-	-	-	-	-
令和2年度	退職	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
累 計	採用	104	4	-	1	1	2	88	9	87	5	12	-	-	-	-	-	-
	退職	60	8	8	8	10	4	14	8	-	9	10	-	3	1	1	19	17

消防職員研修状況

研修内容		年度別												計
		H22 以前	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2		
消防大学校	本科	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	幹部科(上級幹部科)	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6
	警防科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	予防科	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4
	救急科	4	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	6
	救助科	6	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	7
	火災調査講習会・危機管理セミナー・国民保護コース	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛媛県消防学校	初任教育	68	2	2	4	-	-	3	-	2	1	4	86	
	幹部教育(初級幹部科)	14	1	1	1	1	1	1	1	-	-	1	22	
	警防科(警防課程)	11	-	-	1	1	1	1	1	1	1	-	18	
	警防科(無線通信課程)	16	1	2	4	-	-	-	-	1	1	-	25	
	予防科	25	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	34	
	救急科(救急Ⅰ・Ⅱ課程)	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60	
	救急科(救急標準課程・救急科)	15	2	2	2	3	-	3	-	1	1	3	32	
	救急救命士追加講習	8	-	-	-	-	3	1	-	2	-	-	14	
	救助科	13	1	1	1	1	1	1	-	-	1	-	20	
	機関員運転研修	-	-	-	-	-	-	2	2	2	-	-	6	
	火災調査実務研修科	23	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	33	
	消防団員教育指導科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	応急手当指導者研修科	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	
	ポンプ操法幹部(実務)研修科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
地震体験車操作員講習会	17	12	-	-	-	3	3	3	2	-	-	40		
山岳遭難救助指導者講習会	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	9		
火災原因調査入門・基礎講座	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3		
救急救命士養成所	15	1	-	-	-	1	1	1	1	1	1	22		
救急救命士(薬剤投与追加講習)	9	1	-	-	-	-	-	2	2	-	-	14		
赤十字水上安全法講習会	12	1	2	-	2	1	-	-	-	-	-	18		
救急医療研修会	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5		
日本救急医学総会/日本臨床救急医学総会	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22		
日本救急医学会中国四国地方会	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23		
病院研修 救急救命士現任研修 追加研修・就業前研修	119	11	13	11	10	11	11	10	12	12	-	220		
合 計	537	36	27	26	21	25	30	23	28	20	10	783		

消防職員特殊技能有資格状況

階 級	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
自動車普通免許一種	1	7	12	11	4	10	45
大型自動車免許一種	1	7	12	11	4	5	40
大型特殊自動車免許	-	-	2	1	-	-	3
自動二輪自動車免許	-	4	6	5	4	4	23
ショベルローダー等運転技術者	1	1	1	-	-	-	3
消防設備士乙1	-	1	1	-	-	-	2
消防設備士乙4	-	1	2	-	-	-	3
消防設備士乙5	-	1	2	-	-	-	3
消防設備士乙6	-	2	5	3	-	-	10
消防設備士乙7	-	-	1	1	-	-	2
消防設備点検資格者(第1種・2種)	-	-	1	-	-	-	1
危険物取扱者甲種	-	-	1	-	-	-	1
危険物取扱者乙1	-	3	2	5	1	1	12
危険物取扱者乙2	-	3	4	3	-	-	10
危険物取扱者乙3	-	3	5	3	-	-	11
危険物取扱者乙4	-	6	8	10	2	4	30
危険物取扱者乙5	-	2	4	4	-	-	10
危険物取扱者乙6	-	4	6	3	-	1	14
防災士	1	6	11	-	-	2	20
特殊無線技士乙・第3級陸上	1	7	11	11	4	9	43
救急隊員資格Ⅱ課程・標準課程	1	7	10	11	4	7	40
救急救命士	1	5	6	5	-	1	18
JPTECプロバイダー・インストラクター	-	3	2	5	-	1	11
ACLSプロバイダー・インストラクター	-	1	-	-	-	-	1
MCLSプロバイダー・インストラクター	1	2	1	1	-	-	5
日赤救急法指導員	-	1	1	-	-	-	2
日赤水上安全法救助員	1	3	4	3	1	-	12
山岳遭難救助研修会	-	4	2	-	-	-	6
ガス・アーク溶接	-	2	2	1	-	1	6
酸素欠乏危険作業主任者	-	2	2	3	-	-	7
足場組立作業主任者	-	-	1	-	-	-	1
玉掛け技能講習会	-	3	3	1	-	-	7
小型船舶操縦士	-	1	3	1	1	1	7
第2種電気工事士	-	-	1	-	-	-	1
アマチュア無線技士	-	1	5	1	1	-	8

消防職員諸手当支給状況

	区分	支給単位	金額	適 要						
諸手当										
管 理 職 手 当		月	職務の級 6級 — 44,000円 5級 — 33,000円 4級 — 22,000円							
管理職員特別勤務手当		1 回	6,000円 (6時間を超える場合1.5倍) 8,000円 (6時間を超える場合1.5倍)							
時間外勤務手当 (60時間以内の場合)		時間	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">正規の勤務日</td> <td style="text-align: right;">125 / 100 × 150 / 100</td> </tr> <tr> <td>週休日</td> <td style="text-align: right;">135 / 100 × 160 / 100</td> </tr> <tr> <td>週休日の振替勤務</td> <td style="text-align: right;">25 / 100</td> </tr> </table>	正規の勤務日	125 / 100 × 150 / 100	週休日	135 / 100 × 160 / 100	週休日の振替勤務	25 / 100	管 理 職 を 除 く 全 員
正規の勤務日	125 / 100 × 150 / 100									
週休日	135 / 100 × 160 / 100									
週休日の振替勤務	25 / 100									
夜間勤務手当		時間	25 / 100							
休日勤務手当		時間	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">当務12×</td> <td style="text-align: right;">135 / 100</td> </tr> <tr> <td>非番4×</td> <td style="text-align: right;">135 / 100</td> </tr> <tr> <td>週休8×</td> <td style="text-align: right;">135 / 100</td> </tr> </table>	当務12×	135 / 100	非番4×	135 / 100	週休8×	135 / 100	管 理 職 を 除 く 隔 日 勤 務 者
当務12×	135 / 100									
非番4×	135 / 100									
週休8×	135 / 100									
特殊勤務手当	勤務日手当	日	350円 (平成20年4月1日 施行)	消 防 職 員						
	救急・消防・防災業務	1 回	100円 (平成20年4月1日 施行)	消 防 職 員						
	救急救命士 出動手当	1 回	150円 (平成20年4月1日 施行)	救 急 救 命 士						

消防費にかかる一世帯当たり及び一人当たりの金額

区分 町村名	消 防 費 (千円)	一世帯当たりの額 (円)	人口一人当たりの額 (円)
久 万 高 原 町	513,259	117,666	63,902

令和2年度会計決算額と消防費決算額の割合

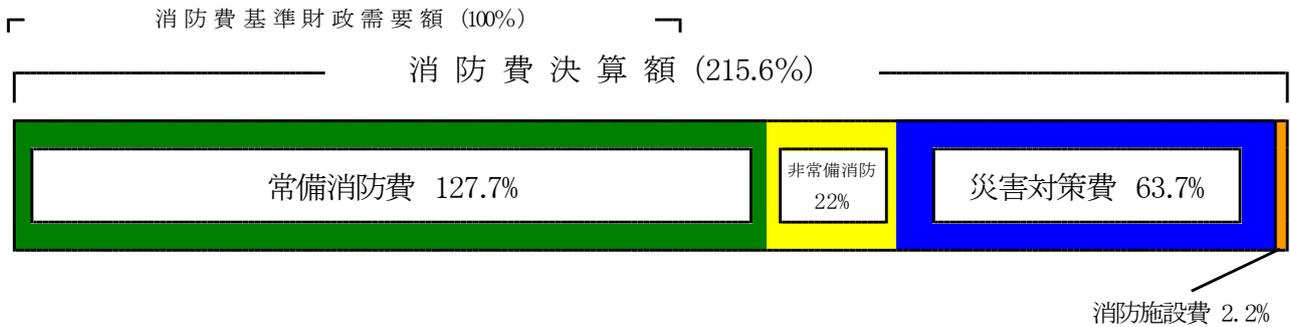
(単位:千円)

区分 町村名	一般会計決算額	消防費決済額	割 合 (%)
久 万 高 原 町	9,454,766	513,259	5.4

令和2年度消防費基準財政需要額と消防費関係状況

(単位:千円)

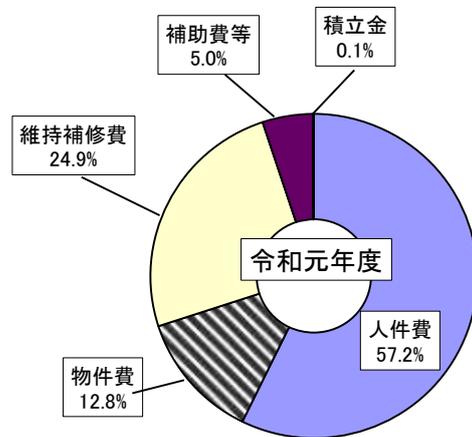
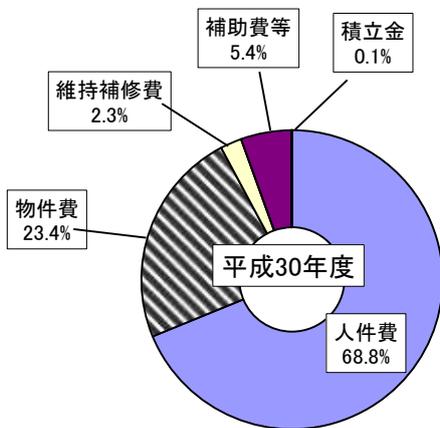
区分 町村名	消防費 基準財政需要額	消防費決算額			
		常備消防費	非常備消防費	消防施設費	災害対策費
久万高原町	238,043	304,093	52,361	5,275	151,530



消防費決算内訳状況

(単位:千円)

年度 区分	平成30年度	%	令和元年度 消防費歳出合計						
			%	常備消防	非常備消防	消防施設費	災害対策費		
人件費	307,183	68.8	293,988	57.2	273,280	20,645	—	63	
物件費	104,543	23.4	65,847	12.8	26,836	13,112	4,299	21,600	
維持補修費	10,226	2.3	127,800	24.9	—	—	—	127,800	
扶助費	—	—	—	—	—	—	—	—	
補助費等	24,245	5.4	25,586	5.0	3,939	18,604	976	2,067	
公債費	—	—	—	—	—	—	—	—	
普通建設事業費	—	—	—	—	—	—	—	—	
積立金	56	0.1	38	0.1	38	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	446,253	100.0	513,259	100.0	304,093	52,361	5,275	151,530	



ほう賞及び表彰受賞(章)状況

〔消防職員〕

表彰者	表彰種別	年度別	H23 以前	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	計
消防庁長官	消防防災機器の開発等の 消防庁長官表彰		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	消防功労者 消防庁長官表彰		2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	4
全国消防長会長	永年勤続功労賞		49	2	1	1	-	-	-	1	-	-	54
	消防特別功労表彰		-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2
全国消防長会 四国支部長	優良消防職員表彰		5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
全国消防協会長	全国優良消防職員表彰		2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
愛媛県知事	消防功労者定例知事表彰		7	-	-	1	1	-	1	1	1	1	13
	特別知事表彰		-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
上浮穴郡生活環境 事務組合 久万高原町	組合長表彰		24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
	消防長賞詞		17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17

〔消防本部〕

表彰者	表彰種別	年度別	H23 以前	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	計
消防庁長官	防災まちづくり大賞		1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
	竿頭綬		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	全国消防広報コンクール入選		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
日本防火協会長	優良幼少年婦人 防火委員会表彰		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
上浮穴郡安全協会 久万警察署長	安全運転功労		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪管区气象台	感謝状		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
久万警察署長	感謝状		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県知事	献血推進感謝状		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
上浮穴郡町村会長 久万警察署長	感謝状		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
総務大臣	総務大臣表彰		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
全国消防長会	消防活動功労者表彰		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

〔関係機関・一般(団体・個人)〕

表彰者	表彰種別	年度別	H23 以前	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	計
内閣総理大臣	防災功労者内閣総理大臣表彰		-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	0
消防庁長官	優良少年消防 クラブ表彰		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
日本防火協会長	優良少年消防 クラブ表彰		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
日本消防協会長	優良団体表彰		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県婦人防火 クラブ連絡協議会長	優良団体表彰		2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
日本消防協会長	優良婦人消防隊 (功績賞)		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1



予 防 編

年間の主な行事

実施月日	行事名	内 容
4月末日	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会	新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を受け、書面会議により対応しました。
6月7日～ 6月13日	危険物安全週間	危険物関係事業所に対する査察の実施及び予防広報により、危険物の保安に対する意識の高揚啓発に努めました。
11月9日～ 11月15日	車両による広報	期間中、管内を巡回し、火災予防広報を実施しました。
	ポスター 掲示	火災予防桃太郎旗60本の設置及び、防火ポスターを公共施設、事業所等に配布しました。
	放送による広報	期間中、防災行政無線により予防広報を実施しました。
	防災教室の実施	学校・事業所・地域を対象に通報・避難・消火訓練等を実施しました。
	立入検査の実施	防火対象物の立入検査を実施しました。
10月26日～ 11月30日	一人暮らしのお年寄り宅防災診断	管内の一人暮らしのお年寄り世帯(65歳以上889戸)を対象に、火気使用設備の状況確認や危険箇所の是正、健康状況の調査及び災害予防のための調査・指導を実施、併せて住宅用火災警報器の設置推進の活動を実施しました。
11月17日	移動タンク等立入検査の実施	移動タンク・危険物運搬車両の立入検査を久万高原警察署との合同で実施しました。 (国道33号線：露峰国道検問所)
12月20日～ 1月10日	年末年始火災予防特別運動	一般住民の防火意識の高揚を図り、「火災の未然防止」「早期発見」「被害の軽減」を目的に、年末・年始火災予防特別警戒を実施しました。
2月5日	防火ポスター・習字コンクール	小・中学生よりポスターの部241点・防火習字・硬筆の部239点の応募があり133名を表彰しました。表彰作品については管内各施設で展示会を実施しました。
3月1日～ 3月7日	ポスター 掲示 放送による広報 防災教室の実施 立入検査の実施	秋季火災予防運動に同じ。
	後期高齢者夫婦世帯等防災診断	新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を受け、訪問を中止しました。

危険物施設数

(完成検査済証交付施設)

製造所等の別 数量の別	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油	一 般	小 計	
5倍以下	2	1	1	6	2	9	-	21	2	1	3	24
5倍をこえ 10倍以下	2	3	-	1	-	-	-	6	2 (2)	-	2	8
10倍をこえ 50倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	3 (3)	2	5	5
50倍をこえ 100倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	7	7
100倍をこえ 150倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	3
150倍をこえ 200倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	2
200倍をこえ 1000倍以下	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1
合 計	4	4	1	8	2	9	-	28	18 (5)	4	22	50

※注 給油取扱所欄()は自家用を再掲

危険物関係事務の処理状況

施設別 種 類 別	貯 蔵 所								取扱所			合 計
	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油	一 般	小 計	
設 置 許 可	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
変 更 許 可	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	3
設 置 完 成 検 査	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
変 更 完 成 検 査	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	3
予 防 規 程 の 認 可	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2	8	8
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱 承 認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仮 使 用 の 承 認	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	3
廃 止 届	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
譲 渡 引 渡 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
種 類 数 量 変 更 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
変 更 届	-	-	-	1	-	-	-	1	2	2	4	5
保 安 監 督 者 選 ・ 解 任 届	1	1	-	4	-	-	-	6	5	-	5	11
取 扱 者 選 ・ 解 任 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
休 止 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再 開 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	1	1	-	5	-	3	-	10	22	4	26	36

危険物手数料の徴収状況

(単位:円)

地区別 区分	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	計
設置許可	26,000	-	-	-	26,000
変更許可	92,000	-	-	-	92,000
設置完成検査	13,000	-	-	-	13,000
変更完成検査	46,000	-	-	-	46,000
水張(圧)検査	22,000	-	-	-	22,000
仮貯蔵・仮取扱	-	-	-	-	-
仮使用	16,200	-	-	-	16,200
合計	215,200	-	-	-	215,200

危険物施設に対する査察状況

製造所等の別 査察実績	施設数	査察回数(延べ)
屋内貯蔵所	4	3
屋外タンク貯蔵所	4	3
屋内タンク貯蔵所	1	-
地下タンク貯蔵所	8	7
簡易タンク貯蔵所	2	1
移動タンク貯蔵所	9	8
屋外貯蔵所	-	-
給油取扱所	18	16
一般取扱所	4	4
合計	50	42

防火対象物数・立入検査状況

地区別 防火対象物の区分		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町	立入検査
1	イ 劇場・映画館・演芸場	1	-	-	-	1	-
	ロ 公会堂・集会場	19	6	10	5	40	15
2	イ キャバレー・カフェー・ナイトクラブ	-	-	-	-	-	-
	ロ 遊技場・ダンスホール	1	-	-	-	1	1
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等	-	-	-	-	-	-
	ニ カラオケボックス等	-	-	-	-	-	-
3	イ 待合・料亭の類	-	-	-	-	-	-
	ロ 飲食店	4	-	-	-	4	-
4	百貨店・マーケット・店舗・展示場	11	1	-	-	12	5
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所等	11	3	2	1	17	2
	ロ 寄宿舎・下宿・共同住宅	25	3	7	5	40	15
6	イ 病院・診療所・助産所	5	-	1	-	6	1
	ロ 老人児童等福祉施設・厚生施設	9	-	-	-	9	-
	ハ 老人デイサービスセンター	6	1	1	1	9	5
	ニ 幼稚園・養護学校・盲学校	4	-	2	-	6	5
7	小中学校・高等学校・各種学校	21	-	9	2	32	20
8	図書館・博物館・美術館	6	1	-	-	7	3
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-	-	-	-
	ロ 公衆浴場	1	-	-	-	1	1
10	車輛の停車場	-	-	-	-	-	-
11	神社・寺院・教会	6	-	1	-	7	2
12	イ 工場・作業場	36	2	8	-	46	11
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-
13	イ 自動車車庫・駐車場	4	-	1	-	5	3
	ロ 飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-	-
14	倉庫	39	2	1	2	44	18
15	官公署・銀行・その他の事業所	86	2	9	18	115	56
16	イ 特定の複合用途防火対象物	30	5	8	4	47	15
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	11	1	3	-	15	7
17	重要文化財・重要美術品	2	-	3	-	5	3
合 計		338	27	66	38	469	188

消防用設備の設置状況

消防用設備別 防火対象物の区分		消火設備					警報設備				避難設備		定期 点 検
		消 火 器 具	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備 等	屋 外 消 火 栓 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	火 災 報 知 設 備	消 防 機 関 へ 通 報 す る	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	
1	イ 観覧場・劇場 ロ 公会堂・集会場	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1
		35	4	-	-	-	10	1	1	10	1	20	27
2	イ キャバレー等 ロ 遊技場等 ハ 性風俗関連店舗等 ニ カラオケBOX等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
3	イ 料理店等 ロ 飲食店等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		4	-	-	-	-	3	1	-	-	-	3	2
4	百貨店等	12	2	-	-	-	7	1	-	1	-	9	7
5	イ 旅館・ホテル等 ロ 共同住宅等	17	6	-	-	-	17	2	4	2	8	17	10
		29	-	-	-	-	5	2	-	1	-	-	25
6	イ 病院・診療所 ロ 福祉施設 ハ デイサービス等 ニ 幼稚園等	6	1	1	-	-	3	-	3	2	-	5	6
		9	2	9	-	-	9	-	9	-	1	9	9
		9	-	-	-	-	8	-	1	1	-	9	9
		6	-	-	-	-	3	-	-	-	1	6	6
7	学校等	28	13	-	-	1	26	5	-	4	3	1	30
8	図書館	4	2	-	-	-	4	2	-	1	1	1	4
9	イ 蒸気浴場等 ロ 公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1
10	車輛の停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	神社・寺院	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2
12	イ 工場・作業場 ロ テレビスタジオ	46	8	-	1	-	20	-	-	-	-	1	31
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	イ 駐車場・車庫 ロ 飛行機の格納庫	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	倉庫	41	4	-	-	-	10	-	-	-	-	2	26
15	その他の事業所	81	5	-	1	-	19	1	-	7	1	11	67
16	イ 特定含む混在 ロ その他の混在	35	8	-	1	-	23	1	1	2	7	30	27
		10	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	10
17	重要文化財	5	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3
合 計		388	55	10	3	1	173	17	19	34	23	129	306

*任意設置については除外しています。

防火管理者の選任状況・消防計画の届出状況

内 訳 区 分			甲種防火対象物						乙種防火対象物					
			単一管理			複数管理			単一管理			複数管理		
			対 象 物 数	選 任 済 み	消 防 計 画									
1	イ	劇場・映画館・演芸場	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-
	ロ	公会堂・集会場	17	13	10	-	-	-	22	10	4	-	-	-
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	性風俗関連店舗等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	イ	待合・料亭の類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	飲食店	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4		百貨店・マーケット・店舗・展示場	4	3	3	1	1	1	1	1	-	-	-	-
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	12	11	10	-	-	-	3	3	3	-	-	-
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	イ	病院・診療所・助産所	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	老人児童等福祉施設・厚生施設	9	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	ディサービスセンター等	5	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	幼稚園・養護学校・盲学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7		小中学校・高等学校・各種学校	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8		図書館・博物館・美術館	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10		車輛の停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11		神社・寺院・教会	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	イ	工場・作業場	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14		倉庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15		官公署・銀行・その他の事業所	15	14	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	イ	特定の複合用途防火対象物	31	28	28	2	1	1	1	1	1	-	-	-
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17		重要文化財・重要美術品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計			111	101	97	3	2	2	28	16	9	-	-	-

各種届出事務の処理状況

種 別		地 区 別					合 計
		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	その他	
消 防 法 関 係	工事整備対象設備等着工届	4	-	-	1	-	5
	消防用設備等設置届	6	-	4	2	-	12
	消防用設備等点検結果報告	149	17	48	20	-	234
	防火管理者選任届	17	4	13	10	-	44
	消防計画作成届	25	8	16	10	-	59
	L P G 等貯蔵・取扱届	1	-	-	-	-	1
火 災 予 防 条 例 関 係	防火対象物使用開始届	2	1	2	-	-	5
	ボイラー・炉等設置届	-	-	1	-	-	1
	発電・蓄電・変電設備設置届	5	1	6	4	-	16
	火災とまぎらわしい行為の届	240	1	51	1	-	293
	煙火の打ち上げ・仕掛け届	-	-	-	-	-	-
	道路工事届	56	52	57	38	14	217
そ の 他	少量危険物・指定可燃物届	11	1	1	-	-	13
	森林火入れ許可	1	-	-	-	1	2
	罹災証明等交付申請	-	-	8	-	-	8
合 計		517	85	207	86	15	910



クラブ広報編

幼年消防クラブ

久万こども園幼年消防クラブ

S 59. 4. 1 結成

★平成25年度 上浮穴郡纏会表彰を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者	白川 真理	クラブ員	93名
4月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練)			
5月	定期避難訓練	(地震想定：消火訓練・通報訓練)			
6月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練)			
7月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練・通報訓練・紙芝居)			
8月	定期避難訓練	(台風・火災想定：消火訓練)			
9月	合同避難訓練	(地震・火災想定：通報訓練)		2	施設合同
10月	定期避難訓練	(地震想定：消火訓練)			
11月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練・通報訓練)			
12月	定期避難訓練	シェイクアウトえひめ	(地震想定：消火訓練)		
1月	定期避難訓練	(地震想定：消火訓練・通報訓練)			
2月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練：紙芝居)			
3月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練：通報訓練)			

直瀬幼年消防クラブ

S 59. 12. 1 結成

★平成27年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者	山下 慎司	クラブ員	8名
5月	避難訓練	(小学校と合同)			
10月	避難訓練	(小学校と合同)			
12月	シェイクアウトえひめ	地震想定			
1月	防火習字・ポスター作成	(小学生のみ)			
1月	我が家の防火点検	(小学生のみ)			

畑野川幼年消防クラブ

H10. 7. 9 結成

★平成28年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者	菊池 健	クラブ員	16名
6月	避難訓練	(少年・幼年合同)			
6月	救命救急法講習会	(少年・幼年・保護者合同)			
9月	避難訓練	地震想定 (少年・幼年合同)			
12月	シェイクアウトえひめ	地震想定 (少年・幼年合同)			
2月	不審者対応避難訓練	(少年・幼年合同)			

明神幼年消防クラブ

S 61. 2. 27 結成

★平成30年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者	寺岡 続樹	クラブ員	4名
5月	避難訓練	地震・火災想定 (避難経路の確認)			
7月	水難救助訓練	(救命救急講習)			
10月	避難訓練	地震・火災想定 (予告なし訓練)			
2月	避難訓練	地震想定 (引き渡し訓練実施)			

久万幼稚園幼年消防クラブ	H元. 7. 14結成
--------------	-------------

★平成29年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者	片岡 昌司	クラブ員	33名
11月	避難訓練 地震想定 降園時引渡訓練 災害時の保護者への引き渡し訓練				
12月	シェイクアウトえひめ 地震に対する避難訓練 (小学校合同)				
3月	避難訓練 地震想定 降園時引渡訓練 災害時の保護者への引き渡し訓練				

面河幼年消防クラブ	H12. 4. 1結成
-----------	-------------

★平成26年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者	玉井 志伸	クラブ員	4名
5月	令和2年度少年消防クラブ結団式				
5月	全校避難訓練 (幼小合同)				
9月	運動会案内に合わせて防火の呼びかけ				
12月	シェイクアウトえひめ 全校避難訓練 (幼小合同)				
12月～1月	わが家の防火点検				
3月	今年度の反省				

仕七川幼年消防クラブ	H3. 12. 4結成
------------	-------------

★令和元年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者	川上 斉睦	クラブ員	7名
6月	避難訓練 (少年・幼年合同)				
6月	救命救急法講習会 (日曜参観日に実施) AED指導：DVD視聴				
6月	少年消防クラブ結団式 (少年・幼年合同)				
12月	防火ポスター・習字作成 (小学生のみ)				
12月	シェイクアウトえひめ 避難訓練 (緊急地震速報)				
1月	避難訓練 (不審者への対処法)				

柳谷幼年消防クラブ	H27. 6. 4結成
-----------	-------------

★令和2年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者	長谷 哲雄	クラブ員	3名
6月	避難訓練：火災想定 (少年・幼年合同)				
12月	シェイクアウトえひめ (少年・幼年合同)				

少年消防クラブ

<小学校>

直瀬小学校少年消防クラブ

S 56. 5. 29結成

★昭和59年度 全国少年消防クラブ運営指導議会会長（消防庁長官）表彰を受ける。

★平成27年度（財）自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

★令和元年度 愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者 山下 慎司	クラブ員 9名
5月	避難訓練		
10月	避難訓練		
12月	シェイクアウトえひめ		
1月	防火ポスター作成		
1月	我が家の防火点検		

畑野川小学校少年消防クラブ

H10. 7. 9結成

★平成26年度 愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

★平成29年度（財）自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者 菊池 健	クラブ員 11名
6月	活動開始式		
6月	避難訓練 火災想定		
9月	避難訓練 地震・火災想定		
12月	一人暮らしの高齢者宅訪問（防火の呼び掛けと花・手紙の配布）		
12月～1月	我が家の防火点検		
9月～3月	防火意識の啓発活動 防火ポスター・習字の作成		

明神小学校少年消防クラブ

S 61. 2. 27結成

★平成25年度（財）自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者 寺岡 続樹	クラブ員 10名
5月	避難訓練 地震・火災想定（避難経路の確認）		
7月	水難救助訓練・救命救急法講習会		
10月	避難訓練 地震・火災想定訓練（予告なし訓練）		
12月	防火の呼び掛け活動（一人暮らしの高齢者への手紙の郵送）		
冬休み	我が家の防火点検		
1月	防火習字作成		
2月	避難訓練 地震想定（避難訓練・引き渡し訓練）		

久万小学校少年消防クラブ	H10. 11. 9結成
--------------	--------------

★平成28年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(地域防災組織育成事業)を受ける。

★平成29年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者	片岡 昌司	クラブ員	19名
8月	防災キャンプ				
11月	避難訓練				
1月	学習活動				

父二峰小学校少年消防クラブ	H11. 7. 3結成
---------------	-------------

★平成29年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(地域防災組織育成事業)を受ける。

★平成30年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者	渡邊 秀司	クラブ員	11名
6月	避難訓練 火災想定				
12月	防火の呼び掛け活動 (一人暮らしの高齢者への手紙の郵送)				
12月	シェイクアウトえひめ				
7月～1月	防火ポスター・習字作成				
1月	避難訓練 土砂災害想定				

面河小学校少年消防クラブ	H12. 4. 1結成
--------------	-------------

★平成24年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(地域防災組織育成事業)を受ける。

★平成24年度 上浮穴郡纏会表彰を受ける。

★平成24年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者	玉井 志伸	クラブ員	6名
5月	令和2年度少年消防クラブ結団式(隊長の任命)				
5月	全校避難訓練:火災想定(幼少合同)				
9月	運動会案内に合わせて防火の呼びかけ				
12月	シェイクアウトえひめ 全校避難訓練(幼小合同)				
12月～1月	我が家の防火点検				
3月	今年度の反省				

仕七川小学校少年消防クラブ	H3. 12. 4結成
---------------	-------------

令和2年度	活動報告	代表者	川上 斉睦	クラブ員	6名
6月	避難訓練(少年・幼年合同)				
6月	救命救急法講習会(日曜参観日に実施) AED指導: DVD視聴				
6月	少年消防学習会(川での安全な遊び方について)				
6月	少年消防クラブ結団式(少年・幼年合同)				
11月	避難訓練(緊急地震速報訓練)				
12月	防火ポスター・習字作成				
12月	シェイクアウトえひめ(緊急地震速報訓練)				
冬休み	我が家の防火点検				
1月	避難訓練(不審者への対処法)				
3月	校内防火・防災点検、活動のまとめ				

柳谷小学校少年消防クラブ	H27. 6. 4結成
--------------	-------------

★令和2年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者	長谷 哲雄	クラブ員	5名
6月	避難訓練：火災想定 (少年・幼年合同)				
11月	防火ポスター・習字の作成				
12月	シェイクアウトえひめ (少年・幼年合同)				

< 中学校 >

久万中学校少年消防クラブ	H12. 7. 4結成
--------------	-------------

★平成22年度 モデル少年消防クラブに選定(少年消防クラブ活性化推進会議)され、『安全で災害に強い地域づくり推進事業』(日本消防協会)において、消防防災実践活動モデル事業の助成を受ける。

★平成27年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者	福井 隆也	クラブ員	34名
6月	避難訓練 (避難経路の確認)				
6月	防災倉庫点検 (医薬品等補充)				
11月	避難訓練				

美川中学校少年消防クラブ	H12. 7. 4結成
--------------	-------------

★平成22年度 モデル少年消防クラブに選定(少年消防クラブ活性化推進会議)され、『安全で災害に強い地域づくり推進事業』(日本消防協会)において、消防防災実践活動モデル事業の助成を受ける。

★平成25年度 上浮穴郡纏会表彰を受ける。

★平成28年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和2年度	活動報告	代表者	久保 雄	クラブ員	15名
5月	避難訓練				
12月	シェイクアウトえひめ 避難訓練：地震想定				
12月～1月	我が家の防火点検				

女性防火クラブ

上直瀬女性防火クラブ S56.2.26結成

★昭和56年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。
★昭和58年度	（財）自治総会センターのコミュニティ助成事業を受ける。
★昭和60年度	上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。
★平成2年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。
★平成26年度	愛媛県消防協会会長表彰を受ける。
令和2年度	活動報告
	部長 上村 芽衣子
	クラブ員 28名
4月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会（新型コロナウイルスにより書面会議）
	※計画していた活動は新型コロナウイルスのために自粛

下直瀬女性防火クラブ S56.4.4結成

★昭和57年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。
★昭和58年度	（財）自治総会センターのコミュニティ助成事業を受ける。
★昭和60年度	上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。
★平成12年度	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会会長表彰を受ける。
★平成21年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。
★令和2年度	愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。
令和2年度	活動報告
	部長 黒田 留代
	クラブ員 32名
4月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会（新型コロナウイルスにより書面会議）
7月	軽可搬ポンプ小屋周辺草刈（8名実施）
10月	愛の一声運動・花を配布（2名参加）
10月	軽可搬ポンプ点検:不凍液の注入（2名実施）

上畑野川女性防火クラブ S59.2.15結成

★昭和62年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。
★平成6年度	上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。
★平成7年度	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会会長表彰を受ける。
★平成10年度	日本消防協会より防災資器材の寄贈を受ける。
★平成20年度	日本消防協会より経過半ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。
★平成29年度	愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。
令和2年度	活動報告
	部長 八塚 美紀子
	クラブ員 22名
4月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会（新型コロナウイルスにより書面会議）
6月	軽可搬ポンプ点検（1名実施）
11月	軽可搬ポンプ点検（1名実施）
12月	ひとり暮らしのお年寄宅訪問（1名参加:畑野川小学校少年消防クラブ合同）

下畑野川女性防火クラブ

S59.2.15結成

★昭和62年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。

★平成22年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。

★平成28年度 愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会会長表彰を受ける。

令和2年度 活動報告

部長 小黒 五月

クラブ員 49名

4月 久万高原町女性防火クラブ連絡協議会（新型コロナウイルスにより書面会議）

5月 愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会、消防大会（新型コロナウイルスにより書面会議）

11月 久万高原町総合防災訓練（自主防災の訓練に参加）

12月 ひとり暮らしのお年寄宅訪問（1名参加:畑野川小学校少年消防クラブ合同）

露峰女性防火クラブ

H9.3.1結成

★平成10年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。

★平成23年度 愛媛県消防協会会長表彰を受ける。

令和2年度 活動報告

部長 川本 洋子

クラブ員 68名

4月 久万高原町女性防火クラブ連絡協議会（新型コロナウイルスにより書面会議）

※計画していた活動は新型コロナウイルスのために自粛

渋草女性防火クラブ

H6.7.28結成

★平成6年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。

★平成9年度 上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。

★平成12年度 上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。（応急手当の普及推進）

★平成18年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ（D-1級）の寄贈を受ける。

★平成19年度 自治体消防制度60周年記念日本防火協会会長表彰を受ける。

★平成21年度 上浮穴郡纏会表彰を受ける。

令和2年度 活動報告

部長 高岡 笑美子

クラブ員 9名

4月 久万高原町女性防火クラブ連絡協議会（新型コロナウイルスにより書面会議）

※計画していた活動は新型コロナウイルスのために自粛

表彰及び助成事業状況

クラブ名	部門	全国少年消防クラブ運営指導議会 (消防庁長官) 会長表彰
直瀬小学校 少年消防クラブ		昭和59年度
クラブ名	部門	日本消防協会 優良少年消防クラブ表彰
明神小学校 少年消防クラブ		平成 3年

クラブ名	部門	『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 消防防災実践活動モデル事業 (日本消防協会)
柳谷中学校 少年消防クラブ		平成21年度
久万中学校 少年消防クラブ		平成22年度
美川中学校 少年消防クラブ		平成22年度

表彰		助成事業	
クラブ名	部門	表彰	助成事業
上直瀬 女性防火クラブ		上浮穴郡生活環境事務組合 組合長表彰 昭和60年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和56年度 平成 2年度
下直瀬 女性防火クラブ		愛媛県消防協会 会長表彰 令和2年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和57年度 平成21年度
上畑野川 女性防火クラブ		愛媛県消防協会 会長表彰 平成60年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成20年度
下畑野川 女性防火クラブ		愛媛県消防協会 会長表彰 昭和60年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
露峰 女性防火クラブ		愛媛県消防協会 会長表彰 平成60年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
渋草 女性防火クラブ		愛媛県消防協会 会長表彰 平成60年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
久万こども園 幼年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
明神 幼年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
久万幼稚園 幼年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
畑野川 幼年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
おもご幼稚園 幼年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
直瀬 幼年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
柳谷 幼年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
仕七川幼稚園 幼年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
明神小学校 少年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
久万小学校 少年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
畑野川小学校 少年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
直瀬小学校 少年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
父二峰小学校 少年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
面河小学校 少年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
柳谷小学校 少年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
久万中学校 少年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度
美川中学校 少年消防クラブ		久万こども園 幼年消防クラブ 平成9年度 平成12年度	日本消防協会 『安全で災害に強い地域づくり推進事業』 昭和62年度 平成22年度

少年消防クラブ助成事業

◎『安全で災害に強い地域づくり推進事業』

○消防防災実践活動モデル事業（モデル少年消防クラブ）

設置年度	設置クラブ名
平成21年度	柳谷中学校
平成22年度	久万中学校 美川中学校

〈資機材 配備状況〉

	品名	規格等	配備数		
			柳谷中	久万中	美川中
1	防災倉庫〔兼 救助工具収納箱〕	タクボ物置	1式	—	—
2	防災倉庫	タクボ物置	—	1式	1式
3	救助工具収納箱	AK型	—	1式	1式
4	簡易テント	E-ZUP DXA45	—	1台	1台
5	発電機	ホンダ EU16 i	1台	1台	1台
6	チェンソー	ハスクバーナ 340型	1台	—	—
7	投光器（スタンド付）	ハロゲン1灯式	1台	1台	1台
8	コードリール	防雨型	1台	1台	1台
9	リヤカー（ノーパンクタイヤ）	折りたたみ式	1台	1台	1台
10	ハンド型メガホン	防雨型（サイレン付）	1台	1台	1台
11	防塵ゴーグル	YG-5080	1個	—	—
12	ガソリン携行缶	20ℓ用	1缶	—	—
13	一輪車	—	1台	1台	1台
14	脚立	—	1台	1台	1台
15	担架	A式担架2型	1台	1台	1台
16	災害組織用救急箱	約20人用	1箱	1箱	1箱
17	LEDライト	ヘッドライト	—	10個	10個
18	LEDライト	ハンドライト	—	10個	10個
19	ヘルメット	PU-NI-L	5個	20個	20個
20	手袋	ケブラー	5双	20双	20双
21	手袋（軍手）	メクセル(12双入)	5箱	—	—
22	防塵マスク	ハイラック 350型(10枚入)	5箱	2箱	2箱

〈活動服 配備状況〉

	柳谷中学校	久万中学校	美川中学校
配備数	13着	64着	53着

（活動服 内訳）

- ①長袖シャツ
- ②カーゴパンツ
- ③帽子
- ④ベルト
- ⑤ヘルメット

少年消防クラブ助成事業

◎『少年消防クラブ育成助成事業』
○消防防災実践活動資器材整備事業

設置年度	設置クラブ名
平成24年度	面河小学校
平成25年度	明神小学校
平成27年度	直瀬小学校
平成28年度	久万小学校

〈資機材 配備状況〉

	品名	規格等	配備数			
			面河小	明神小	直瀬小	久万小
1	防災備蓄倉庫	タクボ物置	一式	一式	一式	一式
2	簡易テント	E-ZUP DXA45 DX45 アルミ TA-34	一式	一式	一式	一式
3	簡易担架	A式担架2型 アルミ	1台	1台	1台	1台
4	リヤカー (ノーパンク)	折りたたみ式	1台	1台	1台	1台
5	発電機	ホンダ EU16 i ホンダ EU9iK1JN1	1台	1台	1台	1台
6	投光器 (スタンド付)	ハロゲン1灯式 ハロゲン2灯式 ハヤタ PHCX-305	1台	1台	1台	1台
7	コードリール	防雨型	1台	1台	1台	1台
8	ハンド型メガホン	防雨型 (サイレン付)	1台	1台	1台	1台
9	LEDライト	ヘッドライト	10個	10個	10個	10個
10	ヘルメット	PU-NI-L 148EZ-W1-J	10個	10個	10個	10個
11	手袋	ケブラー	10双	10双	10双	10双
12	防塵マスク	ハイラック 350型(10枚入) 使い捨て型	1箱	1箱	1箱	1箱
13	移動式カマド	船山 EG600A 自主防エコノミーU型	一式	一式	一式	一式
14	チェーンソー	ゼノア GZ3850EZ			1台	
15	ガソリン携行缶	20ℓ			1個	2個
16	難燃毛布	災害備蓄用パック式			20枚	30枚
17	トランシーバー	ケンウッド UBZ-LP20			5台	10台
18	一輪車 (ノーパンク)					5台
19	はしご兼用脚立	PRT-20FX				1脚
20	伸縮脚付き足場台	PXGE-1012FK				1脚

少年消防クラブ助成事業

◎『少年消防クラブ育成助成事業』

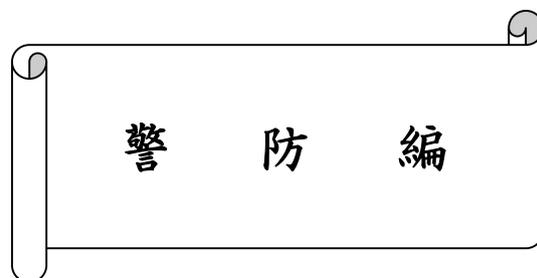
○消防防災実践活動資器材整備事業

設置年度	設置クラブ名
平成29年度	畑野川小学校
	父二峰小学校

〈資機材 配備状況〉

★は役場総務課で配備

	品名	規格等	配備数	
			畑野川小	父二峰小
1	防災備蓄倉庫		★	★
2	簡易テント	TA-34	一式	一式
3	簡易担架	A式担架2型 アルミ	1台	1台
4	リヤカー (ノーパンク)	折りたたみ式	1台	1台
5	発電機	ホンダ EU16 i	★	★
6	投光器	バルーン型	★	★
7	コードリール	防雨型	★	★
8	ハンド型メガホン	防雨型 (サイレン付)	1台	1台
9	LEDライト	ヘッドライト	10個	10個
10	ヘルメット	148EZ-W1-J	10個	10個
11	手袋	ケブラー	10双	10双
12	防塵マスク	使い捨て型	1箱	1箱
13	移動式カマド	船山 EG600A	一式	一式
14	ガソリン携行缶	20ℓ	2缶	2缶
15	難燃毛布	災害備蓄用パック式	★	★
16	トランシーバー	ケンウッド UBZ-LP20	5台	5台
17	一輪車 (ノーパンク)		5台	5台



警 防 編

保有消防車両

(令和2年12月31日現在)

車名	号車	車種	出力	登録番号	備考	配置年	年数	走行距離	配置部署	取得・寄贈
指令車兼 人員輸送車	消防 1号	トヨタ プラド	2.69KW	愛媛 さ 800 93-17	4WD	H17. 3. 10	15	88,839 k m	本部署	国庫補助
消防用査察 指導車	消防 2号	トヨタ エスティマ	2.36KW	愛媛 す 800 27-38	4WD	H21. 10. 30	12	81,243 k m	本部署	単 独
水槽付ポンプ車	消防 3号	ヒノ レンジャー	5.12KW	愛媛 は 800 62-63	4WD モリタA-1	R 2. 12. 1	0	1,436 k m	本部署	緊急消防援助隊設置整備備費
積載兼工作車	消防 4号	ミツビシ キャンター	5.24KW	愛媛 は 830 ・119	4WD ラビットB-3	H15. 8. 20	17	35,019 k m	本部署	単 独
小型動力ポンプ 付水槽車	消防 5号	ヒノ レンジャー	6.40KW	愛媛 は 800 55-67	FR車 トーハツB-3	H22. 6. 18	10	12,250 k m	本部署	平成21年度地域活性化 経済対策臨時交付金事業
水槽付ポンプ車	消防 6号	ミツビシ ファイター	8.20KW	愛媛 は 800 ・154	4WD モリタA-2	H11. 11. 30	21	40,840 k m	美川支署	国庫補助
資器材運搬車	消防 7号	スズキ エブリーフロン	0.65KW	愛媛 あ 880 16-10	4WD	H27. 1. 26	5	42,698 k m	本部署	平成26年度石油貯蔵施設 立地対策等交付金事業
査察広報車	消防 8号	ニッサン エクストレイル	1.99KW	愛媛 さ 800 93-13	4WD	H17. 3. 15	15	181,530 k m	本部署	単 独
資器材運搬車	消防 9号	スバル サンバー	0.65KW	愛媛 あ 80 20-11	4WD	R 2. 12. 28	0	4,681 k m	本部署	久万高原町消防団から移管
訓練指導車	消防11号	マツダ タイタン	1.99KW	愛媛 す 100 11-91	FR車	H18. 8. 30	14	20,896 k m	本部署	宝くじ協会寄贈
高規格救急車	救急 1号	ニッサン エルグランド	3.49KW	愛媛 す 800 63-72	4WD	H28. 3. 8	4	31,342 k m	本部署	緊急消防援助隊 設備補助事業
高規格救急車	救急 2号	トヨタ ハイエース	2.69KW	愛媛 す 800 15-64	4WD	H20. 1. 11	12	180,539 k m	本部署	全国共済農業協同組合連合会 愛媛県本部 寄贈
高規格救急車	救急 3号	トヨタ ハイエース	2.69KW	愛媛 す 800 41-33	4WD	H24. 3. 12	8	57,211 k m	美川支署	電源立地地域対策交付金事業
高規格救急車	救急 5号	ニッサン エルグランド	3.49KW	愛媛 さ 800 90-01	4WD	H16. 11. 4	16	170,680 k m	本部署	国庫補助

消防機械器具の保有状況(抜粋)

種別	名 称	数量	種別	名 称	数量
放水器具	小型ポンプB-3級	2	林野火災用器具	マルチジョイント	2
	軽可搬ポンプD-2級	1		ウォーターチャージャー	1
	高圧送水ポンプ一式	2		トレンチショベル	10
	水幕ホース	3		火たたき	5
	65mmホース	160	車両整備器具	高温・高圧洗浄機	1
	50mmホース	40		ガレージジャッキ	3
	40mmホース	21		充電器	2
	可変噴霧ノズル	3		ギアレンチ	2
	プロジェクトガン	3	その他	刈払機	2
	エコファイターノズル	2		ホースブリッジ	10
	クワドラフォグノズル	2		自立式大型水槽	1
	ラインプロポーションナー	3		防雨型コードリール	3
	プロパック	1		チェーンブロック	1
	背負い式消火水のう	60		救助用三脚	1
照明器具	発電機	5		トランジスターメガホン	10
	投光器	5		エアータント	1
	可搬式投光器	1	ナイロンスリング	6	
	携帯用投光器	1	スバリ(検索棒付)	4	
	反射式合図灯	2			

化学消火薬剤保有状況

区 分	薬 剤 名 ・ 規 格	メーカー	個 数	備 考
た ん 白 系	ニュー・マイティフォーム (3%)	ヤマト	20L × 4缶	
	ニュー・マイティフォーム (6%)	ヤマト	20L × 13缶	水溶性液体用
	合 計		20L × 17缶	340 リットル
合成界面活性剤	マルチエース	モリタ	20L × 5缶	
	プロフォーム (3%)	ヤマト	20L × 24缶	
	プロフォーム (3%)	ヤマト	20L × 7缶	耐寒用
	合 計		20L × 31缶	620 リットル
水溶性液体用 泡消火薬剤	ニューアルコジェットフォーム (6%)	ヤマト	20L × 3缶	耐アルコール用
	ニューアルコジェットフォーム (6%)	ハッタ	20L × 3缶	耐アルコール用
	合 計		20L × 6缶	120 リットル
水性膜泡 消火薬剤	フォレックスパン-S	YONE	20L × 4缶	80 リットル
	メガフォーム	大日本インキ	20L × 5缶	100 リットル
	合 計		20L × 10缶	180 リットル

※ 使用中の容器の数は含まない。

油処理剤保有状況

区 分	薬 剤 名 ・ 規 格	メーカー	個 数	備 考
油 処 理 剤	ヤマトクリーン (S480)	ヤマト	18L × 1缶	18 リットル
	シーグリーン (805)	ヤマト	18L × 5缶	90 リットル
油吸着マット	BL-65型	三 井	185枚	
油・液体吸着剤	ACライト (4.5kg入り)	谷口商会	32袋	144 kg
	ACライト (10kg入り)	谷口商会	8袋	80 Kg

※ 使用中の端数は数に含まない。

消防水利の状況

区分		地区別				合計
		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	
消火栓 65mm	公設	449	3	124	28	604
	私設	—	5	—	—	5
	小計	449	8	124	28	609
防火水槽 40t以上	公設	73	37	15	6	131
	私設	—	—	—	—	—
	小計	73	37	15	6	131
防火水槽 20 t 以上 40 t 未満		21	1	25	45	92
その他	河川・溝等	66	6	8	10	90
	海・湖	—	—	—	—	—
	プール	8	2	2	4	16
	濠・池等	6	4	—	2	12
	下水道	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
	小計	80	12	10	16	118
合計（現有数）		602	57	149	50	858
基準数		229	76	146	106	557
消防水利充足数		293	46	84	32	455
不足数		-64	30	62	74	102
充足率（%）		127.9	60.5	57.5	30.2	81.7

※消火栓:50mm 以下は除く。防火水槽:40t 未満は合計数に含まず。

耐震性防火水槽設置状況

久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	合計
31	17	7	6	61

新設消防水利の状況

区分		地区別				合計
		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	
消火栓 65 mm		1	—	—	—	1
防火水槽 40 t 以上	40t以上	2	—	—	—	2
	40t未満	—	—	—	—	0
その他の水利 (A級)		2	—	—	—	2
合計		5	0	0	0	5

年間出動状況及び燃料消費量

(令和2年12月31日現在)

出動別	車名		消防1号 指令車	消防2号 査察・指導車	消防3号 水槽付ポンプ車	消防4号 積載工作車	消防5号 小型ポンプ付水槽車	消防6号 水槽付ポンプ車	消防7号 資器材搬送車	消防8号 査察広報車
	区分	回数								
火災出動	回数	3	90	178	141	6	5	4	3	4
	走行距離	-	-	-	-	-	110	94	113	133
救急出動	回数	1	86	-	-	-	-	-	-	-
	走行距離	-	-	-	-	-	-	-	-	-
救助出動	回数	6	385	-	-	-	10	1	3	3
	走行距離	-	-	-	274	53	90	-	-	51
風水害出動	回数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	走行距離	-	-	-	-	-	-	-	-	-
捜索・遭難	回数	8	368	-	-	-	-	-	3	5
	走行距離	-	-	-	-	-	-	-	134	250
演習訓練	回数	4	250	5	42	51	45	45	4	12
	走行距離	-	-	242	77	233	109	207	37	760
訓練指導	回数	4	216	3	3	2	1	1	3	4
	走行距離	-	-	113	8	12	7	5	73	192
警防調査	回数	25	1,953	1	6	6	-	-	-	40
	走行距離	-	-	94	64	69	-	25	-	2,270
予防調査	回数	30	1,657	10	30	9	-	-	17	56
	走行距離	-	-	10	30	71	-	25	553	2,618
原因調査	回数	4	93	-	-	-	-	-	1	3
	走行距離	-	-	-	-	-	-	-	9	104
特別警戒	回数	2	102	-	2	-	-	1	-	-
	走行距離	-	-	-	44	-	-	19	-	-
予防広報	回数	1	222	-	-	1	-	-	-	2
	走行距離	-	-	-	-	21	-	-	-	53
その他	回数	31	647	54	23	26	9	9	394	72
	走行距離	-	-	4,795	198	130	43	312	2,574	1,870
誤報・確認	回数	-	-	-	5	2	-	-	-	-
	走行距離	-	-	-	49	21	-	132	-	-
合計	回数	119	6,069	67	92	112	61	104	429	202
	走行距離	-	-	5,432	611	941	325	1,043	3,583	8,301
消費燃料	ガソリン	1,024	437	-	-	-	-	-	306	1,034
	軽油	-	-	249	230	238	-	379	-	-
年間距離	回数	6,069	5,432	611	941	325	1,043	3,583	8,301	

年間出動状況及び燃料消費量

出動別	区分	車名	消防9号 資器材搬送車	消防11号 訓練指導車	救急1号 高規格車	救急2号 高規格車	救急3号 高規格車	救急5号 高規格車	合計
火災出動	回数	救	-	1	-	1	1	1	37
	走行距離	距離	-	22	-	8	17	18	989
救急出動	回数	救	-	-	113	207	221	2	544
	走行距離	距離	-	-	6,703	8,643	9,016	80	24,528
救助出動	回数	救	-	-	-	1	2	-	26
	走行距離	距離	-	-	-	64	100	-	1,017
風水害出動	回数	救	-	-	-	-	-	-	-
	走行距離	距離	-	-	-	-	-	-	-
捜索・遭難	回数	救	4	-	-	-	3	3	26
	走行距離	距離	109	-	-	-	54	125	1,040
演習訓練	回数	救	-	4	4	34	34	4	288
	走行距離	距離	-	67	164	718	622	142	3,628
訓練指導	回数	救	-	9	-	1	2	12	45
	走行距離	距離	-	68	-	17	43	60	814
警防調査	回数	救	-	4	-	17	9	-	113
	走行距離	距離	-	376	-	323	211	-	5,385
予防調査	回数	救	-	2	5	21	26	-	175
	走行距離	距離	-	46	33	327	540	-	5,910
原因調査	回数	救	-	-	-	-	-	-	8
	走行距離	距離	-	-	-	-	-	-	206
特別警戒	回数	救	-	-	-	-	-	-	13
	走行距離	距離	-	-	-	-	-	-	426
予防広報	回数	救	-	-	-	12	26	-	43
	走行距離	距離	-	-	-	296	697	-	1,300
その他の	回数	救	1	89	26	119	146	8	1,029
	走行距離	距離	4	1,832	119	1,702	1,974	41	16,241
誤報・確認	回数	救	-	-	-	-	3	-	17
	走行距離	距離	-	-	-	-	29	-	231
合計	回数	数	5	109	148	413	473	30	2,364
	走行距離	距離	113	2,411	7,019	12,098	13,303	466	61,715
消費燃料	ガソリン	軽油	21	391	1,425	1,998	2,222	210	9,068
	軽油	軽油	-	-	-	-	-	-	1,096
年間距離	距離	数	113km	2,411km	7,019km	12,098km	13,303km	466km	61,715km

備考 ※ 救急出動には医師搬送、不搬送件数を含む。

※ 救助出動には応援出動、出場途中帰署件数を含む。

※ 消防3号車は12月から新車両で運行開始。

※ 消防9号車は12月から運行開始。

※ 消防11号の火災出動は普通走行による物資搬送。

月別出動状況

(令和2年12月31日現在)

種別	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	回数	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	4
	延べ人員	13	-	-	34	-	-	-	59	-	-	-	-	106
	延べ車両	5	-	-	12	-	-	-	20	-	-	-	-	37
救急	回数	50	42	35	51	60	34	59	58	38	38	37	42	544
	延べ人員	144	129	104	151	171	96	173	165	110	113	110	123	1,589
	延べ車両	50	42	35	51	60	34	59	58	38	38	37	42	544
救助	回数	2	4	3	1	3	-	6	3	3	3	1	3	32
	延べ人員	6	11	7	3	11	-	13	7	9	9	5	9	90
	延べ車両	1	4	3	-	3	-	6	3	-	-	2	1	23
風水害等の災害	回数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	延べ人員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	延べ車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
捜索遭難	回数	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	1	6
	延べ人員	-	-	-	-	-	-	-	19	3	18	-	33	73
	延べ車両	-	-	-	-	-	-	-	2	2	6	-	10	20
演習訓練	回数	16	13	7	7	6	5	6	7	6	9	5	9	96
	延べ人員	85	52	49	51	56	65	56	51	41	48	24	37	615
	延べ車両	35	21	22	24	22	29	22	24	21	22	13	18	273
訓練指導	回数	3	18	6	-	1	-	2	-	2	2	3	2	39
	延べ人員	8	35	8	-	2	-	7	-	3	5	7	7	82
	延べ車両	5	18	6	-	1	-	91	-	4	2	4	3	134
警防調査	回数	4	-	10	2	12	10	12	9	6	2	3	2	72
	延べ人員	16	-	45	8	47	31	35	29	20	9	12	17	269
	延べ車両	6	-	17	3	19	14	16	14	8	4	6	5	112
予防調査	回数	14	12	7	2	-	2	13	13	22	11	9	11	116
	延べ人員	20	45	30	6	-	4	61	22	39	46	120	23	416
	延べ車両	8	20	12	2	-	2	23	9	15	20	55	9	175
原因調査	回数	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	3
	延べ人員	-	-	-	12	-	-	-	16	-	-	-	-	28
	延べ車両	-	-	-	3	-	-	-	5	-	-	-	-	8
特別警戒	回数	5	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	6	13
	延べ人員	14	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	18	38
	延べ車両	5	-	-	-	-	-	1	18	-	-	-	6	30
広報	回数	3	3	3	3	-	-	-	1	2	7	13	8	43
	延べ人員	9	9	8	9	-	-	-	2	6	21	38	24	126
	延べ車両	3	3	3	3	-	-	-	1	2	7	13	8	43
その他	回数	102	92	87	88	93	65	87	108	71	77	88	76	1,034
	延べ人員	189	173	152	163	185	121	165	220	134	150	175	141	1,968
	延べ車両	102	92	87	88	93	65	87	108	71	77	88	76	1,034
誤報・確認	回数	1	2	-	2	-	2	3	4	-	-	-	2	16
	延べ人員	3	6	-	7	-	5	9	12	-	-	-	6	48
	延べ車両	1	2	-	2	-	2	3	4	-	-	-	2	16
合計	回数	201	186	158	158	175	118	189	209	151	152	159	162	2,018
	延べ人員	507	460	403	444	472	322	521	606	365	419	491	438	5,448
	延べ車両	221	202	185	188	198	146	308	266	161	176	218	180	2,449

※ 火災出動は軽微な火災出動も含む。

※ 救助・捜索遭難に関しては各車年間出動状況と一致しない。

緊急通報受信状況

	月 災害別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
		受 信 件 数	火 災	1			2				2			
救 急	50		39	35	50	57	34	58	57	38	39	38	42	537
救 助											1			1
救急救助			3			3		1	1				1	9
確認出動					1		2		2		1			6
その他			2	2	1	2	4	2		3	5	3	3	27
間違い	2		1	3	3	3	2	2	5	3	2	2	4	32
いたづら														0
試 験	3			2	2	5	3	2	2	7	7	6	2	41
訓 練	2		2	4		2	1	3		5	2	6	7	34
問い合わせ	2		2	2	1		1		4			2		14
合 計	60	49	48	60	72	47	68	73	56	57	57	59	706	

携帯119転送受信状況

	月 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
		転送 受信	送 信			1					1		1	
受 信	1		1	1			2		1			2	1	9
合 計	1		1	2	0	0	2	0	2	0	1	2	1	12

覚知方法別受信状況

覚知別	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
		1 1 9	23	16	27	19	21	20	20	11	27	21	21	18
携 帯 1 1 9	12	11	11	16	16	12	28	26	14	16	18	10	190	
I P 1 1 9	1												1	
衛 星 1 1 9		1						1	2	1	1	1	7	
一 般 加 入	18	16	8	19	27	9	15	30	10	15	11	20	198	
一般加入(美川)	2			2	4	3	3	1	2	2	1	3	23	
一般加入(警察)	1	4					1			2		1	9	
一般加入(介護)													0	
転 送	1	1	1	1		2		2			3	4	15	
自 己 覚 知	2		1	2	3	1	1	2	1		1	1	15	
駆 け 付 け				1	1						1	1	4	
ジ オ チ ャ ッ ト													0	
合 計	60	49	48	60	72	47	68	73	56	57	57	59	706	

携帯電話別受信件数

携帯電話業者別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
ド コ モ	7	8	8	10	9	3	20	15	10	12	12	7	121
a u	4	3	3	5	2	6	7	6	3	3	6	3	51
ソフトバンク	1			1	5	3	1	4	1	1			17
楽天モバイル								1					1
合 計	12	11	11	16	16	12	28	26	14	16	18	10	190

久万高原町における気象記録

久万高原町消防本部観測(昭和54年～令和2年)
※令和2年の最大記録

久万高原町の最大瞬間風速記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	方 位	風 速	原 因
1	平成 16年 8月 30日	15:00	南	35.0m	台 風
2	平成 30年 7月 10日	11:17	西	30.1m	台 風
3	昭和 55年 9月 11日	8:00	南	30.0m	台 風
※	令和 2年 2月 17日	15:13	北北西	15.9m	低 気 圧

久万高原町の平均風速最大記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	方 位	風 速	原 因
1	昭和 55年 9月 11日	18:00	南	22.0m	台 風
2	平成 3年 9月 27日	20:00	南東	15.0m	台 風
3	平成 7年 9月 24日	15:00	北西	14.5m	台 風
※	令和 2年 8月 21日	14:03	北	9.7m	低 気 圧

久万高原町の最低気温記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	気 温
1	平成 7年 12月 31日	7:00	-15.0℃
2	平成 8年 2月 10日	8:00	-14.0℃
3	平成 30年 2月 9日	6:59	-13.3℃
※	令和 2年 12月 27日	7:29	-6.5℃

久万高原町の最高気温記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	気 温
1	令和 2年 8月 17日	14:59	36.2℃
2	平成 6年 8月 7日	13:00	35.7℃
3	平成 6年 7月 16日	13:00	35.6℃
※	令和 2年 8月 17日	14:59	36.2℃

久万高原町の日雨量の最大記録

順位	発 生 年 月 日	雨 量	降雨原因
1	平成 17年 9月 6日	309.5mm	台 風
2	平成 16年 8月 30日	286.0mm	台 風
3	令和 元年 8月 15日	275.0mm	台 風
※	令和 2年 7月 7日	121.0mm	低気圧

久万高原町の積雪最大記録

順位	発 生 年 月 日	積雪量
1	昭和 59年 1月 31日	72cm
2	平成 17年 12月 17日	65cm
3	平成 22年 12月 27日	60cm
※	令和 2年 2月 18日	12.2cm

久万高原町の1時間雨量の最大記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	雨 量	降 雨 原 因
1	昭和 58年 7月 16日	18:00 ~ 19:00	56.5mm	前 線 の 停 滞
2	令和 2年 8月 29日	16:00 ~ 17:00	51.5mm	前 線 の 停 滞
3	平成 29年 9月 17日	14:00 ~ 15:00	50.0mm	台 風 第 18 号
※	令和 2年 8月 29日	16:00 ~ 17:00	51.5mm	前 線 の 停 滞

久万高原町の継続雨量の最大記録

順位	発 生 年	月 / 日	～ 月 / 日	雨 量	降 雨 原 因
1	平成 17年	7/1	～ 7/6	414.0mm	前 線 の 停 滞
2	昭和 54年	6/27	～ 6/30	411.5mm	梅 雨 前 線 の 停 滞
3	平成 15年	6/28	～ 7/5	384.0mm	前 線 の 停 滞
※	令和 2年	9/6	～ 9/7	180.0mm	前 線 の 停 滞

気象観測年報

内訳		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均 極 値	
気 均	平	平均	3.8	3.5	6.8	8.6	16.6	20.7	22.2	25.4	20.4	13.5	9.3	2.3	12.8	
		最高	9.7	9.9	13.0	13.5	19.8	23.4	25.5	26.5	24.6	19.2	17.8	6.3	26.5	
		最低	-0.2	-1.2	1.9	3.0	12.6	17.0	18.3	23.7	16.0	8.7	3.8	-2.4	-2.4	
温 ℃	極	最高	16.6	18.8	19.3	24.1	28.8	31.4	33.0	36.2	32.9	27.1	22.1	14.5	36.2	
		起日	23	25	22	30	5	5	20	17	3	3	17	7	8/17	
	値	最低	-5.4	-5.1	-5.1	-3.1	3.9	10.0	13.2	17.2	9.1	1.1	-1.6	-6.5	-6.5	
		起日	6	11	6	6	8	3	2	18	28	31	29	27	12/27	
湿 度 %	平	平均	79.7	75.5	76.8	66.2	72.3	80.1	86.0	75.8	83.7	82.2	82.4	76.5	78.1	
		最低	28.1	14.1	12.1	11.2	8.3	16.0	43.6	25.2	20.2	13.6	17.1	31.5	8.3	
		起日	18	24	25	7	28	2	30	16	8	29	14	5	5/28	
風 速 m/s	平	平均	0.9	1.0	1.0	1.2	1.1	0.9	0.8	1.0	0.9	0.9	0.8	1.0	1.0	
		瞬間	15.2	15.9	14.5	14.1	15.2	11.5	14.6	11.4	15.6	14.2	11.6	15.5	15.9	
		風向	NNW	NNW	NNW	NNW	WNW	SE	NNW	NNW	E	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW
		起日	31	17	19	22	7	9	8	31	6	8	28	30	2/17	
最多風向			NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	SSE	SSE	NNW	NNW	NNW	NW	WNW	NNW	
日照時間h (累計)			92.4	121.3	136.6	224.2	195.0	141.9	84.6	233.1	112.6	164.4	123.1	116.8	1,746.0	
降 水 量 mm	合計(累計)		128.0	116.0	147.5	157.5	163.5	351.5	456.0	96.5	349.0	120.0	71.0	33.5	2,190.0	
	最	日量	33.0	31.0	25.0	47.0	65.5	98.0	121.0	34.5	105.5	46.5	24.5	17.0	121.0	
		起日	27	16	4	12	16	19	7	21	6	22	2	30	7/7	
	大	1時間	9.5	9.5	6.5	10.5	11.0	19.0	26.0	26.0	21.0	15.0	10.0	3.5	26.0	
		起日	8	16	8	13	16	19	7	21	4	22	20	30	8/21	
降 雪 量 mm	降雪日数		-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	最	日量	-	12.2	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.2	
		起日	-	18	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/18	
	大	1時間	-	4.6	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.6	
		起日	-	17	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2/17	



火災統計編

火災発生状況

年		令和元年	令和2年	増 減	
区 分		(A)	(B)	(B) - (A)	
出火件数	総件数		5	4	△ 1
	種 別	建 物	1	1	0
		林 野	1	1	0
		車 両	2	0	△ 2
		そ の 他	1	2	1
焼損状況	焼損棟数		2	5	3
	程 度	全 焼	1	5	4
		半 焼	0	0	0
		部 分 焼	0	0	0
		ぼ や	1	0	△ 1
面積	建物床	m ²	33	432	399
	建物表	m ²	0	0	0
	林 野	a	2	68	66
り災状況	総世帯		1	1	0
	程 度	全 損	1	1	0
		半 損	0	0	0
		小 損	0	0	0
死傷	人 員		2	1	△ 1
	死 者	人	0	0	0
	傷 者		0	1	1
損害状況	総損害額		8,285	10,386	2,101
	種 別	建 物	6,377	10,134	3,757
		林 野	62	252	190
		車 両	1,846	0	△ 1,846
		そ の 他	0	0	0
出 火 率		万人当り	6.1	5.0	△ 1.1

* 各年の数値は1月～12月に発生した火災を集計したものの。
以下本節において同じ。

火災一覧表

火災番号	出火月日	火災種別	出火地区	出火時刻	覚知時刻	鎮火時刻	天候	風速	湿度	焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	焼損面積 (a)	損害額 (千円)	火元用途	構造燃焼物	出火原因
1	1/18	その他	久万地区	13:50	14:00	14:50	晴れ	3.3	33%	—	—	8	—	田	—	枯草焼き
2	4/9	その他	久万地区	8:50	9:36	10:00	晴れ	0.4	48%	—	—	6	—	体耕地 (畑)	—	枯草焼き
3	4/27	建物	美川地区	16:00	16:09	18:15	晴れ	0.4	48%	432.1	—	—	10,134	住宅	木造	石油ストーブ
4	8/18	林野	久万地区	14:30	15:43	8/19 19:00	晴れ	3.3	36%	—	—	68	252	人工林	—	たばこ

地区別火災発生状況

※()内は令和2年中の数値

(平成17年～令和2年の総数)
(総件数97件)

区 分		地 区		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町			
火災 件数	総件数		55	(3)	7	24	(1)	11	97	(4)	
	種 別	建 物	29		4	19	(1)	10	62	(1)	
		林 野	12	(1)	2	3		1	18	(1)	
		車 両	6		1	1		—	8		
		その他	8	(2)	—	1		—	9	(2)	
焼損 状況	焼損棟数		36		17	41	(5)	28	122	(5)	
	程 度	全 焼	19		13	27	(5)	19	78	(5)	
		半 焼	5		1	2		2	10		
		部分焼	9		2	10		3	24		
		ぼ や	3		1	2		4	10		
面 積	建 物 床	m ²	1,450		785	1,963	(432)	1,290	5,488	(432)	
	建 物 表	m ²	194		128	101		100	523		
	林 野	a	159	(68)	3	194		10	366	(68)	
り 災	世帯		14		7	15	(1)	8	44	(1)	
	人員		25		12	32	(1)	14	83	(1)	
死 傷	死者		—		1	1		—	2		
	傷者		1		1	1	(1)	3	6	(1)	
損 害 状 況	損害額		42,009	(252)	14,162	47,983	(10,134)	26,366	130,520	(10,386)	
	種 別	建 物	千円	39,772		13,296	44,016	(10,134)	26,219	123,303	(10,134)
		林 野	783	(252)	63	2,160		134	3,140	(252)	
		車 両	1,119		803	1,800		—	3,722		
		その他	335		—	7		13	355		

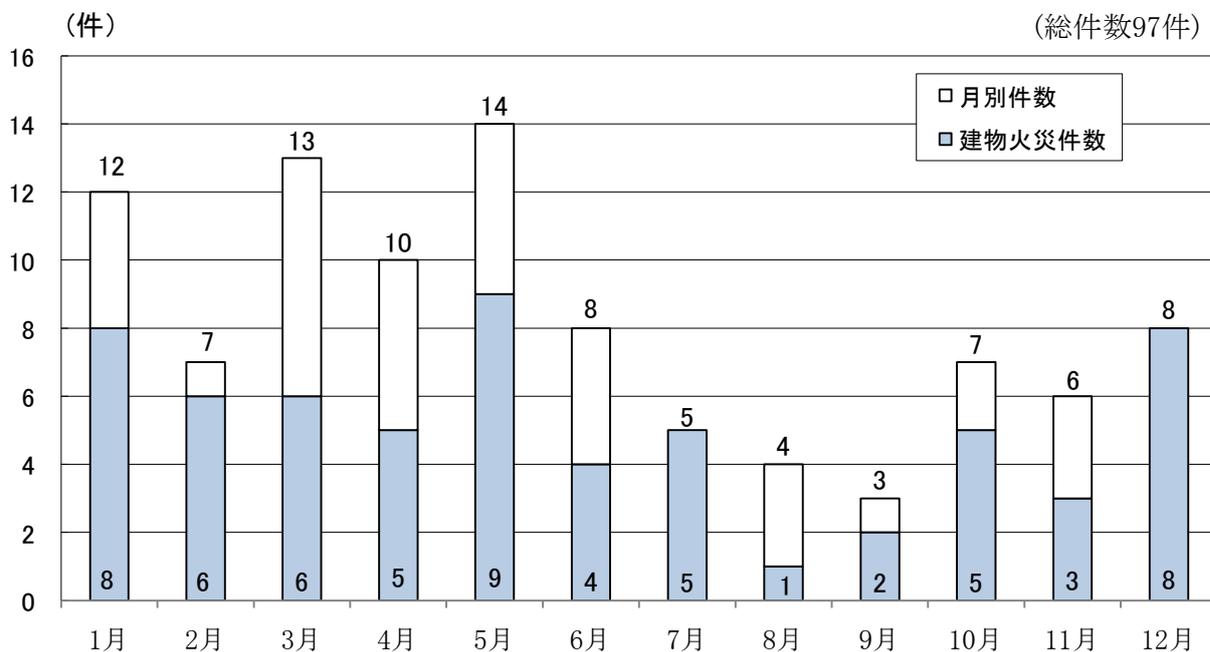
月別・季節別火災発生状況(令和2年)

季節 区分			春季			夏季			秋季			冬季			合計
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
火災 件数	総件数		-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	4
	種 別	建物	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		林野	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
		車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
焼損 状況	焼損棟数		-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
	程 度	全焼	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
		半焼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		部分焼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ぼや		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
面積	建物床	m ²	-	432	-	-	-	-	-	-	-	-	-	432	
	建物表	m ²	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	林野	a	-	-	-	-	-	68	-	-	-	-	-	68	
り 災	世帯		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	人員		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
死 傷	死者		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	傷者		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
損 害 状 況	損害額		-	10,134	-	-	-	252	-	-	-	-	-	10,386	
	種 別	建物	-	10,134	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10,134	
		林野	-	-	-	-	-	252	-	-	-	-	-	252	
		車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

月別火災発生状況

(平成17年～令和2年の総数)

(総件数97件)

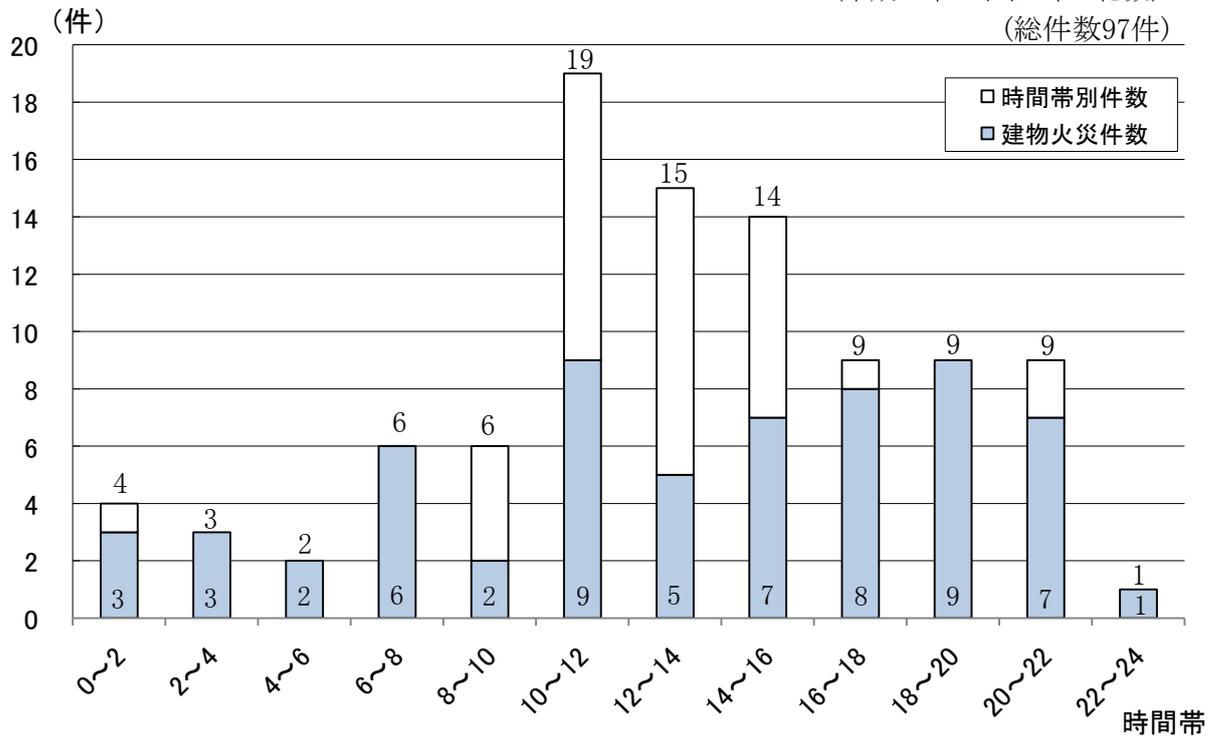


種別 年	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		
	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野																	
平成17年	4	-	2	-	1	-	2	1	2	2	2	1	2	-	1	-	1	-	3	-	-	1	3	-	
平成22年	-	-	1	1	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
平成23年	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	
平成24年	2	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	
平成25年	-	1	1	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
平成26年	1	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
平成27年	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-
平成28年	1	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
平成29年	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成30年	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和元年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和2年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	8	2	6	1	6	3	5	2	9	4	4	2	5	-	1	3	2	-	5	-	3	1	8	-	
車両	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	
その他	1	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	
合計(97)	12		7		13		10		14		8		5		4		3		7		6		8		

時間帯別火災発生状況

(平成17年～令和2年の総数)

(総件数97件)



時間 種別 年	0時		2時		4時		6時		8時		10時		12時		14時		16時		18時		20時		22時	
	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野								
平成17年	1	-	1	-	2	-	3	-	-	-	5	3	2	2	4	-	1	-	2	-	1	-	1	-
平成22年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	-	-	-	2	-	-	-
平成23年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-
平成24年	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-
平成25年	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	2	1	-	-
平成26年	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
平成27年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-
平成28年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-
平成29年	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-
平成30年	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
令和元年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和2年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
計	3	-	3	-	2	-	6	-	2	-	9	6	5	4	7	6	8	1	9	-	7	1	1	-
車両	-	-	-	-	-	-	-	3	2	2	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-	-	1	2	2	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計(97)	4	-	3	-	2	-	6	-	6	-	19	6	15	4	14	6	9	1	9	-	9	1	1	-

地区別火災発生一覧表

(平成17年～令和2年の総数)

区分 地区	出火件数				焼損面積			焼損棟数	り災		死傷者		損害額 千円
	統計	建物	林野	他	床面積(m ²)	表面積(m ²)	林野(a)		世帯	人員	死者	傷者	
久万地区	55	29	12	14	1,450	194	159	36	14	25	-	1	42,009
東明神	4	2	-	2	50	-	13	2	-	-	-	-	650
西明神	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
入野	5	3	-	2	199	-	8	3	2	2	-	-	2,902
久万	7	7	-	-	243	7	-	8	8	13	-	-	5,761
野尻	7	4	-	3	1	101	-	4	-	-	-	-	3,418
菅生	7	3	2	2	165	34	4	5	1	3	-	-	10,089
上畑野川	4	1	3	-	112	-	12	1	-	-	-	-	1,382
下畑野川	3	-	1	2	-	-	42	-	-	-	-	-	595
直瀬	8	3	3	2	192	10	6	4	-	-	-	1	884
父野川	1	-	1	-	-	-	68	-	-	-	-	-	252
露峰	4	2	1	1	164	-	-	2	1	4	-	-	7,127
二名	5	4	1	-	324	42	6	7	2	3	-	-	8,949
面河地区	7	4	2	1	785	128	3	17	7	12	1	1	14,162
相の木	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	803
笠方	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
前組	2	1	1	-	294	-	2	5	1	3	1	-	3,583
洪草大成	3	3	-	-	491	128	-	12	6	9	-	1	9,775
中組本組	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
若山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美川地区	24	19	3	2	1,963	101	194	41	15	32	1	1	47,983
有枝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大川	2	2	-	-	145	32	-	3	1	3	-	-	1,991
上黒岩	3	2	1	-	-	4	-	2	-	-	-	-	439
中黒岩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沢渡	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1,822
日野浦	6	5	1	-	791	11	8	14	4	6	1	1	19,414
仕出	1	1	-	-	30	17	-	2	-	-	-	-	652
七鳥	5	4	-	1	228	23	-	6	4	11	-	-	5,542
東川	4	4	-	-	510	14	-	10	5	10	-	-	13,151
黒藤川	2	1	1	-	259	-	186	4	1	2	-	-	4,972
柳谷地区	11	10	1	-	1,290	100	10	28	8	14	-	3	26,366
柳井川	5	4	1	-	387	59	4	9	3	5	-	3	6,291
西谷	4	4	-	-	783	41	6	14	4	7	-	-	12,845
中津	2	2	-	-	120	-	-	5	1	2	-	-	7,230
久万高原町	97	62	18	17	5,488	523	366	122	44	83	2	6	130,520



救 急 編

年別救急活動状況

<救急出場件数>

事故種別 年次	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	その他		
													医師	資器材	その他
平成20年	570	—	—	—	41	4	2	81	1	7	262	166	—	—	6
平成21年	587	—	—	1	29	8	2	81	—	7	287	170	1	1	—
平成22年	617	—	—	1	31	7	5	99	1	3	273	196	—	—	1
平成23年	625	—	—	1	27	6	8	96	1	4	278	202	—	—	2
平成24年	610	—	—	1	26	4	6	86	—	9	282	193	—	—	3
平成25年	608	—	—	—	27	7	5	86	—	6	280	195	—	—	2
平成26年	607	—	—	—	44	8	3	101	—	8	247	194	—	—	2
平成27年	594	—	—	1	36	7	4	89	2	6	283	164	—	—	2
平成28年	585	—	—	—	33	2	4	82	—	4	294	165	—	—	1
平成29年	588	—	—	—	38	5	6	87	3	7	283	153	3	—	3
平成30年	587	—	—	—	32	7	—	91	—	4	301	143	—	—	9
令和元年	582	—	—	1	28	9	6	104	—	6	281	143	2	—	2
令和2年	544	1	—	—	35	5	1	82	—	5	252	161	—	—	2
合計	7,704	1	0	6	427	79	52	1,165	8	76	3,603	2,245	6	1	35

<救急搬送人員>

事故種別 年次	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	その他		
													医師	資器材	その他
平成20年	556	—	—	—	47	4	2	79	—	4	249	166	—	—	5
平成21年	562	—	—	1	33	8	2	78	—	4	266	170	—	—	—
平成22年	608	—	—	1	33	6	6	95	1	2	266	196	—	—	2
平成23年	602	—	—	—	30	6	8	89	1	3	261	202	—	—	2
平成24年	593	—	—	1	29	4	6	85	—	5	267	193	—	—	3
平成25年	588	—	—	—	26	5	5	81	—	5	270	195	—	—	1
平成26年	584	—	—	—	44	9	3	97	—	6	228	195	—	—	2
平成27年	573	—	—	1	40	7	4	85	1	2	266	165	—	—	2
平成28年	560	—	—	—	34	2	4	77	—	3	276	164	—	—	—
平成29年	561	—	—	—	40	4	6	83	3	4	265	153	—	—	3
平成30年	553	—	—	—	32	7	—	87	—	2	281	143	—	—	1
令和元年	551	—	—	—	26	9	6	96	—	2	267	143	—	—	2
令和2年	519	1	—	—	33	5	1	78	—	2	236	161	—	—	2
合計	7,410	1	0	4	447	76	53	1,110	6	44	3,398	2,246	0	0	25

月別救急活動状況

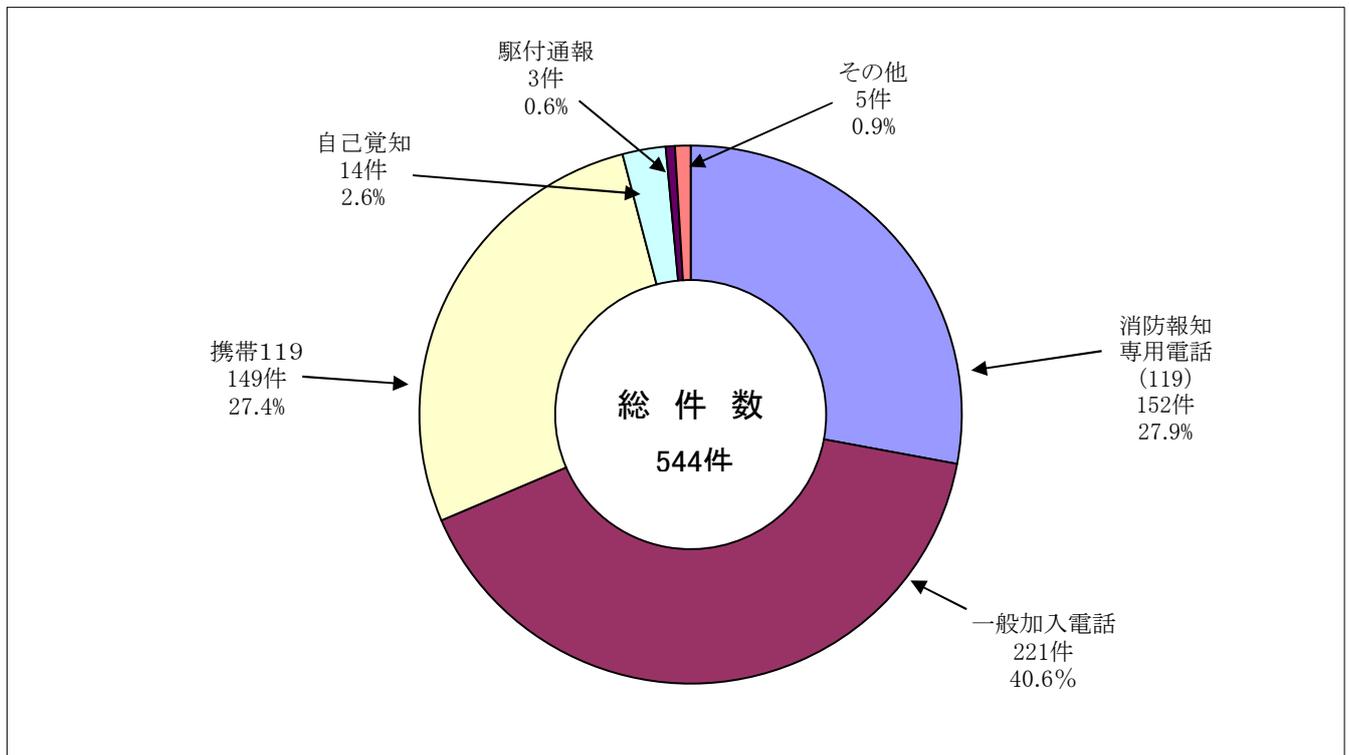
月別 項目		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
		出場件数	544	50	42	35	51	60	34	59	57	38	38	38	42
搬送人員	519	48	40	33	49	58	34	57	54	37	34	36	39		
火災	件数	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—		
	人員	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—		
自然災害	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	人員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
水難	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	人員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
交通事故	件数	35	3	4	1	2	6	—	2	10	4	—	2	1	
	人員	32	3	4	1	2	5	—	2	9	4	—	2	—	
労働災害	件数	5	—	1	—	1	—	—	2	—	—	—	—	1	
	人員	5	—	1	—	1	—	—	2	—	—	—	—	1	
運動競技	件数	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	
	人員	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	
一般負傷	件数	82	8	4	6	9	13	3	6	7	6	9	6	5	
	人員	78	8	3	5	9	12	3	6	7	6	9	5	5	
加害	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	人員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
自損行為	件数	5	—	1	—	2	—	—	1	—	—	—	—	1	
	人員	2	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
急病	件数	252	20	21	21	24	20	21	31	24	15	16	20	19	
	人員	236	18	20	20	23	20	21	29	22	14	12	19	18	
その他	転院	件数	161	19	11	7	12	21	10	16	16	12	12	10	15
		人員	161	19	11	7	12	21	10	16	16	12	12	10	15
	医師	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	資器材	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	件数	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—
		人員	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—

署・地区別救急活動状況

事故種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院	医師	資器材	その他
休日	154	—	—	—	18	1	1	29	—	2	69	33	—	—	1
休日以外	390	1	—	—	17	4	—	53	—	3	183	128	—	—	1
消防署(本署)	426	—	—	—	20	5	1	68	—	2	191	138	—	—	1
美川支署	118	1	—	—	15	—	—	14	—	3	61	23	—	—	1
出場件数	544	1	—	—	35	5	1	82	—	5	252	161	—	—	2
搬送人員	519	1	—	—	33	5	1	78	—	2	236	161	—	—	2

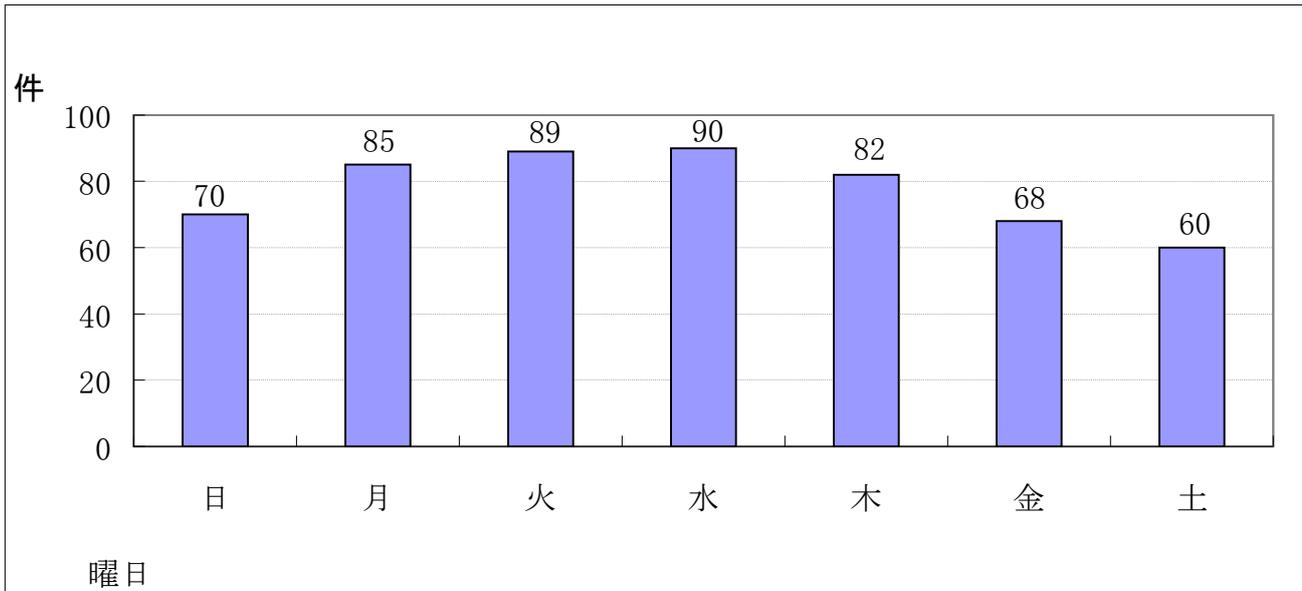
区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院	医師	資器材	その他	
久万高原町	久万地区	373	—	—	—	17	4	1	56	—	3	150	142	—	—	—
	面河地区	45	—	—	—	6	1	—	3	—	1	34	—	—	—	—
	美川地区	80	1	—	—	8	—	—	17	—	1	39	14	—	—	—
	柳谷地区	44	—	—	—	4	—	—	6	—	—	27	5	—	—	2
町外	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	

覚知方法別状況



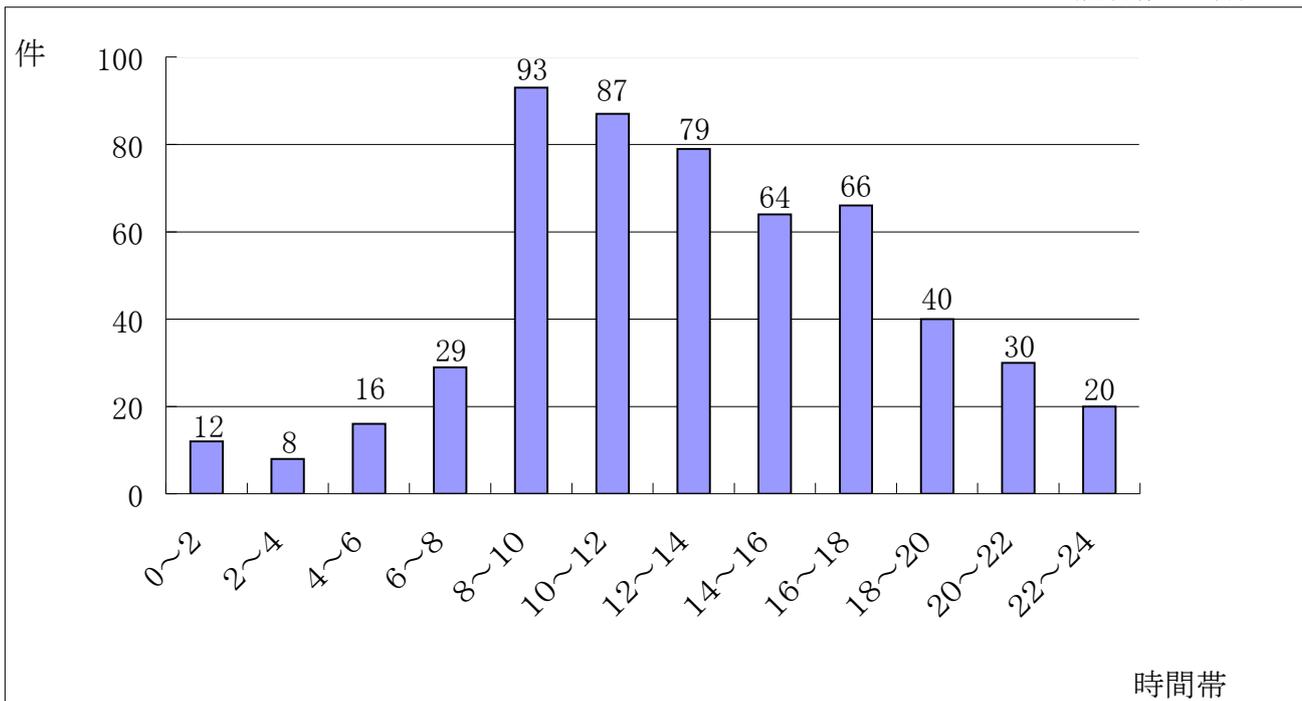
曜日別発生件数状況

(総件数544件)



時間帯別発生件数状況

(総件数544件)



居住区別搬送人員の対人口比

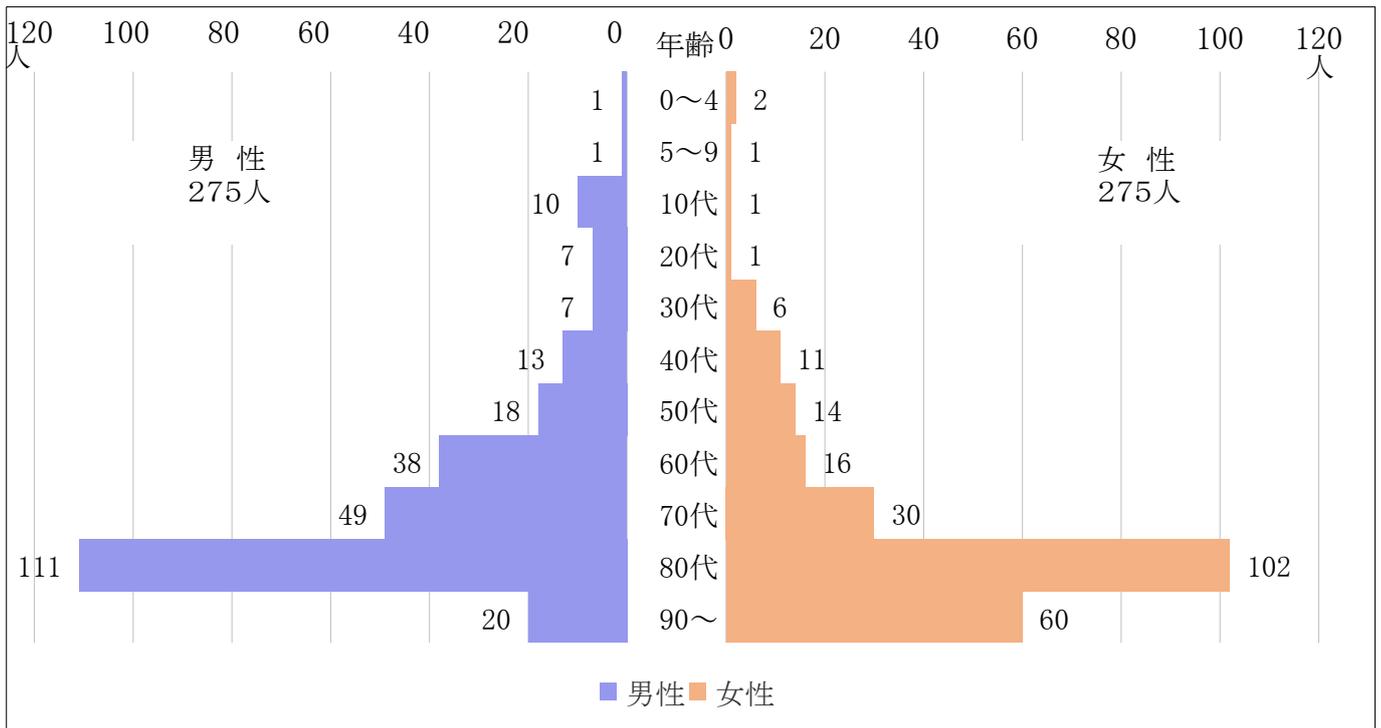
※ 地区別人口は令和3年3月31日現在を使用

項目	地区別				町外	合計
	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区		
居住別搬送人員	252	58	81	53	75	519
人口	5,426	477	1,282	643	—	7,828
対人口比	10人に1人	8人に1人	16人に1人	12人に1人	—	15人に1人

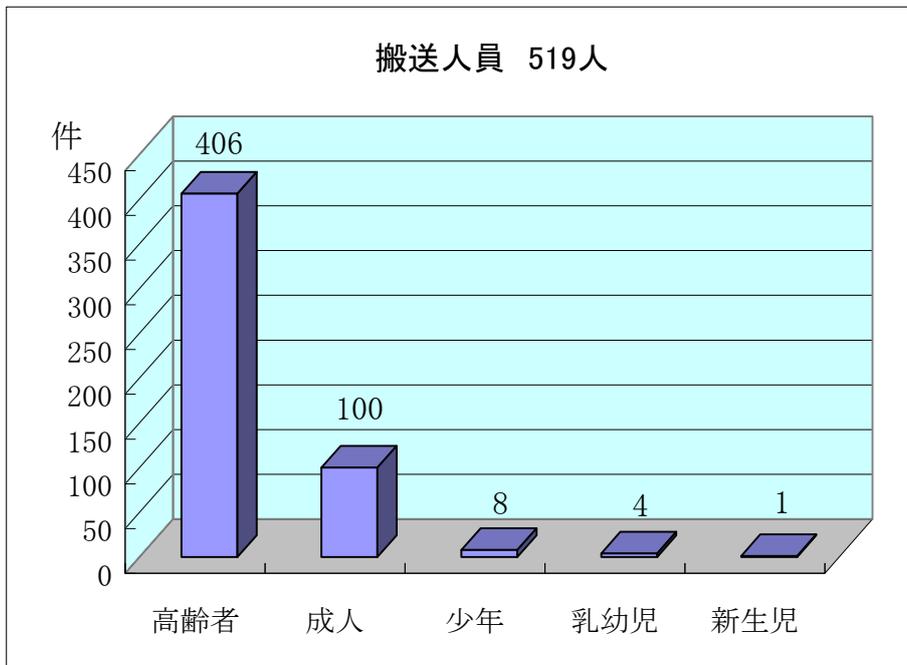
※久万高原町居住者搬送(444人)を、人口割すると18人に1人の搬送となる。

年齢性別区分搬送人員状況

<その1>



<その2>



新生児 生後28日未満
 乳幼児 生後28日～7歳未満
 少年 7歳～18歳未満
 成人 18歳～65歳未満
 高齢者 65歳以上

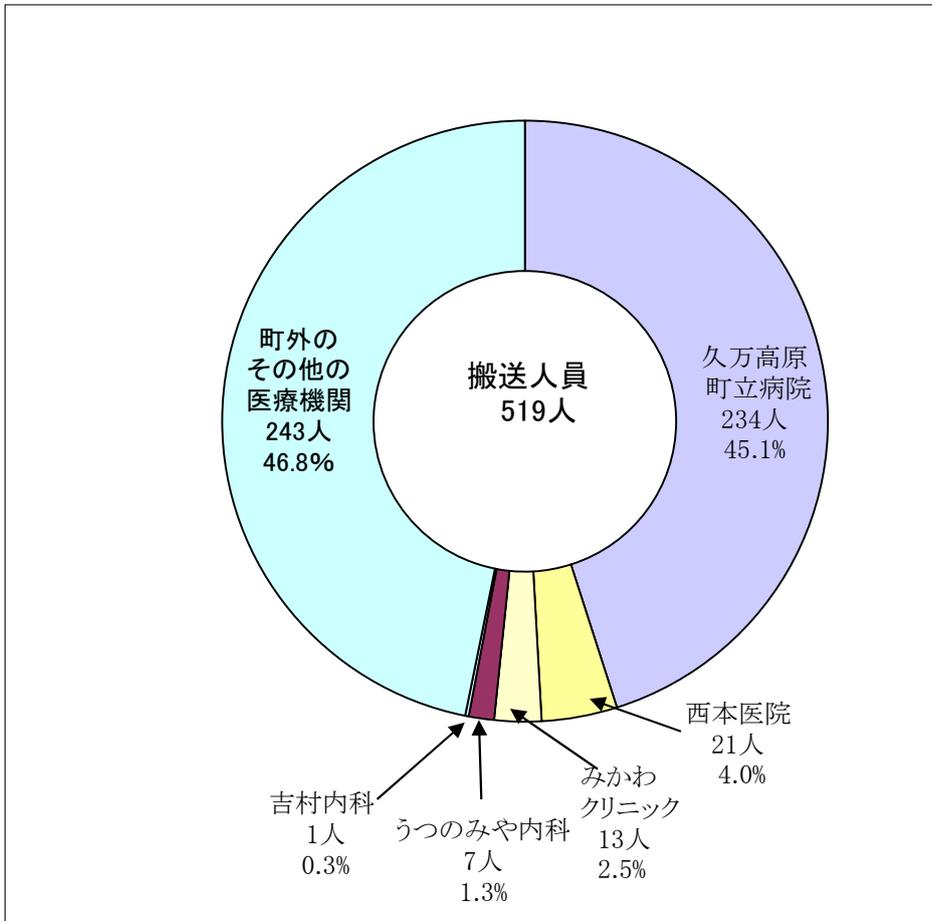
年齢区分

医療機関別収容人員の状況

()は転院計

大区分	小区分	医療機関名	区分	収容人員	内転院	小区分計	大区分	総計
救急告示医療機関	町	久万高原町立病院	公立	234	11	255 (11)	460 (139)	519 (161)
	内	西本医院	私的	21	—			
	町外	愛媛医療センター	国立	14	8	205 (128)		
		愛大医学部附属病院	国立	2	1			
		県立中央病院	公立	30	23			
		松山赤十字病院	公的	33	22			
		済生会松山病院	公的	21	13			
		松山市民病院	私的	21	14			
		野本記念病院	私的	18	10			
		南松山病院	私的	18	7			
		奥島病院	私的	15	10			
		平成脳神経外科病院	私的	9	6			
		梶浦病院	私的	8	7			
		愛媛生協病院	私的	6	4			
		松山城東病院	私的	5	2			
		笠置記念病院	私的	3	—			
渡辺病院	私的	1	1					
浦屋病院	私的	1	—					
非救急告示医療機関	町内	みかわクリニック	私的	13	—	21 (—)	47 (19)	
		うつのみや内科	私的	7	—			
		吉村内科	私的	1	—			
	町外	救命救急センター	公立	18	14	26 (19)		
その他		中継搬送(高吾北)		—	—	12 (3)	12 (3)	
		ドクターヘリ(県外含む)		12	3			
		久万高原町警察署・その他		—	—			

収容機関別状況



※ 町外のその他の医療機関への搬送人員243人中150人は転院搬送によるもの。

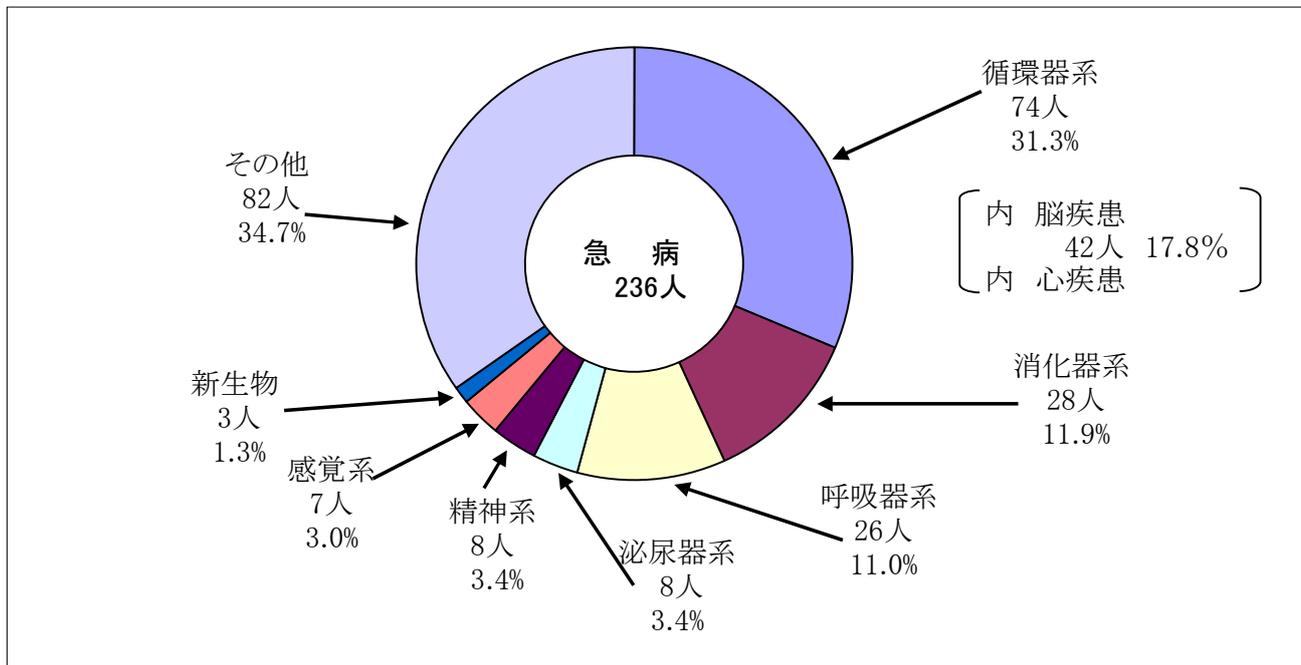
事故種別・傷病程度

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計	割合
	死亡	—	—	—	2	—	—	—	—	1	11	1	15
重症	—	—	—	3	2	—	16	—	—	38	52	111	21.4%
中等症	1	—	—	14	3	—	31	—	1	123	99	272	52.4%
軽症	—	—	—	13	1	1	31	—	—	64	11	121	23.3%
計	1	—	—	32	6	1	78	—	2	236	163	519	100.0%

急病疾患別内訳

(急病搬送人員 236人)

疾患別	循環器系		消化器系	呼吸器系	泌尿器系	精神系	感覚器系	新生物	その他
	脳疾患	心疾患							
	42	32	28	26	8	8	7	3	82



事故種別・理由別不搬送

事故種別 不搬送理由	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院	医師	資器材	その他
緊急性なし	8	—	—	—	2	—	—	—	—	—	6	—	—	—	—
傷病者なし	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
拒否	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
酔酩	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
死亡	15	—	—	—	—	—	—	3	—	3	9	—	—	—	—
現場処置	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
誤報・いたづら	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—
計	27	—	—	—	3	—	—	4	—	3	17	—	—	—	—

緊急電話受信時における口頭指導内容

(全指導回数21回,24件)

口頭指導内容	件数	口頭指導内容	件数
胸骨圧迫・人工呼吸などに関するもの	19	AEDの準備などに関するもの	1
止血・被覆などに関するもの	3	その他(冷却)	1

* 指導回数には複数項目の場合が存在するため回数と件数は一致しない

応急処置及び拡大処置件数

事故種別	応急処置 対象人員	止血	固定	被覆	保温	人工呼吸	胸骨圧迫	心肺蘇生法	うち自動心マ使用	酸素吸入	気道確保				
											用手含む総数	うちA	うちB	うちC	うちD
急病	236	2	1	3	24	7	6	12	1	68	13	—	—	6	—
交通	33	2	14	5	3	—	—	2	1	9	2	—	—	1	—
一般負傷	78	10	16	19	12	—	—	—	—	11	—	—	—	—	—
その他	172	3	11	3	21	—	—	1	—	47	2	—	—	—	—
計	519	17	42	30	60	7	6	15	2	135	17	0	0	7	0

事故種別	応急処置	在宅療法	ショックパント	血圧測定	心音・呼吸音聴診	血中酸素飽和度	心電図	除細動	静脈路確保	心肺機能停止前	静脈路確保	薬剤投与	アドレナリン	ブドウ糖	薬剤投与	血糖測定	その他	合計	拡大された応急処置と特定行為	うち特定行為
交通	—	—	29	9	30	9	—	—	—	—	—	—	31	147	79	—				
一般負傷	1	—	77	5	77	22	—	—	—	—	—	—	76	326	182	2				
その他	2	—	166	9	169	76	1	—	1	—	—	—	167	679	424	2				
計	5	0	493	58	495	230	4	0	2	0	1	5	502	2,133	1,302	11				

※ については、拡大された処置

※ 気道確保 A 経鼻エアウェイ使用

※ については、特定行為

B 喉頭鏡・鉗子を使用した異物除去

C ラリングアルマスク等使用

D 気管挿管

現場到着所要時間

	3分未満	3分～5分 未満	5分～10分 未満	10分～20分 未満	20分以上	計	現場到着 平均所要時間
急病	4	12	85	82	67	250	14.4
交通	0	4	16	9	5	34	11.7
一般負傷	1	3	30	36	12	82	12.5
その他	1	0	3	8	2	14	12.1
計	6	19	134	135	86	380	13.7
転院	15	46	85	9	6	161	5.4
総計	21	65	219	144	92	541	11.2

※出場途上辞退3件を除く

医療機関収容所要時間状況

	10分未満	10分～20分 未満	20分～30分 未満	30分～60分 未満	60分～120分 未満	120分以上	計	収容平均 所要時間
急病	0	6	37	113	75	5	236	53.7
交通	0	3	6	13	11	0	33	49.7
一般負傷	0	5	14	26	30	3	78	57.8
その他	0	0	2	2	7	0	11	68.6
計	0	14	59	154	123	8	358	54.8
転院	0	2	1	125	33	0	161	54.1
総計	0	16	60	279	156	8	519	54.6

平均出場時間

	令和2年	令和元年
総出場件数	544	582
総出場時間	893時間21分	938時間27分
全平均時間	1時間39分	1時間37分

ドクターヘリ及びドクターカーとの連携活動状況

<ドクターヘリの運航状況一覧表>

年次	件数 (No)	種別	傷病名または要因	程度	収容医療機関
平成21年	1	一般	出血性ショック	重症	救命救急センター
平成22年	1	一般	多発外傷	その他	救命救急センター
	2	急病	狭心症疑い	軽症	救命救急センター
	3	一般	左下腿開放骨折	重症	救命救急センター
	4	急病	AMI	その他	救命救急センター
	5	労災	頭部外傷	中等症	救命救急センター
平成23年	1	交通	自転車での転倒	重症	救命救急センター
	2	労災	木材運搬車の下敷	その他	高知医療センター
平成25年	1	交通	高エネルギー外傷	重症	救命救急センター
平成27年	1	一般	左下腿挫減創	重症	救命救急センター
	2	労災	多発外傷	中等症	救命救急センター
	3	交通	右前腕・踵骨骨折	重症	救命救急センター
	4	交通	CPA	死亡	救命救急センター

※平成28年～令和2年については、ドクターヘリの要請0件。

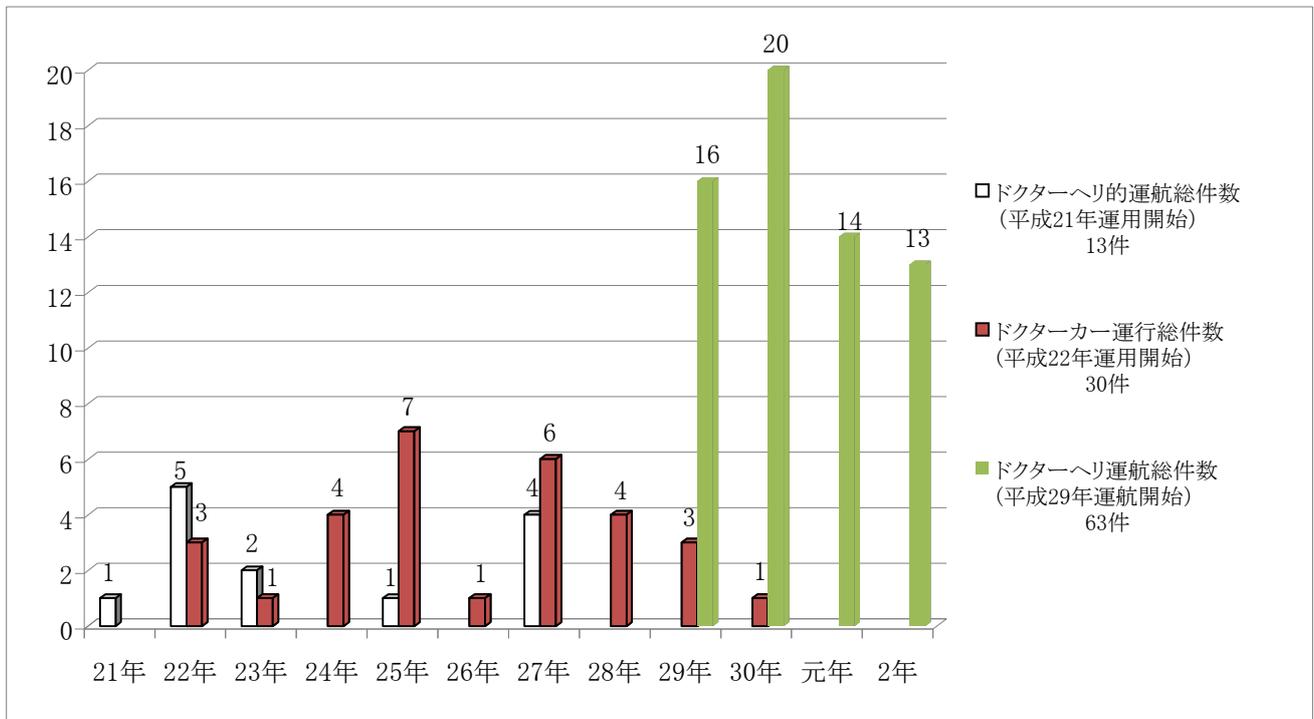
<ドクターカー運行状況一覧表>

年次	件数 (No)	種別	傷病名	程度	収容医療機関
平成22年	1	労災	急性硬膜外血腫	重症	救命救急センター
	2	一般	右大腿切創	中等症	救命救急センター
	3	一般	左前腕開放骨折	重症	救命救急センター
平成23年	1	一般	頸髄損傷	重症	救命救急センター
平成24年	1	交通	仙骨開放骨折	重症	救命救急センター
	2	労災	脳挫傷・外傷性SAH	重症	救命救急センター
	3	転院	痙攣重積	中等症	救命救急センター
	4	急病	ACS・CPA蘇生後	重症	救命救急センター
平成25年	1	一般	右脛骨・左大腿骨骨折	重症	救命救急センター
	2	交通	左膝蓋骨開放骨折	重症	救命救急センター
	3	交通	顔面複雑骨折	重篤	救命救急センター
	4	転院	骨盤骨折	重症	救命救急センター
	5	転院	くも膜下出血	重篤	救命救急センター
	6	転院	頸髄損傷	重篤	救命救急センター
	7	交通	左視床出血・全身打撲	重症	高知消防防災ヘリ
平成26年	1	交通	熱傷	重症	救命救急センター
平成27年	1	急病	急性心不全	重症	救命救急センター
	2	一般	胸髄損傷	重症	救命救急センター
	3	交通	多発骨折	重症	救命救急センター
	4	一般	熱傷	軽症	救命救急センター
	5	交通	腹腔内出血	重症	救命救急センター
	6	労災	脊髄損傷疑い	軽症	救命救急センター
平成28年	1	急病	てんかん重積状態	重症	救命救急センター
	2	一般	圧挫傷	中等症	救命救急センター
	3	交通	多発性外傷	重症	救命救急センター
	4	交通	多発性外傷	中等症	救命救急センター
平成29年	1	転院	急性呼吸不全	重症	救命救急センター
	2	急病	急性冠症候群	中等症	救命救急センター
	3	急病	急性心不全	重症	救命救急センター
平成30年	1	急病	急性冠症候群	重症	救命救急センター

※令和元年、2年については、ドクターカー要請0件。

<ドクターヘリ運航状況一覧表>

年次	件数 (No)	種別	傷病名	程度	収容医療機関
令和 2年	1	転院搬送	低体温	中等症	救命救急センター
	2	急病	急性冠症候群	重症	救命救急センター
	3	労働災害	骨盤骨折	重症	愛大医学部附属病院
	4	交通事故	多発性外傷	重症	愛大医学部附属病院
	5	交通事故	多発性外傷	重症	救命救急センター
	6	労働災害	多発性外傷	重症	救命救急センター
	7	急病	脳幹部出血	重症	救命救急センター
	8	交通事故	外傷性ショック	死亡	久万高原町立病院
	9	交通事故	外傷性くも膜下出血	重症	救命救急センター
	10	一般負傷	多発性外傷	重症	救命救急センター
	11	転院搬送	腎膿瘍	中等症	救命救急センター
	12	労働災害	中指切断	中等症	救命救急センター
	13	転院搬送	自然気胸	中等症	救命救急センター





救 助 編

救助出動及び活動状況

事故種別 区分	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他						合 計
									高 所 転 落	搬 送 応 援	へ り 支 援	捜 索 活 動	山 岳 事 故	そ の 他	
出 動 件 数	1	7	-	-	-	-	-	-	-	11	10	6	3	1	39
活 動 件 数	1	3	-	-	-	-	-	-	-	10	10	6	2	-	32
救 助 人 員	-	3	-	-	-	-	-	-	-	10	9	7	2	-	31
活 動 人 員	救 助 隊 員	9	6	-	-	-	-	-	-	12	22	24	6	-	79
	消 防 隊 員	14	5	-	-	-	-	-	-	11	12	39	-	-	81
	救 急 隊 員	3	9	-	-	-	-	-	-	30	29	6	6	-	83
	消 防 団 員	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	50	-	-	51
	計(人)	26	21	-	-	-	-	-	-	-	53	63	119	12	-
活 動 車 両 等	救 助 工 作 車	1	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	7
	消 防 ポ ン プ 車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	救 急 車	1	3	-	-	-	-	-	-	10	10	6	2	-	32
	そ の 他 の 車 両	5	-	-	-	-	-	-	-	7	2	16	2	-	32
	防 災 ヘ リ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	3
計(台)	8	6	-	-	-	-	-	-	-	20	12	23	6	-	75

(注) 山岳事故については、応援協定に基づく西条消防等の協力を受けての活動件数を含む。

年間の主な訓練と行事

実施月日	訓練及び実施行事	訓練結果・行事内容
10月14日	愛媛県消防防災航空隊合同訓練	1.機体誘導訓練・場外警戒要領・無線交信 2.ホイストによる隊員投入回収訓練 3.LPWAを使用した連携訓練 4.ドローンを使用した現場状況確認訓練
12月1日	スキー場リフト救出訓練	1.リフト停止時の乗客救出訓練 2.スキー場職員との連携救出想定訓練

救助関係資器材の保有状況

	名称	数量		名称	数量		名称	数量
一般救助用器具	かぎ付きはしご	2	隊員保護用器具	耐電手袋	2	山岳救助資器材	テント	3
	三連はしご	3		耐電衣	2		スノーボード	1
	空気式救助マット	1		耐電ズボン	2		カラビナ	40
	救命索発射銃	1		耐電長靴	2		ザイル	6
	サバイバースリング 又は救助用縛帯	3		耐熱服	1		懸垂降下器	10
	エバックハーネス	1		防塵メガネ	6		登はん器具	4
	平担架	2		防塵マスク	10		ランタン	2
	ガス測定器	3		化学防護服	10		コンパス	7
	送排風機	1		肘プロテクター	11		サブザック	14
	簡易画像探索機	1		膝プロテクター	11		ナタ	2
	熱画像赤外線カメラ	1		空気呼吸器	13		双眼鏡	2
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	2	搬送用資器材	酸素呼吸器	4	ポリタンク	10	
	油圧スプレッダー	3		バスケット型担架	3	携帯GPS	3	
	可搬ウィンチ	2		減圧担架	1	ウォーターバック	2	
	マット型空気ジャッキ	5		キャリングシート	1	フレームザック	11	
	大型油圧スプレッダー	2		キャリングラック	1	ヘルメット	10	
	チェーンブロック	1		サーモソフト ストレッチャー	1	登山靴	11	
切断用器具	油圧切断機	2	その他	バーティカル ストレッチャー	1	アイゼン	10	
	エンジンカッター	2				かんじき	9	
	チェーンソー	3		緩降機	1	シュラフ	10	
	ガス溶断機	1		救命胴衣	10	ピッケル	10	
	鉄線カッター	1		救命ボート	1	食器・ポリタンク	10	
	大型油圧切断機	2		救命浮環	6	ハーネス	13	
破壊器具	空気鋸	1	流水救助器具	2	あぶみ	1		
	万能斧	4	エアテント	1	雨具	15		
	ハンマー	2			登山服・装備	12		
	削岩機	1						
	ハンマドリル	2						

ヘリコプター離着陸場一覧

No.	区分	大字	名称	管理者	路面状況
久万地区					
1	A	上野尻	笛ヶ滝公園ラグビー場	久万高原町 教育委員会	芝 生
2	B (準)	上畑野川	畑野川小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
3	B (準)	下畑野川	千本高原グラウンド	久万高原町 ふるさと創生課	真砂土転圧
4	A	菅生	久万公園グラウンド	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
5	A	菅生	久万高原ラグビー場	久万高原町 教育委員会	人 工 芝
6	C	菅生	楨谷分校跡	久万高原町 総務課	真砂土転圧
7	B (準)	直瀬	直瀬小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
8	B (準)	東明神	明神小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
9	B (適)	露峰	父二峰小学校	久万高原町 教育委員会	アスファルト
10	B (適)	下野尻	久万高原消防ヘリポート	久万高原町 消防本部	アスファルト
美川地区					
11	A	上黒岩	美川中学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
12	A	日野浦	美川スキー場駐車場	久万高原町 ふるさと創生課	アスファルト
13	B (準)	東川	仕七川小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
14	B (準)	東川	山村広場	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
15	B (適)	日野浦	日野浦ヘリポート	久万高原町 教育委員会	アスファルト
16	B (適)	黒藤川	二箇ヘリポート	久万高原町 教育委員会	アスファルト
17	B (適)	黒藤川	黒藤川ヘリポート	久万高原町 教育委員会	アスファルト
面河地区					
18	C	大成	大成神社	久万高原町 総務課	砂利転圧
19	A	筈方	面河ダム	久万高原町 ふるさと創生課	真砂土転圧
20	B (準)	渋草	面河小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
21	B (適)	中組	面河ヘリポート	久万高原町 教育委員会	アスファルト
22	B (適)	相ノ峰	相ノ峰ヘリポート	久万高原町 総務課	アスファルト
柳谷地区					
23	A	柳井川	柳谷小学校	久万高原町 教育委員会	真砂土転圧
24	B (適)	西谷	姫鶴運動場	姫鶴荘	真砂土転圧
25	B (準)	西谷	四国電力ヘリポート	四国電力(松山支店電力部土木建築課)	アスファルト
26	B (適)	西谷	中久保ヘリポート	久万高原町 総務課	アスファルト
27	B (適)	西谷	川成ヘリポート	久万高原町 総務課	アスファルト
28	B (適)	中津	休場ヘリポート	久万高原町 総務課	アスファルト
石鎚山関係					
29	B (適)	石鎚山系	石鎚山土小屋第2駐車場	愛媛県自然保護課	アスファルト
30	B (準)	石鎚山系	石鎚スカイライン中間展望台	中予地方局 久万土木事務所	砂利転圧

A: 地域拠点飛行場外離着陸場

航空法第79条ただし書きに基づき、国土交通大臣の許可を常時得た場外離着陸場で、平時の訓練及び緊急患者搬送や災害時などに即応して、直ちに使用できる状態を確保している場外離着陸場。

※一部、離着陸に際し散水の必要有り。

B: 緊急時離着陸場

事故若しくは災害発生時等緊急時に使用する離着陸場。

(適): 離着陸に関し散水の必要が無い場所

(準): 離着陸に関し散水が必要な場所

C: 孤立地区対策緊急時離着陸場

町が孤立地区対策として指定する離着陸場で、事故若しくは災害発生時等、緊急時に離着陸し、またはホイストにより吊り上げを行う緊急時の離着陸場。



消防団編

消防団の沿革

平成 16 年 8 月 1 日、久万町、面河村、美川村、柳谷村の 4 町村が合併し、久万高原町が誕生しました。これに伴い、消防団も合併し、条例定数 717 名（平成 16 年 8 月 1 日実員 683 名）17 分団 31 部とし、旧町村の消防機材（消防ポンプ車 2 台、消防ポンプ積載車 47 台、小型動力ポンプ 71 台）を引き継ぎ、久万高原町消防団が発足しました。

合併初年度である平成 16 年度事業として、団員の士気の向上を図ることを目的に、活動服の統一を実施するとともに、更なる消防力の強化を目的として、耐用年数を大幅に経過した積載車 2 台（久万・美川各 1 台）を更新整備しました。

平成 17 年 4 月 1 日、機構改革による再編成を行い、旧町村消防団単位の呼称を方面隊に改め、4 名の方面隊長（うち 1 名は副団長を兼務）を置き、12 分団 36 部としました。

また、石油貯蔵施設立地対策等交付金事業及び電源立地地域対策交付金事業等を活用し、積載車等資機材を年次計画により更新しております。

町村合併から 10 年以上が経過し、令和 3 年 3 月 31 日現在、町の総人口は 7,828 人、高齢化率は県内で最も高い 48.8% に達しており、地域防災の要である消防団への負託は年々大きくなっております。しかしながら、労働人口の町外流出、住民の高齢化は消防団にとっても深刻な問題であり、地域によっては団員確保が困難な状況となっております。

そのため、分団の配置、出動態勢の見直し等、消防団の組織再編を早急に検討し、地域防災力の維持・強化に努める必要があります。

平成 16 年	8 月	1 日	町村合併により久万高原町消防団となる
平成 17 年	2 月	21 日	久万第 3 分団第 4 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） 美川第 1 分団第 3 部積載車更新（日本損害保険協会寄贈）
	3 月	6 日	愛媛県消防協会長表彰（竿頭綬）を受章
	4 月	1 日	機構改革により 12 分団 36 部に再編成
	10 月	20 日	第 17 回全国女性消防操法大会出場（美川方面隊古味女性消防隊）
	11 月	25 日	久万第 2 分団第 2 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成 18 年	4 月	1 日	女性消防団員 21 名となる
	7 月	23 日	第 1 回久万高原町消防操法大会
平成 19 年	2 月	19 日	日本消防協会長表彰（竿頭綬）を受章
		27 日	久万第 4 分団第 2 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4 月	1 日	女性消防団員 24 名となる
	10 月	22 日	久万第 3 分団第 1 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	11 月	7 日	携帯用投光器 197 個配備（消防基金安全装備品助成事業）
	11 月	7 日	投光器一式 8 基配備（消防基金安全装備品助成事業）
平成 20 年	3 月	7 日	消防庁長官表彰（表彰旗）を受章
	4 月	1 日	消防団幹部（副分団長以上）3 年任期により役員改選
	6 月	29 日	第 2 回久万高原町消防操法大会
	12 月	6 日	携帯用投光器 270 個配備（消防基金安全装備品助成事業）
平成 21 年	2 月	20 日	久万第 4 分団第 3 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		20 日	美川第 2 分団第 4 部積載車更新（電源立地地域対策交付金事業）
	7 月	11 日	小型動力ポンプ更新整備事業 6 台（地域活性化・生活対策臨時交付金事業）

	10月	9日	久万第3分団第3部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	11月	24日	消防団管理積載車に搭載していない可搬ポンプ22台を地域移管
	12月	20日	携帯用投光器250個配備（消防基金安全装備品助成事業）
平成22年	3月	2日	美川第2分団第2部小型動力ポンプ付き積載車更新 （電源立地地域対策交付金事業）
		29日	久万第2分団第1部ポンプ自動車更新（電源立地地域対策交付金事業）
		31日	消防団車庫50施設中13施設修繕工事実施（町単独事業）
	4月	30日	消防団車庫50施設中8施設新築工事実施 （地域活性化・経済危機対策
	6月	20日	臨時交付金事業） 第3回久万高原町消防操法大会
	11月	12日	ケブラー手袋230双配備（消防基金安全装備品助成事業）
		29日	久万第1分団第2部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成23年	1月	21日	柳谷第1分団第1部多機能型車両受領（日本消防協会）
	2月	23日	面河第1分団第2部及び第3部並びに美川第1分団第2部及び 第3分団第3部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 （電源立地地域対策交付金事業）
	3月	30日	久万高原町消防団本部拠点施設新築工事竣工 （地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業）
	4月	1日	消防団幹部（副分団長以上）3年任期により役員改選
		15日	久万第2分団第2部詰所車庫改築工事竣工 （地域活性化・きめ細やかな臨時交付金事業）
平成24年	2月	6日	ケブラー手袋230双配備（消防基金安全装備品助成事業）
	3月	16日	久万第3分団第2部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	6月	24日	第4回久万高原町消防操法大会
	6月	28日	バルーン式投光器5台配備（消防団安全対策設備整備費補助事業）
	9月	28日	テント3張、パイプイス30台配備（コミュニティ助成事業）
	11月	29日	ケブラー手袋257双配備（消防基金安全装備品助成事業）
	12月	21日	久万第2分団第3部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成25年	1月	18日	雨衣401着配備（町単独事業）
	2月	26日	日本消防協会会長表彰（竿頭綬）を受章
	4月	1日	女性消防団員23名となる
	7月	1日	女性消防団員25名となる
		29日	雨衣323着配備（町単独事業）
	10月	31日	久万第4分団第1部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	11月	25日	消防団120年・自治体消防65周年記念大会参加
		26日	及び東日本大震災被災地復興視察
平成26年	3月	2日	愛媛県消防協会会長表彰（竿頭綬）を受章
		21日	面河第1分団第1部多機能型車両及び拠点資機材等受領（総務省消防庁）

平成 26 年	4 月	1 日	消防団幹部（副分団長以上）3 年任期により役員改選 女性消防団員 26 名となる	
	4 月	16 日	土居団長，愛媛県消防協会長へ就任	
	5 月	1 日	女性消防団員 24 名となる	
	5 月	11 日	土居団長，日本消防協会監事及び全日本消防人共済会総代へ就任	
	6 月	22 日	第 5 回久万高原町消防操法大会	
	6 月	12 日	救助用半長靴 700 足配備（消防基金安全装備品助成事業）	
	2 月	1 日	全方面隊合同訓練（ふるさと旅行村）	
	11 月	1 日	女性消防団員 25 名となる	
	平成 27 年	2 月	13 日	広島市土砂災害視察（幹部研修）（～14 日）
		5 月	11 日	新任団員研修会
		6 月		消防団組織再編に向けた方面隊現状確認
10 月			〃	
12 月			〃	
平成 28 年	1 月	1 日	女性消防団員 24 名となる	
	5 月	17 日	土居団長，愛媛県消防協会長を留任	
	6 月	17 日	土居団長，日本消防協会理事へ就任	
		19 日	第 6 回久万高原町消防操法大会	
	8 月	24 日	全国救助技術大会視察（幹部研修）	
	11 月	29 日	団本部防災活動車（三菱デリカ）を受領（日本消防協会）	
平成 29 年	3 月	7 日	日本消防協会特別表彰「まとい」を受章	
	4 月	1 日	女性消防団員 23 名となる	
	5 月	10 日	面河地区前組の火災出動範囲を変更（久万 3-1, 3-2 を加える）	
		27 日	特別表彰「まとい」受章祝賀会を開催	
	6 月	1 日	役場本庁職員 15 人体制で団本部消防隊を結成	
	11 月	30 日	面河第 2 分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）	
平成 30 年	3 月	7 日	消防団 125 年・自治体消防 70 周年記念大会参加	
	5 月	18 日	土居団長，愛媛県消防協会長を留任	
	6 月	1 日	女性消防団員 26 名となる	
		15 日	土居団長，日本消防協会副会長へ就任	
		17 日	第 7 回久万高原町消防操法大会	
	7 月	1 日	女性消防団員 25 名となる	
	8 月	28 日	救助用半長靴兼防火用長靴を面河方面隊に配備（コミュニティ助成事業） ヘルメット更新配備 665 個（町単独事業）	
	10 月	17 日	活動服更新配備 700 着（町単独事業）	
		23 日	アポロキャップ配備 700 個（町単独事業）	
	12 月	13 日	防火衣（48 着）・防火帽（48 個）更新配備 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）	
平成 31 年	3 月	5 日	日本消防協会長表彰（竿頭綬）を受章	
令和元年	6 月	8 日	岡山県倉敷市真備町豪雨災害視察（幹部研修）（～9 日）	
	9 月	2 日	第 1 回消防団再編検討委員会	
	10 月	20 日	新任団員研修会	
	10 月	25 日	第 2 回消防団再編検討委員会	

	11月	8日	救助用半長靴兼防火用長靴を柳谷方面隊に配備 (消防団安全装備品整備事業)
	11月	27日	第3回消防団再編検討委員会
	12月	4日	団本部指令車(日産エクストレイル)を受領(日本消防協会)
	12月	19日	防火衣(50着)・防火帽(50個)更新整備 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
令和2年	2月	16日	愛媛県消防協会長表彰(竿頭綬)を受章
	4月	1日	消防団幹部(副分団長以上)3年任期により役員改選 愛媛県消防団広域相互応援協定を締結
	5月	1日	美川地区の火災出動範囲を変更(方面隊管轄内出動)
	6月	21日	第8回久万高原町消防操法大会 (新型コロナウイルス感染防止のため延期)
	6月	24日	土居団長, 日本消防協会副会長を退任
	8月	6日	土居団長, 愛媛県消防協会会長を退任
	8月	11日	消防団移動系無線整備基本設計(町単独)
	9月	13日	土居団長、消防団長を退任
	9月	14日	立野副団長、消防団長へ就任
	9月	30日	救助用半長靴兼防火用長靴を美川方面隊第3分団に配備 (消防団安全装備品整備事業)
令和3年	2月	21日	令和3年久万高原町消防団出初式 (新型コロナウイルス感染防止のため中止)
	3月	3日	本部消防隊消防ポンプ自動車及び救助資機材受領(総務省消防庁)
	3月	8日	美川第2分団第1部小型動力ポンプ付積載車更新 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	3月	15日	消防団移動系無線整備実施設計(町単独)
	3月	16日	携帯用デジタル簡易無線機160台購入 (消防団救助能力向上資機材緊急整備事業)
	4月	1日	女性消防団員24名となる

※旧町村別消防団の沿革については、平成24年度版年報以前を参照

階級別消防団員数 . . . 消防団員の高齢化対策が今後の課題

区 別	20歳 以下	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 ～ 60歳	61歳 ～ 64歳	65歳 以上	合 計
団 長	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
副 団 長	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	2	4
分 団 長	-	-	-	-	-	1	1	1	2	5	2	12
副分団長	-	-	-	-	-	1	1	1	1	6	2	12
部 長	-	-	-	-	2	2	8	4	12	6	2	36
班 長	-	-	2	4	8	14	13	20	14	8	10	93
団 員	-	18	23	32	30	52	59	47	51	56	79	447
(うち女性団員)	-	-	3	1	-	4	4	4	-	5	3	24
合 計	0	18	25	37	40	70	82	73	81	81	98	605

消防団員の職業構成

区 別	久万方面隊	面河方面隊	美川方面隊	柳谷方面隊	本 部	合 計
農 業	31	10	17	2	2	62
林 業	26	10	10	17	-	63
漁 業	-	-	-	1	-	1
鉱 業	1	-	-	-	-	1
建 設 業	27	21	34	10	-	92
製 造 業	12	-	5	-	-	17
電気・ガス・水道業	6	-	3	1	-	10
運輸・通信業	10	-	11	-	-	21
御・小売飲食業	10	2	4	2	-	18
金融保険業	-	1	1	-	-	2
不動産業	-	-	-	-	-	0
サービス業	31	13	18	9	1	72
公 務 員	45	18	29	6	23	121
特殊法人(農協等)	44	4	10	3	1	62
日本郵政公社	3	2	2	-	-	7
その他(無職等)	14	12	9	19	2	56
合 計	260	93	153	70	29	605

年齢別消防団員数

区 別	20歳 以下	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 以上	合 計	平均 年齢
久万高原町消防団	—	18	25	37	40	70	82	73	260	605	51.6
内女性団員	—	—	3	1	—	4	4	4	8	24	50.2

在職年数別消防団員数

区 分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
久万高原町消防団	83	89	78	82	71	66	136	605
内女性団員	5	8	5	6	—	—	—	24

消防団員の退職・新任状況

区 分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
退職	5	2	2	1	1	1	16	28
区 分	25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳以上	合 計
新任	—	2	2	—	—	2	6	12

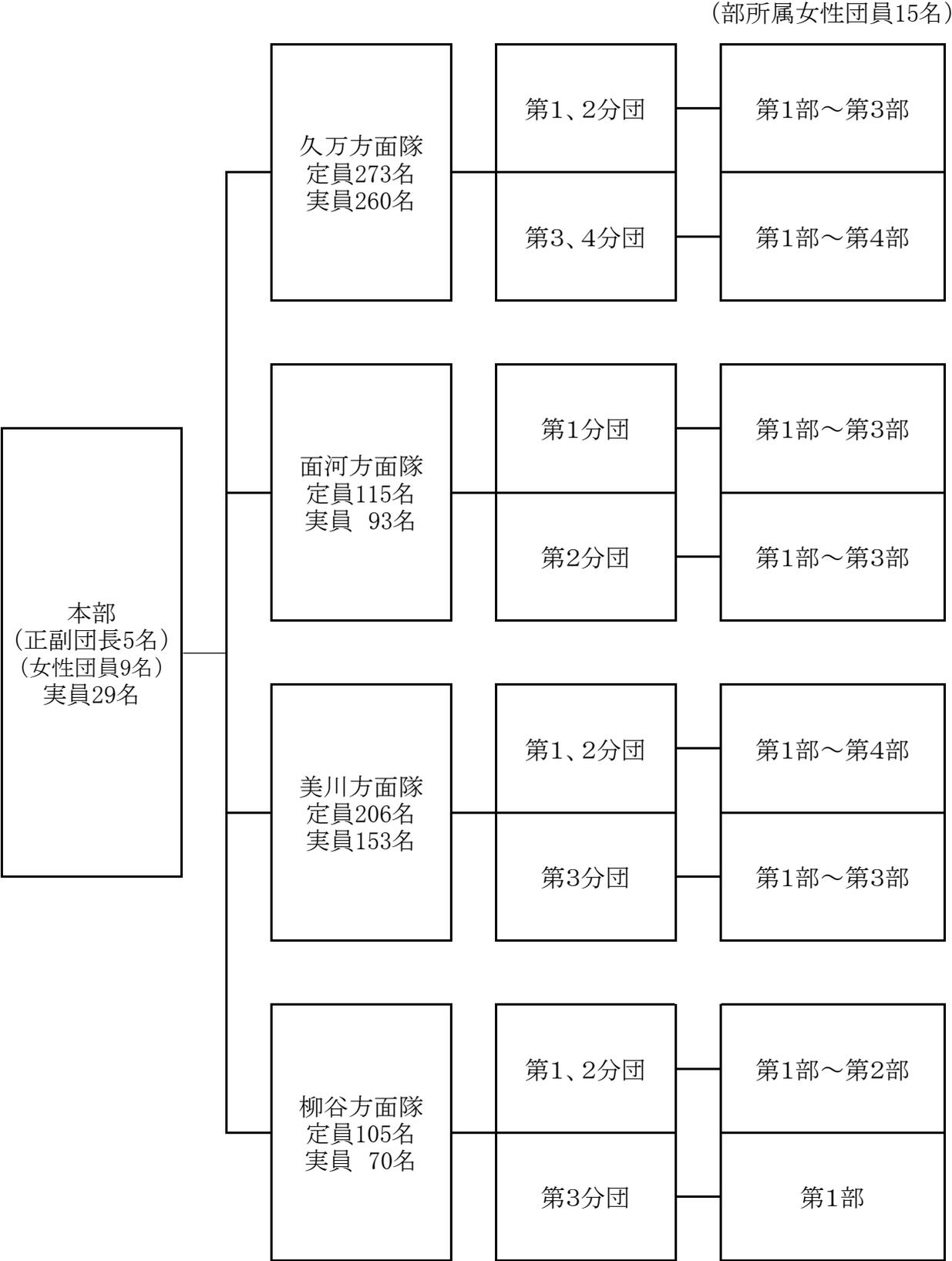
消防団年俸調べ

団 長	副団長 (本部付)	副団長 (方面隊長兼務)	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
127,000	100,000	80,000	58,000	47,000	44,000	32,000	29,000

消防団手当調べ

火災出動手当	風水害出動手当	警戒出動手当	訓練出動手当	その他の手当
2,000(4時間未満)	2,000(4時間未満)	2,000(4時間未満)	4,300	2,000
4,000(4時間以上)	4,000(4時間以上)	4,000(4時間以上)		

久万高原町消防団組織図



各方面隊別出動範囲

方面隊	分団	管轄		出動範囲	
久万方面隊	第1分団	東明神	全域	第1分団・第2分団管轄内	
		西明神			
		入野			
		久万	住安・本町・辻		
		菅生	槻之沢・北村・高野・東国(一部)		
	第2分団	久万	桂町・福井・曙・緑ヶ丘・旭ヶ丘		第3分団管轄内 面河地区前組(第2部、第3部)
		菅生	中組・中通・東国(一部)・中野村・槇谷		
		上野尻	全域		
		下野尻			
	第3分団	上畑野川	全域		第4分団管轄内
		下畑野川			
		直瀬			
第4分団	露峰	全域			
	父野川				
	二名				
面河方面隊	第1分団	渋草	方面隊管轄内		
		笠方			
		前組			
		相の峰			
		大成			
	第2分団	本組			
		中組			
		若山			
		河の子			
		相の木			
美川方面隊	第1分団	上黒岩	方面隊管轄内		
		有枝			
		中黒岩			
		大川			
		沢渡			
	第2分団	七鳥			
		仕出			
		東川			
	第3分団	日野浦			
		黒藤川			
柳谷方面隊	第1分団	柳井川	方面隊管轄内		
	第2分団	西谷			
	第3分団	中津			

本部消防隊

<消防ポンプ自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
本部消防隊	昼間(全町対応) 夜間(本部後方支援)	トヨタ	LDF - KDY231改	2,980	0	2021. 03	愛媛 800す 94 - 23

久万方面隊

<消防ポンプ自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第3部	東明神・西明神 入野・久万・菅生	三菱	KK - FG52EC	5,240	21	2000. 12	愛媛 800さ 28 - 62
第2分団第1部	上野尻・下野尻	日野	BDG - XZU378M	3,990	11	2010. 03	愛媛 800す 30 - 70

<消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	東明神・西明神 入野・久万・菅生 上野尻・下野尻	ニッサン	KG - SP6F23	2,660	20	2001. 03	愛媛 800さ 32 - 12
第1分団第2部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	18	2003. 12	愛媛 800さ 81 - 76
第1分団第2部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	658	11	2010. 11	愛媛 800あ 9 - 96
第2分団第2部		ニッサン	KR - SR8F23	3,150	16	2005. 11	愛媛 800さ 99 - 02
第2分団第3部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	660	9	2012. 12	愛媛 880あ 12 - 89
第3分団第1部	上畑野川 下畑野川 直瀬 面河地区前組 (第2部, 第3部)	ニッサン	PDG - Z25F24	2,950	14	2007. 10	愛媛 800す 14 - 24
第3分団第2部		トヨタ	LDF - KDY281	2,980	9	2012. 03	愛媛 800す 40 - 91
第3分団第3部		ニッサン	PDG - SZ5F24	2,950	12	2009. 10	愛媛 800す 26 - 96
第3分団第4部		トヨタ	KR - KDY270	2,490	16	2005. 02	愛媛 800さ 92 - 65
第4分団第1部	露峰 父野川 二名	ダイハツ軽四	EBD - S331W	650	8	2013. 10	愛媛 880あ 14 - 38
第4分団第2部		ニッサン	KR - SR8F23	3,150	14	2007. 02	愛媛 800す 9 - 61
第4分団第3部		ニッサン	PDG - SZ5F24	2,950	12	2009. 02	愛媛 800す 22 - 86
第4分団第3部		スバル軽四	GT - TT2	650	19	2002. 02	愛媛 80あ 18 - 79
第4分団第4部		ニッサン	CA - 88MN	1,780	23	1998. 12	愛媛 800さ 5 - 43

<小型(可搬)ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	東明神 中組 (明神公民館)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	12
第1分団第2部	西明神 沖 (JA支所上)	ラビット	P476 - 42kw	B - 3	2003	18
第1分団第2部	入野 (農業試験場前)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2010	11
第2分団第2部	野尻 (上野尻)	トーハツ	V46BS - 28kw	B - 3	1998	23
第2分団第3部	中野村 (集会所下)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2012	9
第3分団第1部	下畑野川 (下畑野川公民館横)	トーハツ	V46BS - 28kw	B - 3	1998	23
第3分団第2部	上直瀬 (公民館横)	ラビット	P476 - 42kw	B - 3	2000	21
第3分団第3部	下直瀬 (中通)	シバウラ	SF651M - 34kw	B - 3	1999	22
第3分団第4部	上畑野川 (上西之浦)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	12
第4分団第1部	二名 (富重)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2013	8
第4分団第2部	二名 (宮成)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	12
第4分団第3部	父野川 馬ノ地 (公民館横)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	12
第4分団第3部	露峰 (橋詰)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	12
第4分団第4部	露峰 (中村)	ラビット	P476 - 42kw	B - 3	2002	19

面河方面隊

<消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	面河地区全域	いすゞ	TKG-NHS85AN	2,990	7	2014.03	愛媛 800す 52-64
第1分団第1部		ニッサン	KG-SP6F23	2,660	19	2002.07	愛媛 800さ 43-18
第1分団第2部		ダイハツ軽四	EBD-S331W	658	10	2011.02	愛媛 880あ 10-32
第1分団第3部		ダイハツ軽四	EBD-S331W	658	10	2011.02	愛媛 880あ 10-33
第2分団第1部		ニッサン	TKG-SZ5F24	2,950	4	2017.11	愛媛 800す 73-74
第2分団第2部		ニッサン	KG-SP6F23	2,660	20	2001.05	愛媛 800さ 34-50
第2分団第3部		ニッサン	U-SM6F23改	2,280	28	1993.11	愛媛 88す 9-74

<小型(可搬)ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	渋草 里成 (役場支所前)	トーハツ	VF63AS-22kw	B-2	2014	7
第1分団第1部	渋草 竹の谷 (JA支所前)	トーハツ	V75GM-52kw	B-2	2002	19
第1分団第2部	笠方 (八社神社下)	トーハツ	VF53AS-22kw	B-3	2011	10
第1分団第3部	前組 (支援センター横)	トーハツ	VF53AS-22kw	B-3	2011	10
第2分団第1部	本組 (八幡神社横)	トーハツ	V46AS-27kw	B-3	1995	26
第2分団第2部	中組 (中組公民館横)	トーハツ	V40AS-26kw	B-3	1998	23
第2分団第3部	若山 (旧面河駐在所横)	トーハツ	V46AS-27kw	B-3	1995	26

美川方面隊

<消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	美川地区全域	ニッサン	KC-SN6F	2,490	24	1997.11	愛媛 88す 43-14
第1分団第2部		ダイハツ軽四	EBD-S331W	658	10	2011.02	愛媛 880あ 10-34
第1分団第3部		三菱軽四	GBD-U62T	650	16	2005.02	愛媛 880あ -13
第1分団第4部		ニッサン	KG-SP6F23	2,660	20	2001.05	愛媛 800さ 34-51
第2分団第1部		ニッサン	GC-SK82LN	1,780	20	2001.05	愛媛 800さ 34-55
第2分団第1部		ダイハツ軽四	3BD-S331W	650	0	2021.03	愛媛 880あ 26-51
第2分団第2部		ニッサン	PDG-SZ5F24	2,950	11	2010.02	愛媛 800す 29-75
第2分団第3部		ニッサン	KG-SP6F23	2,660	19	2002.11	愛媛 800さ 49-20
第2分団第4部		ニッサン	PDG-SZ5F24	2,950	12	2009.02	愛媛 800す 22-85
第3分団第1部		ニッサン	KG-SP6F23	2,660	20	2001.05	愛媛 800さ 34-52
第3分団第1部		スバル軽四	GD-TT2	659	19	2002.03	愛媛 80あ 19-00
第3分団第2部		ニッサン	KG-SP6F23	2,660	20	2001.05	愛媛 800さ 34-53
第3分団第3部		ダイハツ軽四	EBD-S331W	658	10	2011.02	愛媛 880あ 10-31

<小型（可搬）ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	大川 (大川下中)	トーハツ	V46BS - 28kw	B - 3	1995	26
第1分団第2部	有枝 (八幡神社前)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2011	10
第1分団第3部	上黒岩 (上本組)	トーハツ	VC52A - 34kw	B - 3	1996	25
第1分団第4部	沢渡 (集会所横)	トーハツ	V40AS - 26kw	B - 3	1999	22
第2分団第1部	仕出 (筒城集会所横)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	12
第2分団第1部	東川 (菘川集会所横)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2021	0
第2分団第2部	七鳥 (熊野神社上)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2010	11
第2分団第3部	西古味 (集会所横)	トーハツ	VC52AS - 34kw	B - 3	2001	20
第2分団第4部	東川 (中村堀田宅横)	トーハツ	V25AS - 13kw	B - 3	2002	19
第3分団第1部	日野浦 (大谷集会所西)	トーハツ	VC52AS - 34kw	B - 3	2001	20
第3分団第1部	日野浦 (成河藤社入口)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2002	19
第3分団第2部	黒藤川 (旧黒藤川小学校)	トーハツ	VC52AS - 34kw	B - 3	2001	20
第3分団第3部	黒藤川 (旧二箇小学校下)	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2011	10

柳谷方面隊

<消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	柳谷地区全域	いすゞ	CA - SE88MN	2,990	10	2011.01	愛媛 800す 34 - 78
第1分団第1部		ニッサン	TC - SK82LN	1,780	18	2003.11	愛媛 800さ 80 - 65
第1分団第2部		ニッサン	GE - SK82LN	1,780	21	2000.08	愛媛 800さ 25 - 57
第2分団第1部		ニッサン	GE - SK82LN	1,780	20	2001.08	愛媛 800さ 37 - 96
第2分団第1部		ニッサン	TC - SK82LN	1,780	18	2003.11	愛媛 800さ 80 - 64
第2分団第2部		ニッサン	TC - SK82LN	1,780	18	2003.03	愛媛 800さ 53 - 21
第2分団第2部		三菱	KK - FD70AB	2,830	18	2003.03	愛媛 800さ 52 - 31
第3分団第1部		ニッサン	GE - SK82LN	1,780	22	1999.09	愛媛 800さ 13 - 83
第3分団第1部		ニッサン	GE - SK82LN	1,780	19	2002.11	愛媛 800さ 49 - 23

<小型（可搬）ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	柳井川落出 (柳井川集会所)	トーハツ	VF63AS - 22kw	B - 2	2011	10
第1分団第1部	柳井川川前 (川前集会所下)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	18
第1分団第2部	柳井川永野 (永野)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	18
第2分団第1部	西谷本谷 (下四組集会所)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	18
第2分団第1部	西谷名荷下 (名荷下集会所)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	18
第2分団第2部	西谷古味 (沖田石油向)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	18
第2分団第2部	西谷高野 (旧高野集会所川向)	トーハツ	VC72AS - 46kw	B - 2	2003	18
第3分団第1部	中津旭 (R33バス停)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	18
第3分団第1部	中津窪田 (升田宅横)	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	18

方面隊別消防団保有資機材

区分	装 備	久 万 (本部含む)	面 河	美 川	柳 谷	合 計
車 両	消防ポンプ自動車	3	-	-	-	3
	小型動力ポンプ付積載車	15	7	13	9	44
放 水 器 具	ホース 65mm	286	103	184	123	696
	吸水管	24	12	18	9	63
	管 槍 口	41	22	25	17	105
	双口接手(分岐金具)	22	7	14	9	52
	中継金具(65-70ネジ)	33	6	18	14	71
	消火栓開閉金具	51	11	21	13	96
	簡易布水槽	14	5	6	12	37
	スタンドパイプ	9	2	-	-	11
	消 火 水 囊	7	17	1	1	26
	防火衣	40	14	26	18	98
照 明	発 電 機	15	6	3	3	27
	携帯用投光器	32	14	16	8	70
無 線 機	携帯用無線機	23	11	18	12	64
	車載用無線機	17	7	13	9	46
	トランシーバー	4	6	22	-	32
そ の 他 防 災 用 資 機 材	鳶口	102	48	96	50	296
	チェーンソー	1	6	2	4	13
	警戒用ロープ	12	6	4	6	28
	スコップ	48	13	36	41	138
	エンジンカッター	4	1	2	4	11
	水中ポンプ	1	1	-	1	3
	携行缶(GS)	25	11	19	13	68
	ホースブリッジ	18	7	14	2	41
	コードリール	8	9	3	5	25
	懐中電灯(LED)	34	6	16	7	63
	救助用ジャッキ	1	1	-	1	3
	油圧切断機	1	1	-	1	3
	救命胴衣	6	5	-	-	11
	担架	4	6	2	4	16
	自動体外式除細動器(AED)	1	1	-	1	3
	拡声器	3	1	-	1	5
	土嚢袋	2,710	990	1,400	1,100	6,200
	ケブラー手袋	289	93	153	70	605
	雨衣	289	93	153	70	605
	救助用半長靴(安全ゴム長靴)	289	93	153	70	605

消防団幹部調べ

< 久万高原町消防団 >

階 級	氏 名	住 所
団 長	立 野 好 仁	西谷

< 久万方面隊 >

階 級	氏 名	住 所
方面隊長	新 山 宅 進	菅生
第 1 分団長	本 倉 英 二	久万
第 1 副分団長	小 日 倉 重 生	東明神
第 2 分団長	日 水 野 潤 一	上野尻
第 2 副分団長	水 谷 潤 文 昭 吾	久万
第 3 分団長	西 山 真 昭 吾	下畑野川
第 3 副分団長	竹 田 英 一 生 利	直瀬
第 4 分団長	久 河 保 野 勝 一 生 利	二名
第 4 副分団長		露峰

< 面河方面隊 >

階 級	氏 名	住 所
方面隊長	十 木 龜 直 彦	中組
第 1 分団長	下 村 正 二	洪草
第 1 副分団長	菅 慎 明 二	洪草
第 2 分団長	菅 明 公 二 雄 明	洪草
第 2 副分団長	高 岡 公 明	中組

< 美川方面隊 >

階 級	氏 名	住 所
方面隊長	瀧 倉 内 光 雄	大川
第 1 分団長	橋 林 幸 正 治	上黒岩
第 1 副分団長	岡 左 京 健 樹	上黒岩
第 2 分団長	左 木 岡 加 寿 樹	東川
第 2 副分団長	中 倉 岡 正 昌 行 彦	東川
第 3 分団長		日野浦
第 3 副分団長		露峰

< 柳谷方面隊 >

階 級	氏 名	住 所
方面隊長	崎 山 健 二	中津
第 1 分団長	古 用 文 二	柳井川
第 1 副分団長	橋 本 福 幸	柳井川
第 2 分団長	館 野 勉 勉	西谷
第 2 副分団長	山 下 元 司	西谷
第 3 分団長	小 池 一 誠	中津
第 3 副分団長	鎌 腰 雄 一	中津

久万高原町消防団長

初 代	大 野 健 二	H16.8.1 ~ H20.3.31
二 代	土 居 敏 夫	H20.4.1 ~ R2.9.13
三 代	立 野 好 仁	R2.9.14 ~

愛媛県消防操法上浮穴地区大会成績表

＜小型動力ポンプの部＞

大会回数	開催年月日	参加数	優勝	準優勝	3位	4位	5位
第1回	不明	不明	美川村第2分団		小田町小田分団1部	柳谷村第1分団1部	久万町第3分団1部
第2回	不明	不明	面河村第2分団		面河村第1分団	久万町第3分団2部	久万町消防団
第3回	不明	不明	小田町参川分団		久万町第4分団4部	面河村本部分団	柳谷村第1分団
第4回	不明	不明	柳谷村第3分団		久万町第4分団1部	小田町参川分団2部	久万町第3分団2部
第5回	不明	不明	久万町第2分団3部		面河村第4分団	面河村本部分団	不明
第6回	不明	不明	小田町田渡分団		柳谷村第1分団2部	久万町第2分団2部	小田町田渡分団
第7回	不明	不明	小田町本部分団		小田町小田分団4部	柳谷村本部分団	柳谷村第2分団2部
第8回	不明	不明	小田町小田分団		久万町第3分団2部	柳谷村第1分団	面河村本部分団
第9回	不明	不明	小田町参川分団		小田町参川分団1部	美川村本部分団	久万町第3分団3部
第10回	昭和52年9月7日	不明	小田町参川分団		小田町小田分団2部	美川村第1分団1部	久万町第1分団2部
第11回	昭和54年9月7日	14	柳谷村第3分団		美川村第3分団1部	久万町第1分団1部	小田町小田分団1部
第12回	昭和56年9月5日	14	小田町田渡分団2部		小田町第2分団2部	久万町第1分団2部	小田町小田分団1部
第13回	昭和58年9月4日	14	美川村第2分団3部	小田町田渡分団3部	小田町参川分団3部	美川村第3分団	柳谷村第3分団
第14回	昭和60年9月1日	14	小田町小田分団2部	小田町田渡分団1部	柳谷村第1分団2部	久万町第2分団2部	小田町田渡分団
第15回	昭和61年8月10日	14	小田町本部分団	久万町第1分団1部	小田町小田分団4部	柳谷村本部分団	柳谷村第2分団2部
第16回	昭和63年7月24日	14	小田町田渡分団2部	久万町第1分団2部	久万町第3分団2部	柳谷村第1分団	面河村本部分団
第17回	平成2年7月24日	14	久万町第3分団3部	小田町参川分団3部	小田町参川分団1部	美川村本部分団	久万町第3分団3部
第18回	平成3年8月25日	14	小田町参川分団1部	小田町小田分団2部	柳谷村第1分団2部	美川村第1分団1部	久万町第1分団2部
第19回	平成5年9月7日	14	小田町参川分団3部	小田町本部分団	小田町小田分団4部	久万町第1分団1部	小田町小田分団1部
第20回	平成7年7月16日	14	小田町田渡分団2部	小田町参川分団3部	小田町参川分団1部	久万町第1分団1部	小田町小田分団1部
第21回	平成9年7月13日	14	小田町参川分団3部	小田町小田分団2部	美川村第3分団1部	久万町第1分団1部	小田町小田分団1部
第22回	平成12年7月16日	14	小田町田渡分団1部	小田町参川分団2部	小田町小田分団2部	柳谷村第3分団	柳谷村第1分団
第23回	平成14年7月28日	14	小田町参川分団3部	柳谷村消防団本部	小田町小田分団2部	美川村第2分団1部	柳谷村第1分団
第24回	平成16年7月18日	14	小田町田渡分団3部	美川村第2分団1部	小田町小田分団2部	柳谷村第3分団	柳谷村第1分団

<ポンプ自動車の部>

大会回数		開催年月日		出場数	優	勝
第12回	昭和56年	9月	5日	1	久万町消防団	第2分団第1部
第13回	昭和58年	9月	4日	1	久万町消防団	第1分団第3部
第14回	昭和60年	9月	1日	1	久万町消防団	第2分団第2部
第15回	昭和61年	9月	10日	1	久万町消防団	第2分団第2部
第16回	昭和63年	7月	24日	1	久万町消防団	第1分団第3部
第17回	平成2年	7月	22日	1	久万町消防団	第2分団第1部
第18回	平成3年	8月	25日	1	久万町消防団	第2分団第1部
第19回	平成5年	9月	7日	2	久万町消防団	第2分団第1部
第20回	平成7年	7月	16日	2	小田町消防団	本部分団
第21回	平成9年	7月	13日	2	小田町消防団	小田分団第3部
第22回	平成12年	7月	16日	2	小田町消防団	本部分団
第23回	平成14年	7月	28日	2	小田町消防団	小田分団第3部
第24回	平成16年	7月	18日	2	久万町消防団	第1分団第3部

※ 平成11年4月・上浮穴郡消防連合会は、上浮穴地区・県操法大会を同一年に行うことを決定。

※ 平成16年8月1日町村合併により愛媛県消防操法上浮穴地区大会を廃止、18年度から久万高原町消防操法大会を行うことを決定する。

久万高原町消防操法大会成績表

<小型動力ポンプの部>

大会回数	開催年月日	出場数	優勝	準優勝	3位	4位	5位	
第1回	平成18年7月23日	11	柳谷方面隊 第2分団	面河方面隊 第1分団	久万方面隊 第4分団	柳谷方面隊 第1分団	久万方面隊 第3分団	
第2回	平成20年6月29日	10	美川方面隊 第2分団	面河方面隊 第2分団	久万方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第3分団	久万方面隊 第1分団	
第3回	平成22年6月20日	11	美川方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第2分団	柳谷方面隊 第3分団	美川方面隊 第1分団	久万方面隊 第4分団	
第4回	平成24年6月24日	11	美川方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第3分団	久万方面隊 第1分団	面河方面隊 第1分団	久万方面隊 第4分団	
第5回	平成26年6月22日	10	美川方面隊 第3分団	面河方面隊 第1分団	柳谷方面隊 第2分団	面河方面隊 第2分団	美川方面隊 第1分団	
第6回	平成28年6月19日	11	美川方面隊 第3分団	面河方面隊 第2分団	柳谷方面隊 第3分団	面河方面隊 第1分団	久万方面隊 第1分団	
第7回	平成30年6月17日	10	面河方面隊 第2分団	柳谷方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第3分団	面河方面隊 第2分団	柳谷方面隊 第1分団	
第8回	令和2年6月21日	-	新型コロナウイルス感染症防止のため延期					面河方面隊 第1分団

<ポンプ自動車の部>

大会回数		開催年月日		出場数	優	勝
第1回	平成18年	7月	23日	1	久万方面隊	第2分団
第2回	平成20年	6月	29日	1	久万方面隊	第1分団
第3回	平成22年	6月	20日	1	久万方面隊	第2分団
第4回	平成24年	6月	24日	1	久万方面隊	第1分団
第5回	平成26年	6月	22日	1	久万方面隊	第2分団
第6回	平成28年	6月	19日	1	久万方面隊	第1分団
第7回	平成30年	6月	17日	1	久万方面隊	第2分団
第8回	令和2年	6月	21日	-	新型コロナウイルス感染症防止のため延期	

愛媛県消防操法大会成績表

<三輪自動車の部>

大会回数	開催年月日	参加数	出場分団	成績
第1回	昭和32年10月22日	11	久万町消防団 第4分団	
第2回	昭和33年9月16日	11	久万町消防団 第4分団	
第3回	昭和36年3月21日	8	久万町消防団 第2分団第1部	優勝

<小型ポンプの部>

大会回数	開催年月日	参加数	出場分団	成績
第1回	昭和32年10月22日	13	美川村消防団 第2分団	
第2回	昭和33年9月16日	14	面河村消防団 第2分団	
第3回	昭和35年3月21日	14	小田町消防団 参川分団	3位
第4回	昭和39年9月20日	15	柳谷村消防団 第3分団	準優勝
第5回	昭和41年10月9日	16	久万町消防団 第2分団第3部	3位
第6回	昭和44年9月28日	14	小田町消防団 田渡分団	
第7回	昭和47年9月21日	14	小田町消防団 本部分団	3位
第8回	昭和49年10月10日	15	小田町消防団 小田分団	
第9回	昭和51年9月15日	16	小田町消防団 参川分団	
第10回	昭和53年9月17日	16	柳谷村消防団 第3分団	
第11回	昭和55年9月14日	17	小田町消防団 田渡分団第2部	5位
第12回	昭和57年9月5日	17	美川村消防団 第2分団第3部	入賞
第13回	昭和59年9月2日	17	小田町消防団 小田分団第2部	
第14回	昭和61年8月24日	17	小田町消防団 本部分団	
第15回	昭和63年8月28日	17	小田町消防団 田渡分団第2部	
第16回	平成2年8月26日	17	久万町消防団 第3分団第3部	
第17回	平成4年8月23日	17	小田町消防団 参川分団第2部	
第18回	平成6年8月28日	17	小田町消防団 参川分団第2部	
第19回	平成8年9月8日	17	小田町消防団 田渡分団第2部	
第20回	平成10年9月6日	17	小田町消防団 田渡分団第3部	5位
第21回	平成12年9月10日	17	小田町消防団 田渡分団第1部	5位
第22回	平成14年9月8日	17	小田町消防団 参川分団第3部	
第23回	平成16年9月5日	17	小田町消防団 田渡分団第3部	
第24回	平成18年9月17日	17	久万高原町消防団 柳谷方面隊第2分団	
第25回	平成20年7月27日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第2分団	
第26回	平成22年7月25日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第27回	平成24年7月29日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第28回	大会日、予備日とも警報発令により中止		久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第29回	平成28年7月31日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第30回	平成30年7月豪雨の影響により中止		久万高原町消防団 面河方面隊第2分団	
第31回	新型コロナウイルス感染防止のため延期			

<ポンプ自動車の部>

大会回数	開催年月日	参加数	出場分団	成績
第1回	昭和32年10月22日	8	不	明
第2回	昭和33年9月16日	8	不	明
第3回	昭和35年3月21日	10	不	明
第4回	昭和39年9月20日	7	久万町消防団 第2分団第1部	優勝
第5回	昭和41年10月9日	10	久万町消防団 第2分団第2部	
第6回	昭和44年9月28日	13	不	明
第7回	昭和47年9月21日	14	久万町消防団 第2分団第1部	準優勝
第8回	昭和49年10月10日	14	不	明
第9回	昭和51年9月15日	14	久万町消防団 第1分団	
第10回	昭和53年9月17日	136	不	明
第11回	昭和55年9月14日	16	久万町消防団 第1分団	
第12回	昭和57年9月5日	16	久万町消防団 第2分団第1部	
第13回	昭和59年9月2日	16	久万町消防団 第1分団第3部	
第14回	昭和61年8月24日	16	久万町消防団 第2分団第1部	
第15回	昭和63年8月28日	16	久万町消防団 第1分団第3部	
第16回	平成2年8月26日	16	久万町消防団 第2分団第1部	
第17回	平成4年8月23日	16	久万町消防団 第1分団第3部	
第18回	平成6年8月28日	16	久万町消防団 第2分団第1部	
第19回	平成8年9月8日	16	小田町消防団 本部分団	
第20回	平成10年9月6日	16	小田町消防団 小田分団第3部	
第21回	平成12年9月10日	16	小田町消防団 本部分団	
第22回	平成14年9月8日	16	小田町消防団 小田分団第3部	
第23回	平成16年9月5日	16	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第24回	平成18年9月17日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第25回	平成20年7月27日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第26回	平成22年7月25日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第27回	平成24年7月29日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第28回	大会日、予備日とも警報発令により中止		久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第29回	平成28年7月31日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第30回	平成30年7月豪雨の影響により中止		久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第31回	新型コロナウイルス感染防止のため延期			

消 防 年 報

令和 2 年度版

発行日 令和 3 年 9 月 1 日

発 行 久万高原町消防本部

〒791-1207

上浮穴郡久万高原町下野尻甲 33 番地

TEL (0892) 21-2411

FAX (0892) 21-2656

久万高原町
イメージキャラクター

